

# SANUPS

UPS管理システム

# SANUPS SOFTWARE

## ユーザガイド

Web／Telnet編

**SANYO DENKI**

- ※ **Java** および全ての **Java** 関連の商標およびロゴは、**Oracle Corporation** およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- ※ **Windows** は、米国 **Microsoft Corporation** の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ※ **Solaris** は、**Oracle Corporation** およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- ※ **HP-UX** は、米国 **Hewlett-Packard Company** のオペレーティング システムの名称です。
- ※ **AIX** は、米国 **International Business Machines Corp.**の登録商標です。
- ※ **UNIX** は、**The Open Group** の登録商標です。
- ※ **Linux** は **Linus Torvalds** 氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。
- ※ その他の製品名、社名は各社の登録商標または商標です。
- ※ **Microsoft Corporation** のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

#### おことわり

- (1) 本ソフトウェアおよび本書の一部または全部を、許可なく複製、転載することは、かたくお断りいたします。
- (2) 本製品の内容につきましては万全を期して検査を行っておりますが、万一、お気づきの点がございましたら、下記お問い合わせ先までご連絡ください。
- (3) 本製品の内容は、予告なく変更される場合があります。
- (4) 本製品の運用に際しては、本取扱説明書をよくお読みになって、機能を理解した上で御使用ください。本製品を使用したことによる結果につきましては、責任を負いかねますので、ご了承ください。

#### お問い合わせ先

山洋電気株式会社 パワーシステム事業部 設計第2部

UPS管理ソフト ユーザ係

FAX 0268-37-1732

E-mail [sanguard\\_support@sanyodenki.co.jp](mailto:sanguard_support@sanyodenki.co.jp)

# 目次

|                                |    |
|--------------------------------|----|
| 1. はじめに.....                   | 1  |
| 1.1 概要 .....                   | 1  |
| 1.2 本書の表記について .....            | 1  |
| 1.3 必要なソフトウェア .....            | 1  |
| 1.4 システム構成 .....               | 2  |
| 2. Web管理ツールの機能説明 .....         | 3  |
| 2.1 WebブラウザからUPSにアクセスする .....  | 3  |
| 2.2 Web管理ツールの機能一覧 .....        | 5  |
| 2.3 Web管理ツールのメイン画面 .....       | 6  |
| 2.4 UPSへの装置登録・変更を行う .....      | 9  |
| 2.4.1 登録.....                  | 9  |
| 2.4.2 変更.....                  | 12 |
| 2.5 UPSの登録装置を削除する .....        | 13 |
| 2.6 Wake On LAN機能 .....        | 14 |
| 2.7 UPSの基本設定を行う .....          | 16 |
| 2.7.1 ネットワークに関する設定を行う.....     | 16 |
| 2.7.2 UPS制御に関する設定を行う .....     | 17 |
| 2.8 UPSの出力系統制御に遅延をもうける .....   | 22 |
| 2.9 サービス設定を行う .....            | 23 |
| 2.10 UPSのログインアカウントを変更する.....   | 25 |
| 2.11 メール機能 .....               | 26 |
| 2.12 メール機能の設定 .....            | 28 |
| 2.13 スケジュール機能 .....            | 30 |
| 2.14 スケジュール設定 .....            | 31 |
| 2.15 スケジュール設定(週間スケジュール) .....  | 32 |
| 2.16 スケジュール設定(指定日スケジュール) ..... | 33 |
| 2.17 スケジュール内容の確認 .....         | 35 |
| 2.18 イベント設定 .....              | 36 |
| 2.19 イベントログ設定を行う .....         | 37 |
| 2.20 WSスクリプト実行の設定を行う.....      | 39 |
| 2.21 WSスクリプト実行の編集を行う.....      | 41 |
| 2.22 WSスクリプト実行の動作テストを行う .....  | 45 |

|                                                |            |
|------------------------------------------------|------------|
| 2.23 障害発生をE-mail通知する .....                     | 48         |
| 2.24 UPSの状態・イベントログを確認する .....                  | 50         |
| 2.25 UPSの制御を行う .....                           | 52         |
| 2.26 UPS本体の情報を確認する .....                       | 57         |
| 2.27 シャットダウンテストを実行する .....                     | 58         |
| <b>3. Telnet端末用ツールの機能説明.....</b>               | <b>62</b>  |
| 3.1 TelnetクライアントからUPSにアクセスする .....             | 62         |
| 3.2 Telnet端末用ツールの機能一覧 .....                    | 63         |
| 3.3 Main Menu .....                            | 64         |
| 3.4 UPSの動作設定(Configuration)メニュー .....          | 65         |
| 3.4.1 ネットワーク設定(Network)メニュー .....              | 66         |
| 3.4.2 UPSアカウント設定(Account)メニュー .....            | 67         |
| 3.4.3 UPS制御設定(Control Configuration)メニュー ..... | 68         |
| 3.4.4 サービス設定(Service)メニュー .....                | 74         |
| 3.4.5 UPS情報設定(UPS Information)メニュー .....       | 77         |
| 3.4.6 メール送信設定(E-Mail)メニュー .....                | 78         |
| 3.5 スケジュール動作設定(Schedule)メニュー .....             | 80         |
| 3.5.1 スケジュール運転を有効／無効に設定する.....                 | 81         |
| 3.5.2 週間スケジュール運転を設定する .....                    | 82         |
| 3.5.3 指定日スケジュール運転を設定する.....                    | 83         |
| 3.6 UPS制御(Control)メニュー .....                   | 87         |
| 3.6.1 UPSの出力を“オン”する .....                      | 88         |
| 3.6.2 UPSの出力を“オフ”する .....                      | 89         |
| 3.7 UPS情報表示(Display)メニュー .....                 | 90         |
| 3.7.1 UPSの状態・計測値を確認する .....                    | 91         |
| 3.7.2 UPSのイベントログを確認する .....                    | 94         |
| 3.8 接続装置の設定(Connection Device)メニュー .....       | 95         |
| 3.8.1 装置を登録する .....                            | 97         |
| 3.8.2 登録装置を削除する .....                          | 99         |
| 3.8.3 イベント発生時の動作設定(Event)を行う .....             | 100        |
| 3.8.4 接続装置の設定値を変更する.....                       | 107        |
| 3.9 イベント設定(Event)メニュー .....                    | 108        |
| 3.10 UPS系統出力設定(Outlet)メニュー .....               | 109        |
| 3.11 通信回線状態確認(Ping)メニュー .....                  | 110        |
| <b>付録A Webブラウザ使用時にお読みください.....</b>             | <b>111</b> |

## 1. はじめに

### 1.1 概要

本書は **SANUPS SOFTWARE** の Web 管理ツール、および、Telnet 端末用ツールの機能について説明します。

### 1.2 本書の表記について

- ・ 断り書きがない場合、**Windows** OS を **Windows** と表記しています。
- ・ **SANUPS SOFTWARE** を導入後、変更等を行っていない初期状態を**デフォルト**と表記しています。
- ・ **InternetExplorer** 等を**ブラウザ**、または、**Web ブラウザ**と表記しています。
- ・ **SANUPS SOFTWARE** を **UPS 管理ソフト**と表記しています。
- ・ UPS とシリアル／接点接続している **SANUPS SOFTWARE** を、**SANUPS SOFTWARE** サーバ、または UPS と表記しています。
- ・ **Windows** コンピュータを **PC**、**UNIX／Linux** コンピュータを **WS** と表記しています。
- ・ PC、WSの両方を示す場合は、**コンピュータ**と表記します。

### 1.3 必要なソフトウェア

以下のソフトウェアを利用し、UPS の設定を行います。

#### ・Java 対応 Web ブラウザ

Web ブラウザから **SANUPS SOFTWARE** の管理を行う場合は、**Java Applet** 機能を使用します。  
**InternetExplorer6.0** 以上を推奨します。

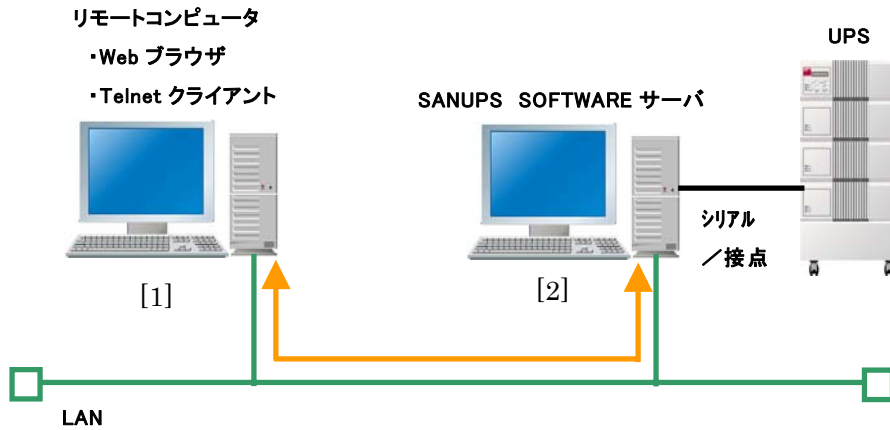
※**JavaVM**の動作設定については、「付録A Webブラウザ使用時にお読みください」をお読みになりご使用ください。

#### ・Telnet クライアント・ソフトウェア

**SANUPS SOFTWARE** サーバに Telnet 接続し、ターミナル設定機能を利用できます。

## 1.4 システム構成

以下にシステム構成例を示します。



< 上図の説明 >

- [2]のコンピュータは、**SANUPS SOFTWARE** のサーバ版としてUPSとシリアル／接点接続で動作しています。
- [2]はネットワークを使用する設定とし、サービス設定において、HTTP、Telnet を有効に設定します。必要に応じてポート番号を任意に変更することもできます。
- [1]のリモートコンピュータから、Web ブラウザ、Telnet クライアントにより、**SANUPS SOFTWARE** サーバにアクセスすることでUPSの管理／監視を行います。

## 2. Web管理ツールの機能説明

### 2.1 WebブラウザからUPSにアクセスする

[1] Webブラウザを起動します。

[2] Webブラウザの「アドレスバー」に、UPSのIPアドレスと、HTTPサーバのポート番号を入力します。

例) IPアドレスが172.30.3.45、ポート番号が10080(デフォルト)の場合

**http://172.30.3.45:10080/**

Webブラウザに、以下の画面が表示されます。

SANUPS SOFTWARE - Windows Internet Explorer

http://172.30.3.45:10080/

SANUPS SOFTWARE

SANUPS SOFTWARE

設置場所 : 日付 : 2012年 9月 1日 (土) ROM Ver :  
コメント : 時刻 : 00時 02分 WEB Ver : P0010188A

基本設定 スケジュール設定 時計設定 イベント設定 表示 制御 UPS情報

UPSのアカウントを入力して下さい。

アカウント

パスワード

OK キャンセル

[3] UPS のアカウントを入力します。

アカウント情報のデフォルト値は、

アカウント       : **upsadmin**

パスワード     : **UpsAdmin**       (大文字／小文字の区別を行います。)

です。(半角文字で入力します)

このアカウント情報を入力し、「OK」とすると、UPS がアカウント認証を行います。

アカウント認証が正常の場合は、メイン画面が表示され、設定操作が行えます。

< 情報 >

このアカウント情報は、変更することが可能です。変更するには、「2.10 UPS のログインアカウントを変更する」を参照してください。

## 2.2 Web管理ツールの機能一覧

Web ブラウザから、Web管理ツールを起動し、UPS の設定や状態確認などを行えます。

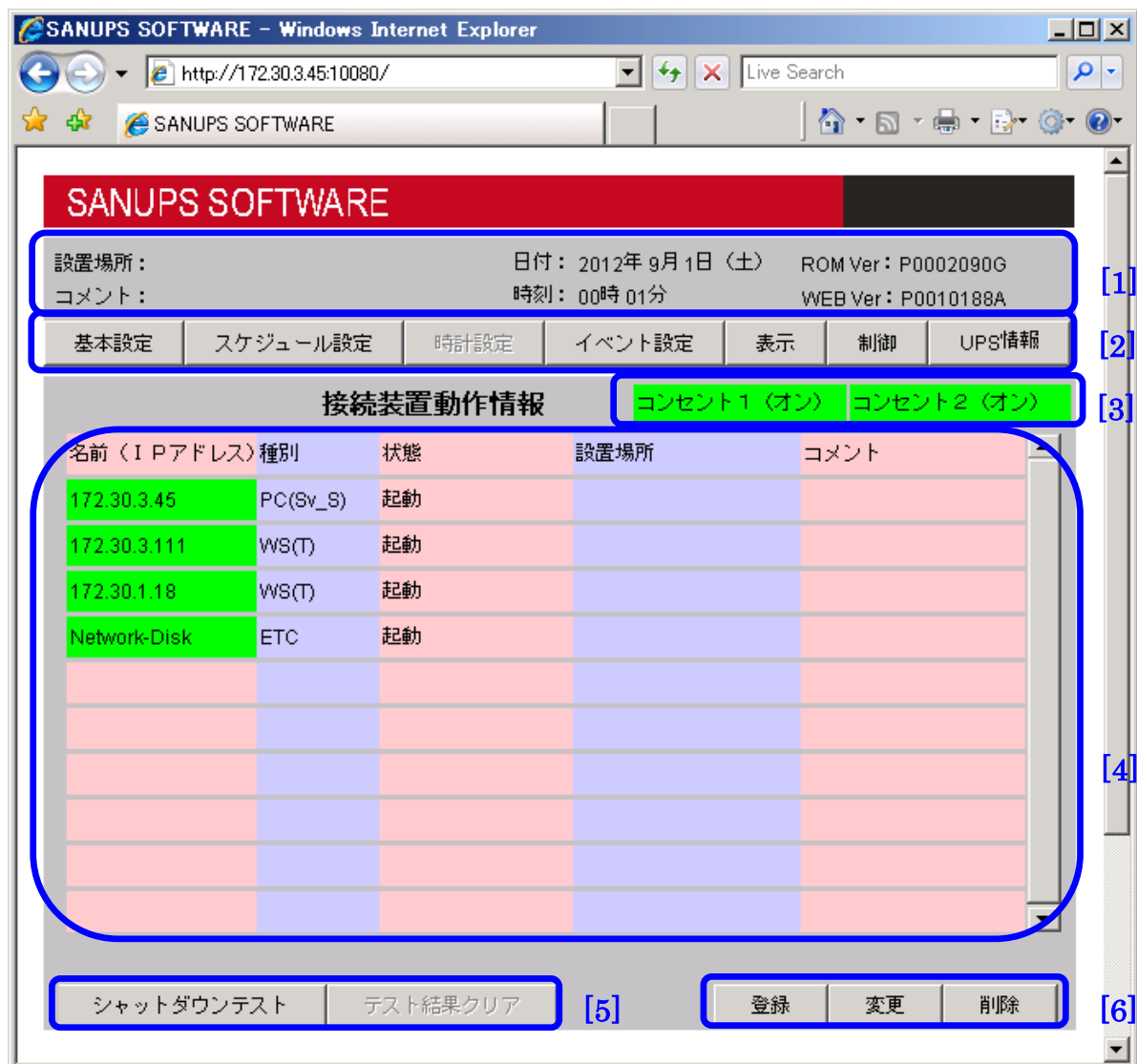
以下では、Web管理ツールの機能について説明をしています。

機能の概要については、以下の表を参照し機能説明先を確認してください。

| 項目名                       | 項目の概要                                                        |
|---------------------------|--------------------------------------------------------------|
| 2.3 Web管理ツールのメイン画面        | メイン画面の各項目について説明しています。各メニュー項目の説明、メイン画面の表示項目についての説明をしています。     |
| 2.4 UPSへの装置登録・変更を行う       | UPS に装置登録する機能、登録されている装置の登録内容を変更する方法について説明しています。              |
| 2.5 UPSの登録装置を削除する         | UPS に登録した装置の削除方法を説明しています。                                    |
| 2.6 Wake On LAN機能         | 登録装置への WakeOnLAN 設定について説明しています。                              |
| 2.7 UPSの基本設定を行う           | UPS のネットワーク情報、制御の動作設定などを説明しています。                             |
| 2.8 UPSの出力系統制御に遅延をもうける    | UPS の出力系統のオン／オフ遅延時間の設定について説明しています。系統制御がある UPS 使用時に利用できる機能です。 |
| 2.9 サービス設定を行う             | HTTP、Telnet の設定について説明しています。                                  |
| 2.10 UPSのログインアカウントを変更する   | UPS にリモートからアクセスする時のアカウント情報を変更する方法について説明しています。                |
| 2.11 メール機能                | UPS のメール機能の概要を説明しています。                                       |
| 2.12 メール機能の設定             | メール機能の設定について説明しています。                                         |
| 2.13 スケジュール機能             | UPS のスケジュール機能の概要を説明しています。                                    |
| 2.14 スケジュール設定             | スケジュール設定機能のメニュー画面の説明をしています。                                  |
| 2.15 スケジュール設定 (週間スケジュール)  | 週間スケジュールの設定方法を説明しています。                                       |
| 2.16 スケジュール設定 (指定日スケジュール) | 指定日スケジュールの設定方法を説明しています。                                      |
| 2.17 スケジュール内容の確認          | 設定済みのスケジュールを確認する方法を説明しています。                                  |
| 2.18 イベント設定               | イベント設定の概要を説明をしています。                                          |
| 2.19 イベントログ設定を行う          | イベントログの記録条件の設定方法を説明しています。                                    |
| 2.20 WSスクリプト実行の設定を行う      | イベント発生時の WS スクリプト実行の設定について説明しています。                           |
| 2.21 WSスクリプト実行の編集を行う      | WS スクリプトの編集方法について説明しています。                                    |
| 2.22 WSスクリプト実行の動作テストを行う   | WS スクリプトのテスト機能の説明をしています。                                     |
| 2.23 障害発生をE-mail通知する      | イベント発生時のメール送信機能の説明をしています。                                    |
| 2.24 UPSの状態・イベントログを確認する   | UPS の状態・計測値情報、イベントログ情報の機能説明をしています。                           |
| 2.25 UPSの制御を行う            | リモートからの UPS オン／オフ制御、バッテリーチェック制御の説明をしています。                    |
| 2.26 UPS本体の情報を確認する        | UPS 情報表示機能について説明しています。                                       |
| 2.27 シャットダウンテストを実行する      | シャットダウンテスト機能について説明しています。                                     |

## 2.3 Web 管理ツールのメイン画面

下図は、Web管理ツールのメイン画面です。(接続 UPS は、系統制御がある UPS です)



### 画面構成

| 番号  | 説明                                                    |
|-----|-------------------------------------------------------|
| [1] | UPS の設置場所情報、時間情報 <sup>(注)</sup> 、プログラムのバージョン情報を表示します。 |
| [2] | 「メインメニュー」です。UPS 設定機能、UPS の状態表示などを行うときは、このメニューから行います。  |
| [3] | UPS 出力状態を表示します。                                       |
| [4] | 登録されている装置情報を表示します。                                    |
| [5] | シャットダウンテストを行うときは、ここから行います。                            |
| [6] | 「登録」、「変更」、「削除」ボタンを使い、新規装置登録、登録装置の内容変更、装置の削除を行います。     |

(注) ここに表示されている時間情報は、UPS 本体の時計情報ではありません。ここでは、Web ブラウザが動作しているコンピュータの時計情報が表示されています。

## メインメニュー

メインメニューから UPS の設定、状態情報表示などの機能にアクセスします。

| メニュー・ボタン      | 機 能 名 称      | 概 要 説 明                    |
|---------------|--------------|----------------------------|
| 基本設定          | 基本設定         | UPS のネットワーク情報を設定します。       |
|               | UPS 制御設定     | 停電時の動作などを設定します。            |
|               | サービス設定       | Web や Telnet 使用時の設定を行います。  |
|               | アカウント設定      | UPS にログインする際のアカウント変更を行います。 |
|               | メール設定        | メール送受信機能の設定を行います。          |
|               |              |                            |
| スケジュール設定<br>※ | 運転条件設定       | スケジュール運転実施の有無を設定します。       |
|               | 指定日スケジュール設定  | 指定日スケジュールの設定を行います。         |
|               | 週間スケジュール設定   | 週間スケジュールの設定を行います。          |
|               | スケジュール確認     | 設定したスケジュールのタイムチャートを表示します。  |
|               |              |                            |
| 時計設定          | 時計設定         | UPSの時計あわせを行います。(未対応)       |
|               |              |                            |
| イベント設定        | イベントログ設定     | イベントログの記録条件をイベント毎に設定します。   |
|               | WS スクリプト実行条件 | WSスクリプトの実行有無をイベント毎に設定します。  |
|               | WS スクリプト編集   | WSスクリプトの編集をイベント毎に行います。     |
|               | WS スクリプト確認   | WSスクリプトの実行確認を行います。         |
|               | メール通知条件設定    | メール送信条件をイベント毎に設定します。       |
|               | メールアドレス設定    | 送信先のメールアドレスをイベント毎に設定します。   |
|               | メール送信確認      | メールの送信確認を行います。             |
|               |              |                            |
| 表示            | 状態・計測値表示     | UPSの状態・計測値を表示します。          |
|               | イベントログ表示     | UPSに記録されているイベントログを表示します。   |
|               |              |                            |
| 制御            | UPS 起動       | UPS出力をオンします。               |
|               | UPS 停止       | UPS出力をオフします。               |
|               | バッテリーチェック開始  | バッテリーチェックを開始します。           |
|               | バッテリーチェック中止  | バッテリーチェックを中止します。           |
|               |              |                            |
| UPS 情報        | UPS 情報       | UPS本体の情報表示を行います。           |

(※) この機能は、UPS とシリアル接続した場合のみ利用できます。

## UPSの出力状態表示

使用する UPS により、以下の内容を表示します。

- ・系統制御がない UPS の場合

UPSの状態を表示します。

| 状態表示名 | 説 明               |
|-------|-------------------|
| 起動    | UPS の出力がオンになっている。 |
| 停止    | UPS の出力がオフになっている。 |
| 停電    | 停電発生中             |
| 故障    | UPS に故障が発生している。   |

※UPS 本体と **SANUPS SOFTWARE** との間で、コンピュータ起動時よりシリアル通信異常が発生している場合は、状態は非表示となります。なお、コンピュータ起動中にシリアル通信異常が発生した場合、Web管理ツールでは、シリアル通信異常前の状態のままとなっておりますのでご注意ください。

- ・系統制御がある UPS の場合

OUTPUT1, OUTPUT2 の状態を表示します。

| 状態表示名 | 説 明                            |
|-------|--------------------------------|
| オン    | “OUTPUT1”または、“OUTPUT2”の出力状態がオン |
| オフ    | “OUTPUT1”または、“OUTPUT2”の出力状態がオフ |

## 接続装置情報の表示

UPSに登録された装置は、一覧中に以下の種別で表示されます。

| 種別名      | 装置タイプ         | 備 考               |
|----------|---------------|-------------------|
| PC(Sv_S) | PC(シリアル接続)    | UPS 管理ソフト動作サーバ PC |
| PC(Sv_C) | PC(接点接続)      | UPS 管理ソフト動作サーバ PC |
| WS(Sv_S) | WS(シリアル接続)    | UPS 管理ソフト動作サーバ WS |
| WS(Sv_C) | WS(接点接続)      | UPS 管理ソフト動作サーバ WS |
| PC       | PC(ネットワーク接続)  | UPS 管理ソフト動作 PC    |
| WS       | WS(ネットワーク接続)  | UPS 管理ソフト動作 WS    |
| WS(T)    | WS(Telnet 接続) |                   |
| ETC      | その他の装置        |                   |

また、装置の動作状態は、以下の表示を行います。

| 動作状態     | 説 明                     |
|----------|-------------------------|
| 起動       | 装置が起動状態にある。             |
| 異常状態     | UPS 管理ソフトプログラムが停止している場合 |
| 停止       | 装置が停止状態にある。             |
| シャットダウン中 | PC/WS の場合               |

※WS(T)装置の場合、ネットワーク・アクセスの有無で起動／停止を判断しています。ネットワークが繋がっていない場合は、停止と表示されます。

※**SANUPS SOFTWARE** サーバがシャットダウンした場合、Web 管理ツールでは状態を取得することができないため、正しい状態が表示できなくなります。

## 2.4 UPS への装置登録・変更を行う

UPS から給電をうけているコンピュータをシャットダウンするには、本機能を使い装置登録を行う必要があります。

登録可能台数は、最大50台です。

### 2.4.1 登録

#### [操作方法]

メイン画面から、「登録」ボタンを押します。

下記の画面が表示されます。

#### [表示画面説明]

**接続装置登録**

装置タイプ: その他の装置 ▼      コンセント番号: 1 ▼

装置名称

設置場所

コメント

Wake On LAN 設定
OK
戻る

| 画面名称    | 説 明                            | 備 考                                 |
|---------|--------------------------------|-------------------------------------|
| 装置タイプ   | 装置タイプを選択できます。                  |                                     |
| コンセント番号 | 給電中(接続中)の UPS 出力コンセント番号を指定します。 | 系 統 制 御 が あ る<br>UPS の み 選 択 可<br>能 |
| 装置名称    | メイン画面中の登録装置一覧に表示される名前になります。    | 半角文字のみ<br>(半角数字のみの<br>名称は不可)        |
| 設置場所    | 設置場所に関するコメントを入力できます。(空白可)      |                                     |
| コメント    | 装置のコメントを入力できます。(空白可)           |                                     |

## Web管理ツールの機能説明

「装置タイプ」から接続する装置を選択します。

| 「装置タイプ」名 称    | 説 明                                          |
|---------------|----------------------------------------------|
| WS(Telnet 接続) | ネットワーク経由で接続し Telnet ログインを行いシャットダウンを行う WS です。 |
| その他の装置        | シャットダウンを必要としない装置です。                          |

(注意) UPS 管理ソフト動作中のPC／WSは、UPSのWeb管理ツールからは「登録／変更／削除」は行えません。UPS 管理ソフト設定ツールから操作を行ってください。

## WS(Telnet 接続) の登録

The screenshot shows the '接続装置登録' (Connection Device Registration) form. It includes fields for '装置タイプ' (Device Type) set to 'WS(Telnet接続)', 'コンセント番号' (Outlet Number) set to '1', 'IPアドレス/ネットワーク名' (IP Address/Network Name), '設置場所' (Installation Location), and 'コメント' (Comment). A 'Telnet設定' (Telnet Settings) section contains dropdowns for '通信ボーレート' (Baud Rate) at 9600, 'データビット' (Data Bits) at 8, 'フロー制御' (Flow Control) at なし, 'パリティ' (Parity) at なし, 'ストップビット' (Stop Bits) at 1, and '漢字コード' (Character Code) at SJIS. At the bottom are 'Wake On LAN 設定', 'OK', and '戻る' buttons. Three callouts provide instructions: one for the IP address field stating it must be unique and required; one for the outlet number stating it's for UPS systems and must be selected; and one for the character code stating to select SJIS for Japanese messages.

接続装置登録

装置タイプ: WS(Telnet接続) コンセント番号: 1

IPアドレス/ネットワーク名

設置場所

コメント

Telnet設定

通信ボーレート: 9600 データビット: 8 フロー制御: なし

パリティ: なし ストップビット: 1 漢字コード: SJIS

Wake On LAN 設定 OK 戻る

ここには、WSのIPアドレスを入力します。既に登録済みの同じIPアドレスがある場合は、二重登録できません。(入力必須です)

(系統制御がある UPS のみ選択可)  
この装置が給電を受けているコンセント番号を選びます。(入力必須です)

WSの漢字コードを選択します。日本語メッセージを表示する場合、WSで使用可能なコードを選択します。

メイン画面から「イベント設定」の機能を使い、このWSへTelnetログインする手続き、シャットダウンなどのコマンドを実行する手続きを併せて設定してください。(「2.20 WSスクリプト実行の設定を行う」)

「WakeOnLAN設定」機能は、「2.6 Wake On LAN機能」を参照してください。

## 2.4.2 変更

## [操作方法]

メイン画面の登録装置一覧から、情報変更する装置を選択します。

接続装置動作情報

UPS状態: 起動

| 名前 (IPアドレス)  | 種別       | 状態 | 設置場所 | コメント |
|--------------|----------|----|------|------|
| 172.30.3.45  | PC(Sv_S) | 起動 |      |      |
| 172.30.3.111 | WS(T)    | 起動 |      |      |
| Router-001   | ETC      | 起動 |      |      |
|              |          |    |      |      |
|              |          |    |      |      |
|              |          |    |      |      |
|              |          |    |      |      |
|              |          |    |      |      |
|              |          |    |      |      |
|              |          |    |      |      |

シャットダウンテスト   テスト結果クリア   登録   変更   削除

登録装置の一覧から変更を行う装置を選択します。  
(選択された装置は反転表示されます)

「変更」ボタンを押します。

入力可能箇所が、変更可能です。

変更後、「OK」ボタンを押すと、変更内容がUPSに反映されます。

接続装置変更

装置タイプ: WS(Telnet接続)   コンセント番号: 1

IPアドレス/ネットワーク名  
172.30.3.111

設置場所

コメント

**Telnet設定**

通信ボーレート: 9600   データビット: 8   フロー制御: なし

パリティ: なし   ストップビット: 1   漢字コード: SJIS

Wake On LAN 設定

OK   戻る

変更内容が反映されます。

(注意)

変更機能で装置タイプの変更を行うことはできません。

登録装置の装置タイプを変更する場合は、その装置を一度削除し、再登録必

## 2.5 UPS の登録装置を削除する

接続されていた装置がUPSから取り外された場合などは、その登録装置情報をUPSから削除します。また、既に登録済みの装置の「装置タイプ」を変更する場合も、その装置を一度削除し、再度登録する作業が必要です。

### [操作方法]

メイン画面の装置一覧から、削除する装置を選択します。

| 名前 (IPアドレス)  | 種別       | 状態 | 設置場所 | コメント |
|--------------|----------|----|------|------|
| 172.30.3.45  | PC(Sv_S) | 起動 |      |      |
| 172.30.3.111 | WS(T)    | 起動 |      |      |
| Router-001   | ETC      | 起動 |      |      |
|              |          |    |      |      |
|              |          |    |      |      |
|              |          |    |      |      |
|              |          |    |      |      |
|              |          |    |      |      |
|              |          |    |      |      |
|              |          |    |      |      |

登録装置の一覧から削除する装置を選択します。  
(選択された装置は反転表示されます)

「削除」ボタンを押すと、以下の確認画面が表示されます。

シャットダウンテスト    テスト結果クリア    登録    変更    削除

この画面で、削除する装置の確認を行います。  
よければ「OK」ボタンを押します。

接続装置動作情報    UPS 状態: 起動

172.30.3.111  
を削除してもよろしいですか

OK    キャンセル

「OK」ボタンにより、  
選択されている装置  
が削除されます。

(注意)

UPS 管理ソフトが動作している装置の削除は、この削除機能では行えません。UPS 管理ソフト設定ツールから行ってください。

## 2.6 Wake On LAN 機能

### Wake On LAN とは

ネットワークに接続されたコンピュータをネットワーク経由で他のコンピュータから起動する機能です。コンピュータを起動させるためのパケット「Magic Packet」を受け取ったコンピュータが本体電源をオンし、起動します。

この機能を利用するためには、ネットワークカード、マザーボード、BIOSなどコンピュータのハードウェアの対応が必要です。

### UPS の Wake On LAN 機能

UPS は、Wake On LAN 設定を「有効」にした登録装置に対して、UPS出力がオンになった時点で「Magic Packet」を送信します。（実際は、UPS 出力がオンになり、**SANUPS SOFTWARE** サーバが動作するコンピュータの起動後、**SANUPS SOFTWARE** サーバから Telnet 接続装置に対し「Magic Packet」を送信します。）

### Wake On LAN 設定

UPS に「WS(Telnet 接続)」装置を登録する際、「Wake On LAN 設定」ボタンを押すと設定画面が表示されます。

接続装置変更

### Wake On LAN 設定

Wake On LANの実行条件

☒ Wake On LAN設定をしない ☐ Wake On LAN設定する

MACアドレスの情報

MACアドレス取得方法

☒ 自動 ☐ 手動

MACアドレスの設定

00 00 00 00 00 00

秒

WakeOnLAN 機能を利用する場合は、「WakeOnLAN 設定する」を選びます。

「MAC アドレスの取得方法」で「手動」を選択した場合、コンピュータのMAC アドレスを入力します。

OK 戻る

(注意)

「WS(Telnet 接続)」装置の場合、「WakeOnLAN 設定する」を選択しても WakeOnLAN が機能しない場合があります。条件は以下のとおりです。

| 条件1                           | 条件2                                                       | WakeOnLAN 機能 |
|-------------------------------|-----------------------------------------------------------|--------------|
| WS(Telnet 接続)装置が UPS と同一セグメント |                                                           | ○            |
| WS(Telnet 接続)装置が UPS と別セグメント  | WS(Telnet 接続)装置と同一セグメントの UPS 管理ソフトが UPS に <u>登録されている</u>  | ○            |
|                               | WS(Telnet 接続)装置と同一セグメントの UPS 管理ソフトが UPS に <u>登録されていない</u> | ×            |

なお、「WS(Telnet 接続)」装置が UPS と別セグメントのネットワークの場合は、必ず「MAC アドレスの取得方法」を「手動」に設定してください。

## 2.7 UPS の基本設定を行う

### 2.7.1 ネットワークに関する設定を行う

#### [操作方法]

メイン画面から、「基本設定」ボタンを押します。

下記の画面が表示されます。

The screenshot shows the 'SANUPS SOFTWARE' web interface in Internet Explorer. The address bar shows 'http://172.30.3.45:10080/'. The page title is 'SANUPS SOFTWARE'. The main content area is titled '基本設定' (Basic Settings). It includes a header with '設置場所:' (Installation Location) and 'コメント:' (Comment), and a date/time display: '日付: 2012年10月12日(金) ROM Ver: P0002090G 時刻: 10時42分 WEB Ver: P0010'. Below this are tabs for '基本設定', 'スケジュール設定', '時計設定', 'イベント設定', '表示', and '制御'. The '基本設定' tab is active. It contains several input fields: 'IPアドレス' (172.30.3.45), 'サブネットマスク' (255.255.255.0), '設置場所' (empty), 'コメント' (empty), 'デフォルトゲートウェイ (固定アドレスのみ有効)' (172.30.3.254), and 'DNSサーバ (固定アドレスのみ有効)' (0.0.0.0). A callout box points to the 'ネットワークアドレス' (Network Address) section, which has radio buttons for 'DHCPサーバからの動的アドレス' (selected) and '固定アドレス' (Fixed Address). Another callout box points to the 'OK' button, stating '「OK」ボタンにより、設定値が反映されます。' (By clicking the OK button, the setting values are reflected).

この画面では、「設置場所」、「コメント」のみ変更可能となります。

(※1) 「設置場所」、「コメント」を変更すると、Web 管理ツール上部の「設置場所」、「コメント」の表示に反映されます。

## 2.7.2 UPS制御に関する設定を行う

停電時には何秒後にシャットダウンを開始するなどの制御動作に関する設定を行います。

### [操作方法]

メイン画面から、「基本設定」ボタンを押します。

「基本設定」画面から、「UPS 制御設定」ボタンを押します。

下記の画面が表示されます。

**基本設定**

**シャットダウン等制御時間設定**

☒ 停電時UPSを自動停止する

復電時の条件  
☒ 起動しない ☒ 起動する  
 バッテリ充電率が指定値以上になったら起動する  
 指定値:  %

☐ 遅延を行う  
 停止遅延時間:  秒

最大遅延回数  
☒ 無限に繰り返す ☐ 回数指定  回

☒ 停止予告メッセージを表示する  
 停止予告メッセージ表示周期:  秒  
 スケジュール停止予告時間:  秒

シャットダウントリガ  
☒ 停電発生時 確認時間  秒  
☒ 出力1 ☒ 出力2 ☒ 常時出力  
☒ バッテリ電圧低下発生時  
☐ 推定保持時間が指定値より短くなったらバッテリ電圧低下とする  分  
☐ UPSとの通信異常発生時 確認時間  秒  
☐ 重故障発生時 確認時間  秒  
☐ 過負荷発生時 確認時間  秒  
 シャットダウン遅延時間:  秒  
 UPS自動停止時間:  秒

バッテリー交換予告時期:  ヶ月前  
 UPS本体の自動バッテリーチェック   
☐ UPS管理ソフトによる自動バッテリーチェック

左図は、複数系統制御に対応していないUPSの場合。

右図は、複数系統制御に対応しているUPSの場合。(バッテリー推定保持時間、バッテリー充電率には未対応の場合)

**基本設定**

**シャットダウン等制御時間設定**

☒ 停電時UPSを自動停止する

復電時の条件  
☒ 起動しない ☒ 起動する  
 バッテリ充電率が指定値以上になったら起動する  
 指定値:  %

☐ 遅延を行う  
 停止遅延時間:  秒

最大遅延回数  
☒ 無限に繰り返す ☐ 回数指定  回

☒ 停止予告メッセージを表示する  
 停止予告メッセージ表示周期:  秒  
 スケジュール停止予告時間:  秒

シャットダウントリガ  
☒ 停電発生時 確認時間  秒  
☒ 出力1 ☒ 出力2 ☒ 常時出力  
☒ バッテリ電圧低下発生時  
☐ UPSとの通信異常発生時 確認時間  秒  
☐ 重故障発生時 確認時間  秒  
☐ 過負荷発生時 確認時間  秒  
 シャットダウン遅延時間:  秒  
 UPS自動停止時間:  秒

バッテリー交換予告時期:  ヶ月前  
 UPS本体の自動バッテリーチェック   
☐ UPS管理ソフトによる自動バッテリーチェック

出力系統情報 OK 戻る

画面説明 (系統制御がある UPS 使用時の画面)

基本設定

シャットダウン等制御時間設定

[1] ☒ 停電時UPSを自動停止する

[2] 復電時の条件  
☐ 起動しない ☒ 起動する  
バッテリー充電率が指定値以上になったら起動する  
指定値: 0 %

[3] ☐ 遅延を行う  
停止遅延時間: 10 秒  
最大遅延回数  
☒ 無限に繰り返す  
☐ 回数指定 0 回

[4] ☒ 停止予告メッセージを表示する  
停止予告メッセージ表示周期: 300 秒  
スケジュール停止予告時間: 600 秒

シャットダウントリガ

☒ 停電発生時 確認時間 60 秒

☒ 出力1 ☒ 出力2 ☒ 常時出力

☒ バッテリ電圧低下発生時

☐ 推定保持時間が指定値より  
短くなったらバッテリー電圧低下とする 0 分

☐ UPSとの通信異常発生時 確認時間 300 秒

☐ 重故障発生時 確認時間 60 秒

☐ 過負荷発生時 確認時間 60 秒

[5]

シャットダウン遅延時間: 30 秒 [6]

UPS自動停止時間: 120 秒 [7]

バッテリー交換予告時期: 6 ヶ月前

UPS本体の自動バッテリーチェック UPS設定に従う

☐ UPS管理ソフトによる自動バッテリーチェック しない

[8]

出力系統情報

OK 戻る

画面構成

| 番号  | 説明                     |
|-----|------------------------|
| [1] | 停電時の UPS 停止条件の設定を行います。 |
| [2] | 復電時の UPS 起動条件の設定を行います。 |
| [3] | 遅延(ログオフ待ち)の設定を行います。    |
| [4] | 停止予告メッセージの設定を行います。     |
| [5] | シャットダウントリガの設定を行います。    |
| [6] | シャットダウン遅延時間の設定を行います。   |
| [7] | UPS 自動停止時間の設定を行います。    |
| [8] | バッテリー関連の設定を行います。       |

## [画面説明]

| 画面名称                    | 説 明                                                                                                                                                        |
|-------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 停電時 UPS を自動停止する         | 停電発生時UPSを停止するか否かの設定をします。 <sup>(※1)</sup>                                                                                                                   |
| 復電時の条件                  | 停電が回復した場合、出力オフ状態のUPS出力をオンする(起動する)／オンしない(起動しない)を設定します <sup>(※1)</sup>                                                                                       |
| バッテリー充電率が指定値以上になったら起動する | 停電回復時に起動する設定をした場合、バッテリー充電率が指定値以上になったらUPS出力をオンするように設定します。(UPS が未対応の場合は設定不可)<br>なお、指定値を0%に設定した場合、停電回復時には即時にUPS出力をオンします。                                      |
| 遅延を行う                   | スケジュール停止やリモート制御による停止を行う際、シャットダウン処理の遅延(ユーザがログオフするのを待つのための遅延)を行うかを設定します。<br>この設定値は、UPS 管理ソフトが動作しているPC/WS で有効となります。<br>(この設定については、UPS 管理ソフトのユーザガイドを参照してください。) |
| 停止予告メッセージを表示する          | 停電時やスケジュール停止時、停止予告メッセージを表示するか否かを設定します。                                                                                                                     |
| 停止予告メッセージ表示周期           | 停止予告メッセージの表示周期を設定します。                                                                                                                                      |
| スケジュール停止予告時間            | スケジュール停止予告開始メッセージの表示時期を設定します。                                                                                                                              |

| 画面名称        | 説 明                                                                                                                                                                                                                                      |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| シャットダウントリガ  | <p>以下の契機によるシャットダウン条件と、確認時間を設定します。</p> <p>[1]停電発生時</p> <p>[2]バッテリー電圧低下発生時</p> <p>バッテリー残保持時間を検出しているUPSの場合、バッテリー残保持時間が指定値より短くなった場合にバッテリー電圧低下と判定し、シャットダウンするように設定することができます。</p> <p>[3]UPSとの通信異常発生時(未対応)</p> <p>[4]重故障発生時</p> <p>[5]過負荷発生時</p> |
| シャットダウン遅延時間 | <p>何らかのシャットダウントリガにより回復不能状態となってからシャットダウンを開始するまでの時間を設定します。シャットダウンの前処理を行うための時間です。</p>                                                                                                                                                       |
| UPS 自動停止時間  | <p>シャットダウン遅延時間経過後、シャットダウンを開始してから UPS を停止するまでの遅延時間を設定します。全ての登録装置のシャットダウンが完了するだけの余裕を持った時間を設定します。(※1)</p>                                                                                                                                   |
| バッテリー交換予告時期 | <p>バッテリー交換時期が近づいたとき、何ヶ月前にメッセージ表示を行うか設定します。(※1)</p>                                                                                                                                                                                       |
| 自動バッテリーチェック | <p>自動バッテリーチェックを行う／行わない、およびバッテリーチェック周期を設定します。</p> <p>UPS が自動バッテリーチェック機能に対応している場合は「UPS 本体の自動バッテリーチェック」を設定ください。</p> <p>UPS にバッテリーチェック機能はあるが、自動バッテリーチェック機能に対応していない場合は「UPS 管理ソフトによる自動バッテリーチェック」を設定してください。</p>                                 |

(※1) メッセージ表示は、UPS 管理ソフトが動作しているコンピュータ上に表示されます。

このバッテリー交換時期通知機能は、交換時期の目安としてご利用ください。使用環境によっては、交換時期が短くなる場合があります。

### 「停電によりシャットダウンを行うコンセント番号」について

系統制御があるUPSでは、“1”、“2”、“常時出力”に対して、停電によりシャットダウンを行うコンセント番号の設定が可能です。

これ以外のUPSでは、“1”のみ設定が可能です。（“2”、“常時出力”は、操作不可です）

シャットダウントリガで、「停電発生時」をチェックした場合、チェックが入った系統については停電が発生すると「停電確認時間」の間、停電回復を待ちます。停電回復が見られない場合、停電回復不能と判断しシャットダウン処理に移行します。

チェックがはずれている系統については、UPSからバッテリー電圧低下信号が出力されるまで、停電回復不能と判断しません。（「停電確認時間」による停電の回復不能確認を行いません。）

停電時、コンピュータを極力長く動作させ続けたい場合など、この設定を行うことでシャットダウン開始する時間を遅らせることができます。

## 2.8 UPS の出力系統制御に遅延をもうける

本機能は、系統制御がある UPS を使用している場合に利用できます。

### 【操作方法】

メイン画面から、「基本設定」ボタンを押します。

「基本設定」画面から、「UPS 制御設定」ボタンを押します。

「シャットダウン等制御時間設定」画面から、「出力系統情報」ボタンを押します。

以下の画面が表示されます。

基本設定

出力系統情報

出力（コンセント）1、2

オン操作

オフ操作

出力オン

出力オフ

出力コンセント 1

出力オン遅延時間: 0 秒

出力オフ遅延時間: 0 秒

出力コンセント 2

出力オン遅延時間: 0 秒

出力オフ遅延時間: 0 秒

OK

戻る

### 【説明】

系統制御がある UPS 使用の場合、出力コンセント1、2 それぞれに対し、出力オン／オフの遅延時間を設定できます。

この機能を使い、OUTPUT1 の出力を OUTPUT2 より遅く(または、早く)オンする、オフすることが可能です。(OUTPUT2 でも同様です。)

例えば、OUTPUT1 にサーバを接続、OUTPUT2にストレージ機器を接続、ストレージ機器立ち上がり後に、サーバ起動を行いたい場合は、出力コンセント1の出力オン遅延時間を出力コンセント2の出力オン遅延時間より長く設定します。

UPS出力がオン → OUTPUT2 出力オン(ストレージ機器起動) → OUTPUT1 出力オン(サーバ起動)の動作になります。

## 2.9 サービス設定を行う

HTTP、Telnet の有効／無効設定や、ポート番号の変更、アクセス制限等を設定することができます。  
(FTP、SNMP の項目は未対応です)

### 【操作方法】

メイン画面から、「基本設定」 ボタンをクリックします。

「基本設定」画面から、「サービス設定」 ボタンをクリックします。

下記の画面が表示されます。

基本設定

サービス設定

サービス

[1]

[2]

[3]

アクセス制限

全ての端末からのアクセスを許可する

下記の端末からのアクセスを許可する

1:

2:

3:

4:

5:

OK

戻る

### 画面構成

| 番号  | 説明                                            |
|-----|-----------------------------------------------|
| [1] | 各サービスを有効、または無効に設定することができます。                   |
| [2] | 各サービスのポート番号が変更できます。                           |
| [3] | 各サービス共通のアクセス制限が設定できます。(IP アドレス、またはネットワーク名 指定) |

〔画面説明〕

| 画面名称     | 説 明                                                                                              |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| HTTP     | Web からのアクセスの有効／無効を設定します。                                                                         |
| リモートログイン | Telnet／SSH 接続によるアクセスの有効／無効を設定します。<br>(注)本ソフトウェアでは SSH は未対応です。                                    |
| Telnet   | Telnet 接続によるアクセスを有効にします。                                                                         |
| ポート番号    | 各サービスのポート番号を変更します。                                                                               |
| アクセス制限   | 外部から各サービスによるアクセスを行う場合の制限を行います。<br>アクセス許可する端末のネットワークアドレスを記述すると、その端末からのアクセスを許可します。<br>(5件まで設定できます) |

2.10 UPS のログインアカウントを変更する

デフォルトのアカウント情報

アカウント名：    **upsadmin**  
パスワード：    **UpsAdmin**      (大文字／小文字を区別します)  
を、この機能を使い変更できます。(半角文字を入力します)

[操作方法]

メイン画面から、「基本設定」 ボタンを押します。

「基本設定」画面から、「アカウント設定」 ボタンを押します。

下記の画面が表示されます。

The screenshot shows a web interface for account management. A modal window titled '基本設定' (Basic Settings) is open, displaying the 'アカウント設定' (Account Setting) section. This section includes three text input fields for entering a new account name, a new password, and a confirmation of the new password. Below the fields are two buttons: 'OK' and '戻る' (Back).

[画面説明]

| 画 面 名 称     | 説 明              | 備 考           |
|-------------|------------------|---------------|
| 新しいアカウント    | 新しいアカウント名を入力します。 | 半角英数字1～20文字以内 |
| 新しいパスワード    | 新しいパスワードを入力します。  | 半角英数字20文字以内   |
| 新しいパスワードの確認 | 新しいパスワードを再入力します。 | 半角英数字20文字以内   |

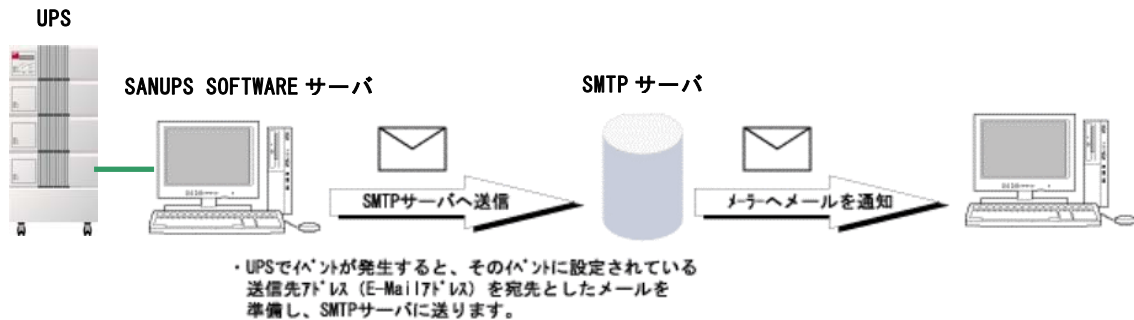
(注意) パスワードは、アルファベット大文字／小文字を区別します。

## 2.11 メール機能

UPS のメール機能には、次の機能があります。

[1] 停電などの障害が発生した時に、指定したメールアドレスに障害発生メールを通知します。

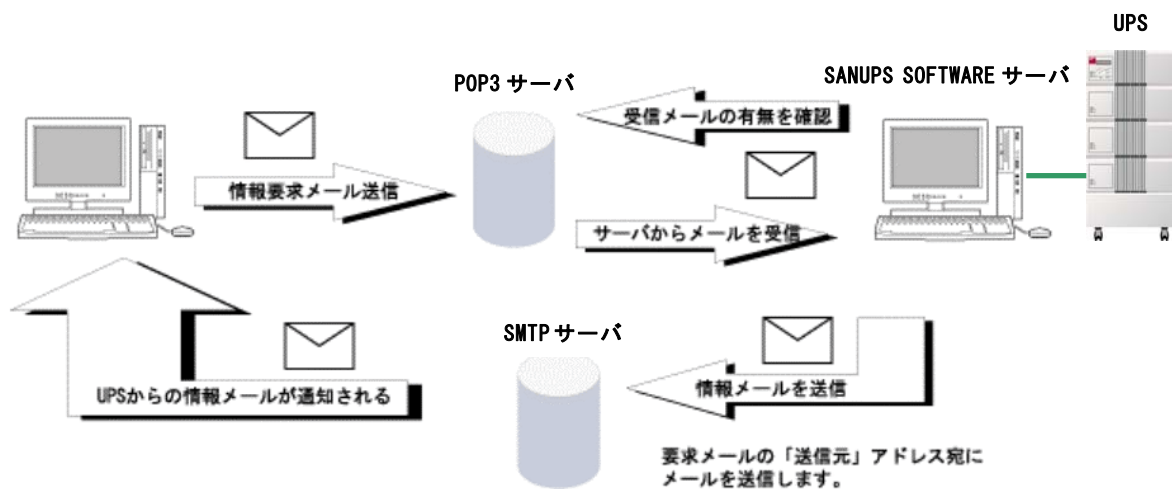
携帯電話またはコンピュータに UPS 異常発生 (イベント発生) をメール通知します。



[2] UPS の状態・計測情報をメールを使い問い合わせする。

携帯電話のメール機能または、PC/WS からメーラーを使い、UPS へ情報要求メールを送ります。

UPS は、要求メールを受け取り、要求先に状態・計測値情報をメールにて送信します。



＜携帯電話・コンピュータのメーラーから UPS へ情報要求メール送信する場合＞

送信先アドレス、件名に以下の内容を入れ、メールを送信してください。

UPS の E-Mail アドレスには、次項2.12 メール機能の設定」の「UPS E-Mail アドレス」を入力します。

件名 (Subject) には、以下のものを入力します。

(半角文字で入力します。また、大文字／小文字の区別があります。)

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| ・UPS Status Request | ・・・UPS状態計測情報         |
| ・UPS Info Request   | ・・・UPS情報             |
| ・Setting Request    | ・・・装置設定情報            |
| ・Log Request        | ・・・イベントログ情報(最新 10 件) |
| ・Log Request All    | ・・・イベントログ情報(全て)      |

本文は未記入のメールを作成します。

なお、受信メールの内容につきましては、「ユーザガイド」の「付録 F 受信メール一覧」をご覧ください。

## 2.12 メール機能の設定

障害発生などのイベント発生時に指定したアドレスに通知メールを送信するためのメールサーバ(SMTPサーバ)の設定を行います。

UPSに状態を問い合わせし、状態情報を受信メールとして受け取るためのメールサーバ(POP3サーバ)の設定を行います。

### 【操作方法】

メイン画面から、「基本設定」ボタンを押します。

「基本設定」画面から、「メール設定」ボタンを押します。

下記の画面が表示されます。

基本設定

メールサーバ設定

UPS E-mailアドレス:

送信メール (SMTP)

サーバアドレス:  ポート番号:

メール送信遅延時間:  秒

受信メール (POP3)

☒ メール確認を行う      メール確認間隔:  分

サーバアドレス:       ポート番号:

受信メールアカウント:       パスワード:

OK      戻る

### 各項目の説明

#### •UPS E-mail アドレス

UPS から E-mail を送信する際、「送信元アドレス」としてメールに付加されます。

(@を含んだメールアドレスを記載してください。)

・送信メール(SMTP)

UPS からメールを送信する際にメールを送信するメールサーバ(SMTP サーバ)の設定を行います。

| 項目名       | 説明                                   |
|-----------|--------------------------------------|
| サーバアドレス   | SMTP サーバの IP アドレス、またはネットワーク名を設定します。  |
| ポート番号     | SMTP サーバのポート番号を設定します。(デフォルト値は、25番です) |
| メール送信遅延時間 | SMTP サーバにメールを送信する時の遅延時間(秒)を設定します。    |

イベント発生時のメール送信先は、「2.23 障害発生をE-mail通知する」を参照し、送信先のメールアドレスを設定してください。

・受信メール(POP3)

UPS から状態・計測値情報の取得を行う場合、メーカーなどから UPS に要求メールを送ります。

そのメールを UPS が受信するためのメールサーバ(POP3 サーバ)の設定を行います。

| 項目名        | 説明                                                               |
|------------|------------------------------------------------------------------|
| メール確認をおこなう | POP3 サーバへメール受信確認を行うかを指定します。<br>チェックを外すと POP3 サーバへの受信メール確認を行いません。 |
| サーバアドレス    | POP3 サーバの IP アドレス、またはネットワーク名を設定します。                              |
| ポート番号      | POP3 サーバのポート番号を設定します。(デフォルト値は、110番です)                            |
| 受信メールアカウント | POP3 サーバへの認証用のアカウント名です。                                          |
| パスワード      | POP3 サーバへの認証用のパスワードです。                                           |
| メール確認時間    | 設定された時間毎に、POP3 サーバに受信メールの確認を行います。                                |

UPS が POP3 サーバからメールを取り出すと、POP3 サーバからはメール削除されます。

## 2.13 スケジュール機能

1日に1回、UPSの停止／起動をスケジュール運転することができます。

- ・毎日、指定した時間にコンピュータの停止／起動を行いたい。
  - ・祝日前にコンピュータを停止し、祝日明けにコンピュータを起動したい。
- などの運用を行えます。

UPSには、2つのスケジュール機能があります。

### ・週間スケジュール

日～土曜日までの一週間を共通のスケジュールとして365日動作します。  
曜日単位で起動／停止の時間を設定します。

### ・指定日スケジュール

起動／停止のスケジュールを特定日単位で設定します。

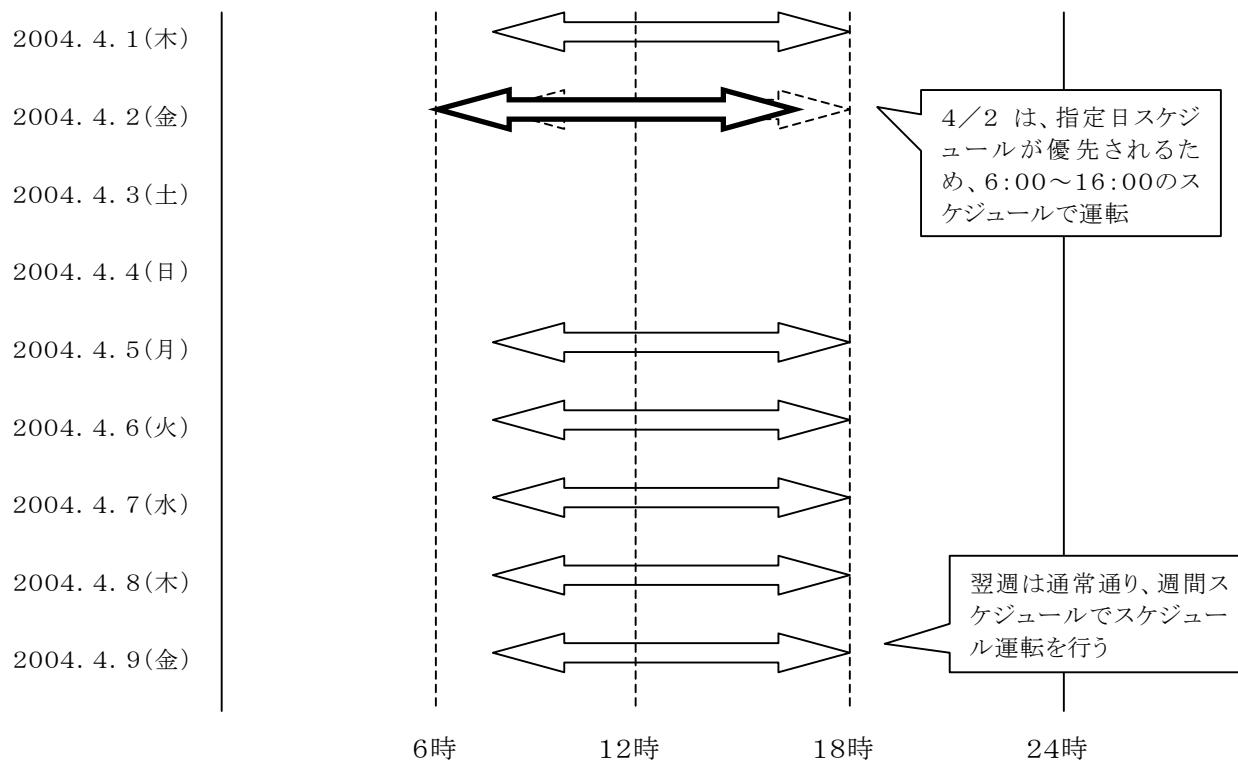
(例えば、2004年4月1日 8:00起動 17:00停止のように日時を指定し、設定します)

指定日スケジュールと週間スケジュールが重なった場合は、指定日スケジュールが優先されます。

週間スケジュールでは、月～金曜日 8:00起動 18:00停止のスケジュールを設定。

指定日スケジュールでは、4/2 6:00起動 16:00停止を設定。

の場合、以下のようなスケジュール運転になります。



## 2.14 スケジュール設定

### 〔操作方法〕

メイン画面から、「スケジュール設定」ボタンを押します。

下記の画面が表示されます。

スケジュール設定

スケジュール運転条件

☐ スケジュールを有効にする。

指定日 週間 スケジュール確認

OK 戻る

### 〔画面説明〕

| 画面名称         | 説明                                                                                  |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| スケジュールを有効にする | このチェックを付けるとスケジュール運転を行います。<br>設定されているスケジュールを一切行わないようにするには、チェックを外します。                 |
| 指定日          | 指定日スケジュール設定画面に切り替わります。<br>指定日スケジュールの設定画面については、「2.16 スケジュール設定 (指定日スケジュール)」を参照してください。 |
| 週間           | 週間スケジュール設定画面に切り替わります。<br>週間スケジュールの設定画面については、「2.15 スケジュール設定 (週間スケジュール)」を参照してください。    |
| スケジュール確認     | 設定されているスケジュール内容一覧が表示されます。                                                           |

スケジュール設定を行った際は、「スケジュールを有効にする」のチェックが付いているか確認してください。指定日、週間スケジュールの設定だけでは、スケジュール運転は動作しません。

## 2.15 スケジュール設定(週間スケジュール)

「2.14 スケジュール設定」の画面中から、「週間」ボタンを押すと、以下の画面が表示され週間スケジュールの設定が行えます。

|     | 起動                                        | 停止                                        | 0 | 6 | 12 | 18 | 24 |
|-----|-------------------------------------------|-------------------------------------------|---|---|----|----|----|
| 日曜日 | <input type="checkbox"/> 08:00            | <input type="checkbox"/> 17:00            |   |   |    |    |    |
| 月曜日 | <input checked="" type="checkbox"/> 07:30 | <input checked="" type="checkbox"/> 19:00 |   |   |    |    |    |
| 火曜日 | <input checked="" type="checkbox"/> 07:30 | <input checked="" type="checkbox"/> 19:00 |   |   |    |    |    |
| 水曜日 | <input checked="" type="checkbox"/> 07:30 | <input checked="" type="checkbox"/> 19:00 |   |   |    |    |    |
| 木曜日 | <input checked="" type="checkbox"/> 07:30 | <input checked="" type="checkbox"/> 19:00 |   |   |    |    |    |
| 金曜日 | <input checked="" type="checkbox"/> 07:30 | <input checked="" type="checkbox"/> 19:00 |   |   |    |    |    |
| 土曜日 | <input type="checkbox"/> 08:00            | <input type="checkbox"/> 17:00            |   |   |    |    |    |

全クリア OK 戻る

上図は、月～金曜日まで 7:30起動 19:00停止 の週間スケジュール設定を行った画面です。

デフォルトでは、日～土曜日まで、起動、停止時間共に未設定になっています。

「全クリア」ボタンは、設定情報を全て削除します。

### [設定方法]

月曜日 ☒ 08:00 ☒ 20:00

起動時間設定する場合、「チェック」を付けます

停止時間設定する場合、「チェック」を付けます

起動時間を 00:00～23:59 の範囲で入力します

停止時間を 00:00～23:59 の範囲で入力します

UPS出力がオンになっている時間帯を表します。

## 2.16 スケジュール設定(指定日スケジュール)

「2.14 スケジュール設定」の画面中から、「指定日」ボタンを押すと、以下の画面が表示され指定日スケジュールの設定が行えます。

**スケジュール設定**

**指定日設定**

|                | 起動                                        | 停止                                        |
|----------------|-------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 2012/08/30 (木) | <input checked="" type="checkbox"/> 08:00 | <input checked="" type="checkbox"/> 17:00 |
| 2012/08/31 (金) | <input checked="" type="checkbox"/> 08:00 | <input checked="" type="checkbox"/> 17:00 |
| 2012/09/01 (土) | <input checked="" type="checkbox"/> 08:00 | <input checked="" type="checkbox"/> 17:00 |
| 2012/09/02 (日) | <input checked="" type="checkbox"/> 08:00 | <input checked="" type="checkbox"/> 17:00 |
| 2012/09/03 (月) | <input checked="" type="checkbox"/> 08:00 | <input checked="" type="checkbox"/> 21:00 |
| 2012/09/04 (火) | <input checked="" type="checkbox"/> 08:00 | <input checked="" type="checkbox"/> 17:00 |
| 2012/09/05 (水) | <input checked="" type="checkbox"/> 08:00 | <input checked="" type="checkbox"/> 17:00 |
| 2012/09/06 (木) | <input checked="" type="checkbox"/> 08:00 | <input checked="" type="checkbox"/> 17:00 |

2012/08/31 左記日付へ移動

**設定一覧**

日付: 起動: 停止

2012/09/03 (月) : :21:00

2012/09/04 (火) :08:00 :

(重要)  
指定日スケジュールは、50件まで登録可能です。

削除 全クリア

OK 戻る

スケジュール設定を行うと、設定一覧に設定内容が表示されます。

「削除」、「全クリア」ボタンを利用し、設定一覧中のスケジュールを削除できます。

上図は、9月3日の21:00にスケジュール停止を行い、翌日の9月4日の8:00にスケジュール起動を行うように設定をした画面です。

### [設定方法]

スケジュール制御の抑制を設定します

停止時間設定する場合、「チェック」を付けます

停止時間を00:00~23:59の範囲で入力します

2012/10/01 (月) ☒ ☒ 08:00 ☒ 17:00

起動時間設定する場合、「チェック」を付けます

起動時間を00:00~23:59の範囲で入力します

## スケジュール制御の抑制設定

週間スケジュールを使い、月～金曜日のスケジュールを設定した場合、平日の祝日には、UPSを停止したい場合があります。そのようなとき、スケジュール抑制設定を使うことで、週間スケジュールの設定値変更せず対応できます。

(指定日スケジュールが設定されている場合も、抑制チェックを外すとスケジュール運転行いません)

| 日付             | 起動                                        | 停止                                        |
|----------------|-------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 2012/09/12 (水) | <input checked="" type="checkbox"/> 08:00 | <input checked="" type="checkbox"/> 17:00 |
| 2012/09/13 (木) | <input checked="" type="checkbox"/> 08:00 | <input checked="" type="checkbox"/> 17:00 |
| 2012/09/14 (金) | <input checked="" type="checkbox"/> 08:00 | <input checked="" type="checkbox"/> 17:00 |
| 2012/09/15 (土) | <input checked="" type="checkbox"/> 08:00 | <input checked="" type="checkbox"/> 17:00 |
| 2012/09/16 (日) | <input checked="" type="checkbox"/> 08:00 | <input checked="" type="checkbox"/> 17:00 |
| 2012/09/17 (月) | <input type="checkbox"/> 08:00            | <input type="checkbox"/> 17:00            |
| 2012/09/18 (火) | <input checked="" type="checkbox"/> 08:00 | <input checked="" type="checkbox"/> 17:00 |
| 2012/09/19 (水) | <input checked="" type="checkbox"/> 08:00 | <input checked="" type="checkbox"/> 17:00 |

2012/08/31 左記日付へ移動

削除 全クリア

OK 戻る

上図は、9月17日(月)が祝日のため、スケジュール運転行わないよう抑制設定した画面です。

通常は、9月17日は、平日のため週間スケジュールが動作しますが、上記画面では、抑制チェックを外したため、この日のスケジュール制御は、動きません。

つまり、14日に停止後、次の起動は18日になります。

## 日付の移動方法

指定日スケジュール画面、スケジュール確認画面では、本日の日付を表示するよう画面表示されます。

以下の箇所に移動したい日付を入力し、「左記日付へ移動」ボタンを押すと該当する日付に移動できます。

2012/08/31 左記日付へ移動

ここに移動したい日付を入力します

## 2.17 スケジュール内容の確認

指定日スケジュール、および、週間スケジュール機能を使い設定したスケジュールを確認する場合は、「2.14 スケジュール設定」の画面中から、「スケジュール確認」ボタンを押します。以下の画面が表示されスケジュール確認が行えます。



上図は、週間スケジュールを月～金曜日 (8:00～19:00) に設定。

指定日スケジュールでは

9月6日の停止時間を20:30に、

9月7日の起動時間を7:00に、停止時間を20:30に設定した時の確認画面です。



上図は、週間スケジュールを月～金曜日 (8:00～19:00) に設定。

指定日スケジュールで

9月17日をスケジュール抑制した時の確認画面です。

## 2.18 イベント設定

UPS では、停電の発生／復旧・UPS出力オフなどの状態の変化、停電確認時間の経過後の停電回復不能によるシャットダウン開始などの動作を「イベント」と呼びます。

この「イベント」毎に、

- ・イベントログ記録の有無
- ・WSへのスクリプト実行
- ・E-mail 送信の有無

を設定できます。

### イベントログ

イベントログでは、

- ・いつ停電が発生したかなどの状態変化の記録
- ・いつどの装置に対してシャットダウン処理を実行したかの記録
- ・UPS に対する設定変更がどの装置から行われたかの記録

を保存できます。

それぞれのイベント単位に記録の有無を設定可能です。

### WS スクリプト実行

UPS から直接 Telnet ログインしてシャットダウンを行うよう設定している WS に対して、何のイベント発生時にどのようなコマンドを実行するかを設定します。

シャットダウン実行以外にも、アプリケーション停止のコマンドを実行するなど、いろいろな応用ができます。

### E-mail 送信

イベント発生時に、指定したメールアドレスに対して、イベント発生を知らせるメールを送信できます。

## 2.19 イベントログ設定を行う

### [操作方法]

メイン画面から、「イベント設定」ボタンを押します。

下記の画面が表示されます。

イベント設定機能の切替を行います

イベント一覧(種別)内容の切替を行います。

| No.  | イベント           | 設定状態 | 変更 |
|------|----------------|------|----|
| 0101 | 停電(交流入力電圧異常)   | 有効   | 不可 |
| 0102 | 停電(交流入力電圧異常)復旧 | 有効   | 不可 |
| 0141 | 重故障発生          | 有効   | 不可 |
| 0142 | 重故障復旧          | 有効   | 不可 |
| 0143 | 軽故障発生          | 有効   | 不可 |
| 0144 | 軽故障復旧          | 有効   | 不可 |
| 0503 | スケジュール停止予告開始   | 無効   | 可  |
| 0505 | 回復不能(スケジュール停止) | 有効   | 不可 |
| 0506 | 回復不能(リモート停止)   | 有効   | 不可 |
| 0507 | 回復不能(停電)       | 有効   | 不可 |

標準設定  
高度な設定 (LPS状態関連)  
高度な設定 (LPS管理システム関連)

有効  
無効  
標準に戻す  
OK  
戻る

### イベント設定機能の切替(下図)

| イベント設定                                                                                             |                        |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> イベントログ <input type="radio"/> WSスクリプト <input type="radio"/> E-Mail |                        |
| 名 称                                                                                                | 説 明                    |
| イベントログ                                                                                             | イベントログ設定機能に切り替わります。    |
| WS スクリプト                                                                                           | WSスクリプト設定機能に切り替わります。   |
| E-mail                                                                                             | E-mail 送信設定機能に切り替わります。 |

(注意) 設定内容を反映していない状態で、機能切替を行うと未設定の内容は UPS に反映されません。機能切替を行う前に、「OK」ボタンを押し、変更値の反映を行ってください。

## イベント種別の切替(下図)

|                                                                                                                                   | 名 称                     | 説 明                                |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|------------------------------------|
| <input checked="" type="radio"/> 標準設定<br><input type="radio"/> 高度な設定<br>(UPS状態関連)<br><input type="radio"/> 高度な設定<br>(UPS管理システム関連) | 標準設定                    | 標準的な内容の設定を行います。                    |
|                                                                                                                                   | 高度な設定<br>(UPS 状態関連)     | UPS 故障詳細など UPS 動作の詳細内容について設定を行います。 |
|                                                                                                                                   | 高度な設定<br>(UPS 管理システム関連) | UPS 管理に関する内容について設定を行います。           |

## 設定用ボタン

| ボ タ ン 名 称 | 説 明                                                                                                               |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 有効        | 選択されたイベント項目を <b>有効</b> にします。<br>「設定状態」が <b>無効</b> になっている場合は、「設定状態」が <b>有効</b> に変わります。この設定により、イベントログが記録されるようになります。 |
| 無効        | 選択されたイベント項目を <b>無効</b> にします。<br>「設定状態」が <b>有効</b> になっている場合は、「設定状態」が <b>無効</b> に変わります。この設定により、イベントログが記録されなくなります。   |
| 標準に戻す     | 選択されたイベント項目を初期設定値に戻します。                                                                                           |
| OK        | 変更内容を UPS に反映します。                                                                                                 |
| 戻る        | メイン画面に戻ります。<br>変更した内容を UPS 反映していない場合は、変更値の反映を行いません。                                                               |

## 2.20 WS スクリプト実行の設定を行う

WS に対して、シャットダウンを行う、アプリケーション・コマンドを実行するなどを行う場合は、この機能を使い WS へログインを行う手順、WS で実行するコマンドを設定します。

### 【操作方法】

メイン画面から、「イベント設定」ボタンを押します。

イベント設定画面から、「WS スクリプト」を選択します。

以下の画面が表示されます。

イベント設定

☐ イベントログ
☒ **WSスクリプト**
☐ E-mail

接続装置の選択

| 名前(IPアドレス)   | 種別    | 渡字コード  | 設置場所 | コメント |
|--------------|-------|--------|------|------|
| 172.30.3.111 | WS(T) | シフトJIS |      |      |
|              |       |        |      |      |
|              |       |        |      |      |
|              |       |        |      |      |
|              |       |        |      |      |
|              |       |        |      |      |
|              |       |        |      |      |
|              |       |        |      |      |
|              |       |        |      |      |
|              |       |        |      |      |
|              |       |        |      |      |
|              |       |        |      |      |

WSスクリプト選択
戻る

「WS スクリプト」を選択します。

一覧には、登録されている WS (Telnet 接続) 装置が表示されます。

(注意) UPS 管理ソフトをインストールした WS は、ここには表示されません。

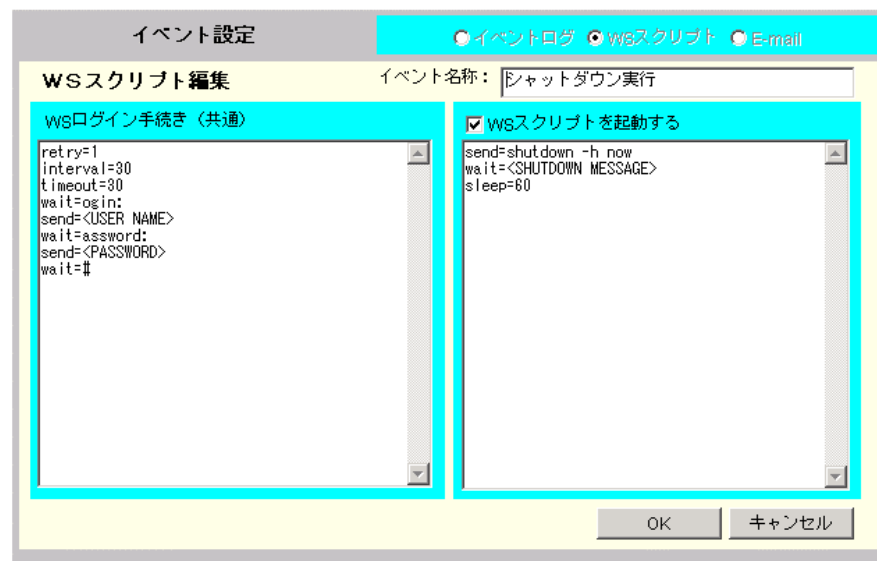
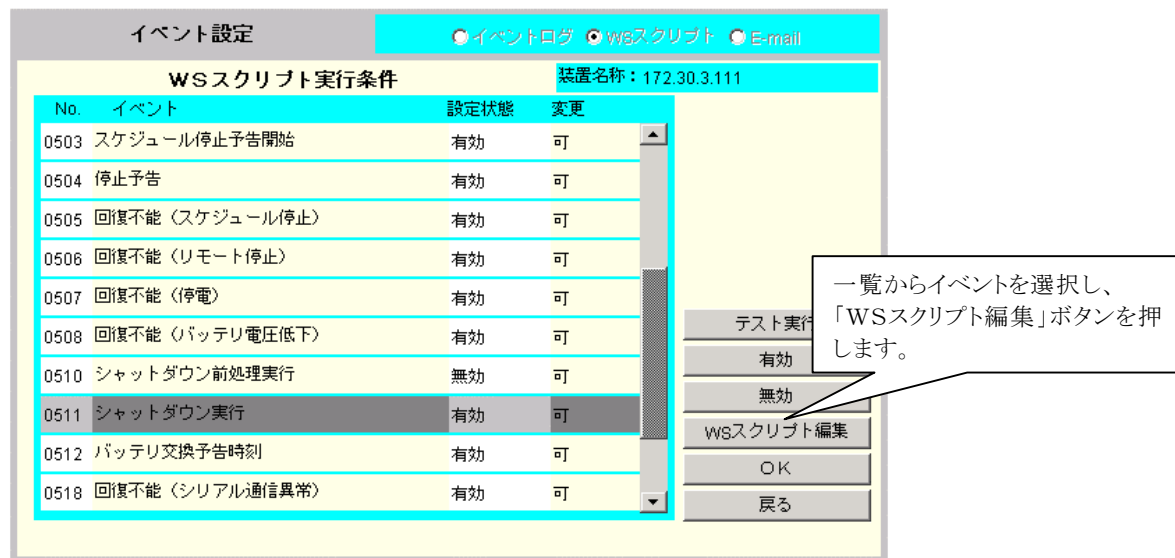
登録 WS の一覧から、WSスクリプトの編集を行う WS を選択すると「WS スクリプト選択」ボタンが、選択可能になります。

この「WS スクリプト選択」ボタンを押すと、イベント選択画面に切り替わります。スクリプトを記述するイベントを選択します、

## WSスクリプトの編集を行う

イベント一覧画面からWSスクリプトを編集するイベントを選択します。

「WSスクリプト編集」ボタンをクリックすると、WSスクリプト編集画面が表示されます。



この画面は、「シャットダウン実行」のイベントを一覧から選択し、「WSスクリプト編集」ボタンをクリックした場合に表示される画面です。

この画面から、ログインする手順、イベント毎に実行する処理をスクリプトとして登録します。

## 2.21 WS スクリプト実行の編集を行う

「2.20 WSスクリプト実行の設定を行う」でのスクリプト編集画面にて  
 ログイン時の手順を記述する「WSログイン手続き」の編集（画面左側）  
 イベント発生時に実行する「WS スクリプト」の編集（画面右側）  
 を行います。  
 以下では、スクリプトの記述例などを紹介します。

### ・WSログイン手続き

イベント・スクリプト実行時の WS ログイン処理を入力します。

この記述は、WS共通項目になります。あるイベントで設定した内容は、他のイベントでも共通利用されます。

ログイン・スクリプトのデフォルト設定値

| 行 | ログイン・スクリプト       |   | 説 明                           |
|---|------------------|---|-------------------------------|
| 1 | retry=1          | ← | スクリプト実行失敗時のリトライ回数を指定します。      |
| 2 | interval=30      | ← | リトライ開始までの間隔秒を指定します。           |
| 3 | timeout=30       | ← | “wait=”記述箇所指定文字データ受信を待つ最大時間秒  |
| 4 | wait=ogin:       | ← | login入力プロンプトを待ちます。            |
| 5 | send=<USER NAME> | ← | ログイン名を送信します。                  |
| 6 | wait=assword:    | ← | Password入力プロンプトを待ちます。         |
| 7 | send=<PASSWORD>  | ← | パスワードを送信します。                  |
| 8 | wait=#           | ← | WSからのログイン完了を待ちます。(プロンプト表示を待つ) |

1～3行目では、ログイン・スクリプトの動作設定をしています。

4～5行目では、ログイン名を入力します。

6～7行目では、パスワードを入力します。

8行目では、ログインの完了を待ちます。(ログインができれば、#プロンプトが表示されるため)

## 「WSログイン手続き」 使用コマンド一覧

| コマンド名           | 説明                                                                                                                            | 記述例                                                                        |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| <b>send</b>     | WS側に送信する文字列を設定します。                                                                                                            | 例) <code>send=shutdown</code>                                              |
| <b>wait</b>     | UPS側で受信する文字列(プロンプト等)を設定します。                                                                                                   | 例) <code>wait=login</code>                                                 |
| <b>sleep</b>    | 何の処理も行わずに待機する時間を設定します。<br>単位は秒(s)                                                                                             | 例) <code>sleep=90</code>                                                   |
| <b>timeout</b>  | 何らかの処理を実行後、その処理の終了を待つ時間を設定します。<br>単位は、秒(s)<br>デフォルト値は、30 秒です。                                                                 | 例) <code>timeout=60</code>                                                 |
| <b>retry</b>    | スクリプト失敗時のリトライ回数を設定します。<br>単位は、回(有効範囲 0～10 回)<br>デフォルト値は、1回です。                                                                 | 例) <code>retry=2</code>                                                    |
| <b>interval</b> | スクリプト失敗時のリトライ間隔を設定します。<br>単位は、秒(有効範囲 1～60 秒)<br>デフォルト値は、30 秒です。                                                               | 例) <code>interval=10</code>                                                |
| <b>port</b>     | WS側のTelnetポート番号を指定します。<br>有効範囲 0～65,535<br>省略時は、ポート 23 を使用します。                                                                | 例) <code>port=10023</code>                                                 |
| <b>cr_only</b>  | 改行コードを<CR>に設定します。<br>設定値は、yes または no。<br>yes に設定すると、それ以降の送信データの改行コードが<CR>となります。<br>省略時は、no として動作します。<br>(改行コードは<CR><LF>になります) | 例) <code>cr_only=yes</code><br><code>cr_only=no</code>                     |
| <b>binsend</b>  | WS側に送信する8ビットコードを設定します。<br>有効範囲<br>16進表示 : x00～xff<br>8進表示 : 000～377                                                           | 例) 16 進表示<br><code>binsend=x07</code><br>8 進表示<br><code>binsend=004</code> |

※ 「=」前後のスペースの有無は、処理に影響ありません。

半角 510 文字(全角 255 文字)以内で設定してください。

## •WSスクリプト

イベント毎に WS で行うスクリプト処理を入力します。

ここで言う「スクリプト」は、UNIXなどでのシェル・スクリプトとは異なります。  
 ここでは、コンピュータにコマンドを送信するなどの一連の動作を記述したものを「スクリプト」と称しています。

例) `send=shutdown -h now` ← シャットダウンコマンドを送信します  
`sleep=60` ← 60秒間待機します。  
 (ここでは、ログアウト待ちをしています)

### 「WS スクリプト」 使用コマンド

| コマンド名           | 説明                                                                                                                            | 記述例                                                                        |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| <b>send</b>     | WS 側に送信する文字列を設定します。                                                                                                           | 例) <code>send=shutdown</code>                                              |
| <b>wait</b>     | UPS側で受信する文字列(プロンプト)を設定します。                                                                                                    | 例) <code>wait=login</code>                                                 |
| <b>sleep</b>    | 何の処理も行わずに待機する時間を設定します。<br>単位は秒(s)                                                                                             | 例) <code>sleep=90</code>                                                   |
| <b>timeout</b>  | 何らかの処理を実行後、その処理の終了を待つ時間を設定します。<br>単位は、秒(s)<br>デフォルト値は、30 秒です。                                                                 | 例) <code>timeout=60</code>                                                 |
| <b>retry</b>    | スクリプト失敗時のリトライ回数を設定します。<br>単位は、回(有効範囲0～10回)<br>デフォルト値は、1回です。                                                                   | 例) <code>retry=2</code>                                                    |
| <b>interval</b> | スクリプト失敗時のリトライ間隔を設定します。<br>単位は、秒(有効範囲 1～60 秒)<br>デフォルト値は、30 秒です。                                                               | 例) <code>interval=10</code>                                                |
| <b>cr_only</b>  | 改行コードを<CR>に設定します。<br>設定値は、yes または no。<br>yes に設定すると、それ以降の送信データの改行コードが<CR>となります。<br>省略時は、no として動作します。<br>(改行コードは<CR><LF>になります) | 例) <code>cr_only=yes</code><br><code>cr_only=no</code>                     |
| <b>binsend</b>  | WS側に送信する8ビットコードを設定します。<br>有効範囲<br>16進表示: <code>x00～xff</code><br>8進表示 : <code>000～377</code>                                  | 例) 16 進表示<br><code>binsend=x07</code><br>8 進表示<br><code>binsend=004</code> |
| <b>delay</b>    | スクリプトの実行を指定時間遅らせます。<br>イベント・スクリプト中に“delay”記述がある場合は、<br>指定時間経過後にログイン・スクリプトを実行し、イベント・スクリプトを実行します。                               | 例) <code>delay=60</code>                                                   |

※ 「=」前後のスペースの有無は、処理に影響ありません。

半角598文字(全角299文字)以内で設定してください。

## スクリプト中に使用できるマクロ文字列

送信文字列にはマクロが使用できます。以下の一覧表に示すマクロ文字列が指定されている場合は、対応した文字列に置き換わります。

| マクロ文字列          | 意味                         |
|-----------------|----------------------------|
| %STOP_TIME_M%   | 回復不能までの残り時間(分の位)           |
| %STOP_TIME_S%   | 回復不能までの残り時間(秒の位)           |
| %SD_DELAY_TIME% | UPS に設定されているシャットダウン遅延時間(秒) |
| %BAT_CHG_MON%   | バッテリー交換までの残り月数             |

### ログイン・スクリプトの記述

ご使用の環境によっては、直接スーパーユーザー(root)権限でログインができない場合があります。そのような場合は、“su”コマンドを使い、root ユーザに代わりコマンド実行を行ってください。

以下は、“su”コマンド使用する場合のログイン・スクリプト記述例です。

一般ユーザ(ユーザ名:guest、パスワード:guest)、root(パスワード:root)でログインする例です。

| 行  | ログイン・スクリプト    | 説 明                         |
|----|---------------|-----------------------------|
| 1  | retry=1       | ログイン・スクリプトの動作設定をしています。      |
| 2  | interval=30   |                             |
| 3  | timeout=30    |                             |
| 4  | wait=ogin:    | 一般ユーザ:guest でログインします。       |
| 5  | send=guest    | ここでは、ログイン名:guest を入力します。    |
| 6  | wait=assword: | 一般ユーザ:guest のパスワードを入力します。   |
| 7  | send=guest    | パスワード:guest を入力します。         |
| 8  | wait=\$       | ログイン後の\$プロンプト表示を待ちます。       |
| 9  | send=su       | “su”コマンドを送信し、実行します。         |
| 10 | wait=assword: | root のパスワードを入力します。          |
| 11 | send=root     | パスワード:root を入力します。          |
| 12 | wait=#        | root でのログイン後の#プロンプト表示を待ちます。 |

## 2.22 WS スクリプト実行の動作テストを行う

「2.21 WSスクリプト実行の編集を行う」で設定を行ったスクリプトが正常に動作するかの動作確認を行えます。

以下のスクリプト一覧画面からテスト実行を行うイベントを選択し、「テスト実行」ボタンを押します。

イベント設定

● イベントログ ● **WSスクリプト** ● E-mail

WSスクリプト実行条件 装置名称: 172.30.1.18

| No.  | イベント             | 設定状態 | 変更 |
|------|------------------|------|----|
| 0503 | スケジュール停止予告開始     | 有効   | 可  |
| 0504 | 停止予告             | 有効   | 可  |
| 0505 | 回復不能 (スケジュール停止)  | 有効   | 可  |
| 0506 | 回復不能 (リモート停止)    | 有効   | 可  |
| 0507 | 回復不能 (停電)        | 有効   | 可  |
| 0508 | 回復不能 (バッテリー電圧低下) | 有効   | 可  |
| 0510 | シャットダウン前処理実行     | 無効   | 可  |
| 0511 | シャットダウン実行        | 有効   | 可  |
| 0512 | バッテリー交換予告時刻      | 有効   | 可  |
| 0518 | 回復不能 (シリアル通信異常)  | 有効   | 可  |

テスト実行

有効

無効

WSスクリプト編集

OK

戻る

スクリプト編集を行ったイベントを選択し、「テスト実行」ボタンを押します。

実行確認画面が表示されます。

イベント設定

● イベントログ ● **WSスクリプト** ● E-mail

WSスクリプト実行確認

WSスクリプトのテスト実行を行います。

よろしければOKボタンをクリックしてください。

OK キャンセル

「OK」ボタンを押すと、テスト実行開始します。

イベント設定

☐ イベントログ
☒ WSスクリプト
☐ E-mail

WSスクリプト実行条件

装置名称: 172.30.1.18

| No.  | イベント             | 設定状態 | 変更 |
|------|------------------|------|----|
| 0504 | 停止予告             | 有効   | 可  |
| 0505 | 回復不能 (スケジュール停止)  | 有効   | 可  |
| 0506 | 回復不能 (リモート停止)    | 有効   | 可  |
| 0507 | 回復不能 (停電)        | 有効   | 可  |
| 0508 | 回復不能 (バッテリー電圧低下) | 有効   | 可  |
| 0510 | シャットダウン前処理実行     | 無効   | 可  |
| 0511 | シャットダウン実行        | 有効   | 可  |
| 0512 | バッテリー交換予告時刻      | 有効   | 可  |
| 0518 | 回復不能 (シリアル通信異常)  | 有効   | 可  |
| 0552 | 出力系統オン           | 無効   | 可  |

テスト実行

有効

無効

WSスクリプト編集

OK

戻る

スクリプト成功(0511)

実行結果が表示されます。

## スクリプトの実行結果表示

スクリプトテストを実行すると、実行結果が表示されます。

以下は、表示例です。

### ・成功時のメッセージ

|     |                                         |
|-----|-----------------------------------------|
| 表示例 | スクリプト成功 (0511)                          |
| 説明  | イベントNo. 0511 (シャットダウン実行) のスクリプトが成功しました。 |

#### (注意)

スクリプト成功は、お客様が設定したコマンドの実行が成功したことを表すものではありません。(設定したコマンドが、パスが通っていない、コマンドの綴りが違っているなどでWS側でコマンド実行失敗しても、UPS側では、その失敗を見ません)

スクリプト設定された処理が一通り終わった場合に、スクリプト成功となります。  
設定したコマンドの実行結果については、お客さまの責任において確認をお願いします。

### ・失敗時のメッセージ

|     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 表示例 | スクリプト失敗 (0511) 詳細:E=0511,L=8T                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 説明  | <p>イベントNo. 0511 (シャットダウン実行) のスクリプトが失敗しました。</p> <p>詳細:E=0511 イベント No.を表示</p> <p>L=8T L・・・スクリプトのタイプ(ここでは、ログイン手続きで失敗を表しています)</p> <p>8・・・発生行</p> <p>T・・・発生原因(ここでは、タイムアウト発生を表しています)</p> <p>スクリプト・タイプ</p> <p>L : ログイン手続き</p> <p>S : WS スクリプト</p> <p>発生原因</p> <p>T : タイムアウト発生</p> <p>F : フォーマットエラー(スクリプト記述形式が違う)</p> |

### ・実行中のメッセージ

|     |                                        |
|-----|----------------------------------------|
| 表示例 | スクリプトテスト実行中 (0511)                     |
| 説明  | イベントNo. 0511 (シャットダウン実行) のスクリプトが実行中です。 |

## 2.23 障害発生を E-mail 通知する

イベント一覧からイベントを選択し、イベント毎に E-mail アドレスを設定できます。  
設定したアドレスには、イベント発生時に UPS からメール通知を行います。

### [操作方法]

メイン画面から、「イベント設定」ボタンを押します。  
表示されたイベント設定画面から、「E-mail」を選択します。  
以下の画面が表示されます。

イベント設定

● イベントログ ● WSスクリプト ● E-mail

メール通知条件

| No.  | イベント             | 設定状態 | 変更 |
|------|------------------|------|----|
| 0101 | 停電 (交流入力電圧異常)    | 無効   | 可  |
| 0102 | 停電 (交流入力電圧異常) 復旧 | 無効   | 可  |
| 0141 | 重故障発生            | 有効   | 可  |
| 0142 | 重故障復旧            | 有効   | 可  |
| 0143 | 軽故障発生            | 有効   | 可  |
| 0144 | 軽故障復旧            | 有効   | 可  |
| 0503 | スケジュール停止予告開始     | 無効   | 可  |
| 0505 | 回復不能 (スケジュール停止)  | 無効   | 可  |
| 0506 | 回復不能 (リモート停止)    | 無効   | 可  |
| 0507 | 回復不能 (停電)        | 無効   | 可  |

● 標準設定  
● 高度な設定 (UPS状態関連)  
● 高度な設定 (UPS管理システム関連)

テスト送信  
有効  
無効  
E-mail送信先  
OK  
戻る

「E-mail」を選択します。

イベント一覧 (種別) 内容の切替を行います。

### イベント種別の切替 (下図)

|                          | 名 称                     | 説 明                                |
|--------------------------|-------------------------|------------------------------------|
| ● 標準設定                   | 標準設定                    | 標準的な内容の設定を行います。                    |
| ● 高度な設定<br>(UPS状態関連)     | 高度な設定<br>(UPS 状態関連)     | UPS 故障詳細など UPS 動作の詳細内容について設定を行います。 |
| ● 高度な設定<br>(UPS管理システム関連) | 高度な設定<br>(UPS 管理システム関連) | UPS 管理に関する内容について設定を行います。           |

## 設定用ボタン

| ボ タ ン 名 称  | 説 明                                                                                                                 |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| テスト送信      | 選択されたイベントに登録されているメール・アドレスにメール送信テストを行います。                                                                            |
| 有効         | 選択されたイベントのメール送信を <b>有効</b> にします。<br>「設定状態」が <b>無効</b> になっている場合は、「設定状態」が <b>有効</b> に変わります。この設定により、メール送信が行われるようになります。 |
| 無効         | 選択されたイベントのメール送信を <b>無効</b> にします。<br>「設定状態」が <b>有効</b> になっている場合は、「設定状態」が <b>無効</b> に変わります。この設定により、メール送信が行われなくなります。   |
| E-mail 送信先 | 選択されたイベントに対して、メール送信先アドレスの設定を行います。                                                                                   |

## メール送信先アドレスの“設定”

## [操作方法]

イベント一覧からメール送信を設定するイベントを選択します。

「E-mail 送信先」 ボタンを押すと、以下の画面が表示されます。

The screenshot shows the 'イベント設定' (Event Setting) screen with the 'E-mail' tab selected. The 'E-mailアドレス設定' (E-mail Address Setting) section is active. It includes a checkbox for 'E-mailを送信する' (Send E-mail) and a field for 'イベント名' (Event Name) set to '停電(交流入力電圧異常)' (Power Outage (AC Input Voltage Abnormality)). Below is a table with 5 rows, each with a 'No.' (1-5), a '有効' (Valid) checkbox, and a '送信先アドレス' (Destination Address) input field. At the bottom, there is a checkbox for '送信先を全てのイベントに反映する' (Reflect destination to all events) and 'OK' and '戻る' (Back) buttons. A callout box on the right states: 'このアドレス一覧は全イベント共通です。「有効」のチェックの有無により、各イベントで送信したいアドレスを選択してください。' (This address list is common to all events. Please select the address you want to send for each event by checking or unchecking 'Valid').

## ボタン説明

| ボタン名称            | 説 明                                                         |
|------------------|-------------------------------------------------------------|
| E-mail を送信する     | 選択したイベント発生時、E-mail 送信を行いたい場合、チェックします。                       |
| 有効               | メール送信先アドレス一覧の中で、選択したイベント発生時に E-mail 送信先として指定するアドレスをチェックします。 |
| 送信先アドレス          | メール送信先アドレス一覧の登録を行います。登録できるメール送信先アドレスは、 <u>5件</u> までです。      |
| 送信先を全てのイベントに反映する | 選択したイベントにおけるメール送信先アドレスの設定を、全てのイベントに反映させたい場合チェックします。         |

## 2.24 UPS の状態・イベントログを確認する

表示機能を利用することで現在の UPS の状態／計測値を確認できます。

また、イベントログの記録を確認することができます。

### (情報)

UPS の状態・計測値内容につきましては、「ユーザガイド」の「付録 D UPS の状態・計測値内容」、またイベントの説明につきましては、「付録 C イベントの説明」をご覧ください。

### [操作方法]

メイン画面から、「表示」 ボタンを押します。

下記の画面が表示されます。

| 状態・計測値表示          |        |       |     | <input checked="" type="radio"/> 状態・計測値表示 <input type="radio"/> イベントログ表示 |           |
|-------------------|--------|-------|-----|--------------------------------------------------------------------------|-----------|
| 取得時刻: 21時 04分 24秒 |        |       |     |                                                                          |           |
| 計測値               |        |       |     | 状態                                                                       |           |
| No.               | 計測名称   | 計測値   | 単位  | No.                                                                      | 状態名称      |
| 1                 | 入力電圧   | 103   | V   | 1                                                                        | 交流入力電圧    |
| 2                 | 入力電流   | ***** | A   | 2                                                                        | 入力電圧異常    |
| 3                 | 入力電力   | ***** | kW  | 3                                                                        | 出力状態      |
| 4                 | 入力周波数  | 60.1  | Hz  | 4                                                                        | 同期        |
| 5                 | 入力皮相電力 | ***** | kVA | 5                                                                        | インバータ運転   |
| 6                 | 入力電圧   | ***** | V   | 6                                                                        | 入力電圧異常    |
| 7                 | 入力電流   | ***** | A   | 7                                                                        | 出力運転      |
| 8                 | 入力電力   | ***** | kW  | 8                                                                        | 同期中       |
| 9                 | 入力周波数  | ***** | Hz  | 9                                                                        | UPS停止待ち状態 |
| 10                | 入力皮相電力 | ***** | kVA | 10                                                                       | 出力寿命      |
| 11                | 出力電圧   | 102   | V   | 11                                                                       | 出力電圧      |
| 12                | 出力電流   | 0.0   | A   | 12                                                                       | 出力リセット中   |

### [画面説明]

| 画面名称     | 説明                                                        |
|----------|-----------------------------------------------------------|
| 状態・測定値表示 | 状態・測定値表示画面(本画面)に切り替わります。                                  |
| イベントログ表示 | イベントログ表示画面に切り替わります。                                       |
| 取得時刻     | UPS から状態情報を取得した時刻を表示します。およそ10秒間隔で状態情報を取得し、計測値状態の表示を更新します。 |
| 計測値      | UPS の計測値を表示します。<br>計測表示がない項目は、“*****”で表示されます。             |
| 状態       | UPS の状態を表示します。状態表示がない項目は“*”で表示されます。                       |

### (情報)

UPS の一部機種には、計測表示機能がない機種があります。  
その場合、計測値は全て “\*\*\*\*\*” と表示されます。

## イベントログ

「イベントログ表示」を選択すると、**SANUPS SOFTWARE** サーバに記録されているイベントログを確認できます。



| 項目名称   | 説 明                              |
|--------|----------------------------------|
| 種別     | 発生イベントの種別を表示します。                 |
| イベント名  | イベントの名称です。                       |
| 日時     | 発生日時を表示します。                      |
| 関連アドレス | 外部からのアクセスによる場合、その IP アドレスを表示します。 |
| 詳細内容   | イベントの詳細内容を表示します。                 |

## 2.25 UPS の制御を行う

接続しているコンピュータの停止を行う、または、装置のリブートを行う場合など、遠隔から UPS 出力のオン／オフを制御することができます。この場合、UPS の出力をオフする前にコンピュータのシャットダウンを行います。

また、UPS のバッテリーテストを行うこともできます。

### 【操作方法】

メイン画面から、「制御」 ボタンを押します。

下記の画面が表示されます。

### 【画面説明】

| 画 面 名 称     | 説 明                             |
|-------------|---------------------------------|
| UPS 起動      | UPS の出力オン制御を行う画面に切り替わります。（上図画面） |
| UPS 停止      | UPS の出力オフ制御を行う画面に切り替わります。       |
| バッテリーチェック開始 | バッテリーチェック開始制御を行う画面に切り替わります。     |
| バッテリーチェック中止 | バッテリーチェック中止制御を行う画面に切り替わります。     |
| OK          | 制御を実行します。                       |
| キャンセル       | 制御を行わずにメイン画面に戻ります。              |

### ・UPS 出力を“オン”する制御

下図は、系統制御がない UPS 使用時の画面です。  
「OK」ボタンを押すと UPS の出力がオンします。

制御

☒ UPS起動   ☐ UPS停止   ☐ バッテリーチェック開始   ☐ バッテリーチェック中止

**【UPS起動】**

UPS起動を実行します。  
よろしければ【OK】をクリックしてください。

OK   キャンセル

下図は、系統制御がある UPS を使用している場合の画面です。  
「全てのコンセント」: “OUTPUT1”, “OUTPUT2” の両コンセントを同時に制御する。  
「コンセント番号選択」: “OUTPUT1”, “OUTPUT2” のコンセントを別々に制御する。  
を指定し、制御を行えます。

制御

☒ UPS出力オン   ☐ UPS出力オフ   ☐ バッテリーチェック開始   ☐ バッテリーチェック中止

**【UPS出力オン】**

UPS出力オンを実行します。  
よろしければ【OK】をクリックしてください。

☒ 全てのコンセント  
☐ コンセント番号選択

☒ 1 (オン)  
☒ 2 (オン)

OK   キャンセル

。

## •UPS 出力を“オフ”する制御

下図は、系統制御がない UPS 使用時の画面です。  
「OK」ボタンを押すと UPS の出力がオフします。

**制御**

☐ UPS起動
☒ **UPS停止**
☐ バッテリチェック開始
☐ バッテリチェック中止

**【UPS停止】**

UPS停止を実行します。  
よろしければ【OK】をクリックしてください。

☒ 停止遅延処理を行う。

処理開始までの時間： 秒

次回起動日時

☒ スケジュールに従い起動する

☐ 2012 年 8 月 31 日 23 時 28 分に起動する。

☐ リセットする。      リセット時間  秒間

下図は、系統制御がある UPS 使用時の画面です。  
「OK」ボタンを押すと UPS の出力がオフします。

**制御**

☐ UPS出力オン
☒ **UPS出力オフ**
☐ バッテリチェック開始
☐ バッテリチェック中止

**【UPS出力オフ】**

UPS出力オフを実行します。  
よろしければ【OK】をクリックしてください。

☒ 停止遅延処理を行う。

処理開始までの時間： 秒

☒ 全てのコンセント

☒ コンセント番号選択

● 1 (オン)

● 2 (オン)

次回起動日時

☒ スケジュールに従い起動する

☐ 2012 年 8 月 31 日 23 時 33 分に起動する。

☐ リセットする。      リセット時間  秒間

## 〔画面説明〕

| 画 面 名 称       | 説 明                                                                                  |
|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 全てのコンセント      | 系統制御がある UPS を使用している場合に、利用できます。<br>“OUTPUT1”, “OUTPUT2” の両コンセントを同時にオフします。             |
| コンセント番号選択     | 系統制御がある UPS を使用している場合に、利用できます。<br>“OUTPUT1”, “OUTPUT2” のコンセントを別々にオフします。              |
| 1 (オン)        | “OUTPUT1”をオフします。<br>“OUTPUT1”に接続しているコンピュータは、“OUTPUT1”をオフする前にシャットダウンを行います。            |
| 2 (オン)        | “OUTPUT2”をオフします。<br>“OUTPUT2”に接続しているコンピュータは、“OUTPUT2”をオフする前にシャットダウンを行います。            |
| 停止遅延処理を行う     | シャットダウン遅延を行う前に、停止遅延処理を行います。<br>「2.7.2 UPS制御に関する設定を行う」において、「遅延を行う」が設定されている場合に有効になります。 |
| 処理開始までの時間     | 停止処理を開始するまでの時間を設定します。                                                                |
| 次回起動日時        | 次回起動処理を行う場合、以下の3つから起動方法を選びます。                                                        |
| スケジュールに従い起動する | 起動スケジュールが設定されている場合、起動スケジュール時間に起動を行います。                                               |
| 年月日時分に起動する    | ここで設定した時間に起動を行います。                                                                   |
| リセットする        | UPS 停止後、リセット時間で設定した時間 (秒) 経過後に、起動を行います。                                              |
| OK            | 制御を実行します。                                                                            |
| キャンセル         | 制御を行わずにメイン画面に戻ります。                                                                   |

## ・バッテリーチェックを行う制御

「バッテリーチェック開始」

として、「OK」 ボタンを押すと、バッテリーチェックが開始されます。

制御

☐ UPS起動 ☐ UPS停止 ☒ バッテリーチェック開始 ☐ バッテリーチェック中止

**【バッテリーチェック開始】**  
UPSのバッテリーチェックを行います。  
よろしければ【OK】 をクリックしてください。  
但し、バッテリーチェックをサポートしていないUPSでは、バッテリーチェックは無視されます。

バッテリーチェックを終わらせるには、「バッテリーチェック中止」を行います。

バッテリーチェック開始中に

「バッテリーチェック中止」 として、「OK」 ボタンを押すと、バッテリーチェックが中止されます。

制御

☐ UPS起動 ☐ UPS停止 ☐ バッテリーチェック開始 ☒ バッテリーチェック中止

**【バッテリーチェック中止】**  
UPSのバッテリーチェックを中止します。  
よろしければ【OK】 をクリックしてください。  
但し、バッテリーチェックをサポートしていないUPSでは、バッテリーチェックは無視されます。

## 2.26 UPS 本体の情報を確認する

UPS本体の情報を確認することができます。

- UPSの形式名

- 入出力相数

- 定格電圧

などのUPS仕様情報

- バッテリーテストの結果／実施日時

- 停電回数

- UPS運転積算時間

などのUPS動作情報

### [操作方法]

メイン画面から、「UPS 情報」 ボタンを押します。

下記の画面が表示されます。

UPS情報表示

UPS ROMバージョン：P0002090G  
ソフトウェアバージョン：P0010188A  
シリアル番号：03824032PC

スケジュール情報

次回起動日時：0000/00/00-00:00:00  
次回停止日時：0000/00/00-00:00:00

UPSプロフィール

形式名称：E11A102\_A011  
バージョンNo：00  
入力相数：1  
出力相数：1  
バイパス相数：1  
定格入力電圧：100V  
定格出力電圧：100V  
定格容量：1.0kVA

UPS内部情報

現在時刻：\*\*\*\*\*  
バッテリーテスト結果：テスト中断  
バッテリーテスト実施日時：2000/00/00 00:00:00  
停電回数：769回  
バッテリー寿命：14976時間  
UPS 運転積算時間：27137時間  
バッテリー運転積算時間：38923秒

戻る

スケジュール運転の設定がされている場合、次の停止時間／起動時間が確認できます。

(上記画面で使用する UPS はテスト機のため、実機とは表示が異なります。)

シャットダウンテストを実行する

## 2.27 シャットダウンテストを実行する

シャットダウンテストは、実際に停電などを発生させることなく、擬似的に以下の3つのシーケンスを実行することができます。なお、シャットダウンテストでは、E-mail通知、SNMPトラップ通知、UPS の出力制御は行いません。

| 実行シーケンス   | シーケンスの開始位置  | シーケンスの終了位置                                   |
|-----------|-------------|----------------------------------------------|
| 停電        | 停電発生        | UPS 自動停止時間経過<br>(実際に UPS の出力状態を制御することはありません) |
| バッテリー電圧低下 | バッテリー電圧低下発生 |                                              |
| シャットダウン   | シャットダウン実行   |                                              |

シャットダウンテストは、登録済みの「PC(ネットワーク接続)」、「WS(ネットワーク接続)」、「WS(Telnet 接続)」装置に対して行うことができます。

[シャットダウンテストの開始手順]

メイン画面の「シャットダウンテスト」ボタンをクリックし、シャットダウンテスト開始画面を表示します。



このボタンをクリック

## シャットダウンテストを実行する

シャットダウンテスト開始画面からは、実行シーケンス、シャットダウンテスト対象装置を選択できます。

**シャットダウンテスト開始**

実行シーケンス: 停電

対象装置

| 選択                       | 名前 (IPアドレス)  | 種別    | 設置場所 | コメント |
|--------------------------|--------------|-------|------|------|
| <input type="checkbox"/> | 172.30.3.111 | WS(T) |      |      |
| <input type="checkbox"/> | 172.30.1.18  | WS(T) |      |      |
| <input type="checkbox"/> |              |       |      |      |
| <input type="checkbox"/> |              |       |      |      |
| <input type="checkbox"/> |              |       |      |      |
| <input type="checkbox"/> |              |       |      |      |
| <input type="checkbox"/> |              |       |      |      |
| <input type="checkbox"/> |              |       |      |      |
| <input type="checkbox"/> |              |       |      |      |
| <input type="checkbox"/> |              |       |      |      |
| <input type="checkbox"/> |              |       |      |      |
| <input type="checkbox"/> |              |       |      |      |

OK キャンセル

シャットダウンテストを行う装置にチェックを付け、OK ボタンを押すと、シャットダウンテストが実行されます。

シャットダウンテストの実行状態は、「状態」に表示されます。

**接続装置動作情報**

コンセント1 (オン)    コンセント2 (オン)

| 名前 (IPアドレス)  | 種別       | 状態              | 設置場所 | コメント |
|--------------|----------|-----------------|------|------|
| 172.30.3.45  | PC(Sv_S) | 起動              |      |      |
| 172.30.3.111 | WS(T)    | 起動              |      |      |
| 172.30.1.18  | WS(T)    | テスト中 (Conf. PF) |      |      |
| Network-Disk | ETC      | 起動              |      |      |
|              |          |                 |      |      |
|              |          |                 |      |      |
|              |          |                 |      |      |
|              |          |                 |      |      |
|              |          |                 |      |      |
|              |          |                 |      |      |

シャットダウンテスト実行中

シャットダウンテスト

シャットダウンテスト中の装置の状態は、以下の通りです。

| 表示              | 意味           |
|-----------------|--------------|
| テスト中 (Conf. PF) | 停電確認中        |
| テスト中 (Wait. SD) | シャットダウン遅延中   |
| テスト中 (Exec. SD) | シャットダウン実行中   |
| テスト中 (Conf. SD) | シャットダウン確認中   |
| テスト結果 (成功)      | シャットダウンテスト成功 |
| テスト結果 (失敗)      | シャットダウンテスト失敗 |
| テスト結果 (中止)      | シャットダウンテスト中止 |

シャットダウンテストを実行する

シャットダウンテストが終了すると、テスト完了のメッセージが表示され、「テスト結果クリア」ボタンで結果表示をクリアすることができます。

接続装置動作情報

コンセント1 (オン)    コンセント2 (オン)

| 名前 (IPアドレス)  | 種別       | 状態        | 設置場所 | コメント |
|--------------|----------|-----------|------|------|
| 172.30.3.45  | PC(Sv_S) | 起動        |      |      |
| 172.30.3.111 | WS(T)    | 起動        |      |      |
| 172.30.1.18  | WS(T)    | テスト結果(成功) |      |      |
| Network-Disk | ETC      | 起動        |      |      |
|              |          |           |      |      |
|              |          |           |      |      |
|              |          |           |      |      |
|              |          |           |      |      |
|              |          |           |      |      |
|              |          |           |      |      |
|              |          |           |      |      |

シャットダウンテストが完了しました。結果を確認後、テスト結果クリアボタンをクリックしてください。

シャットダウンテスト

テスト結果クリア

登録

変更

削除

＜シャットダウンテストの制約事項＞

- (1) UPSの状態によりシャットダウンテストが開始できない場合があります。その場合は、「シャットダウンテストが開始できません。(エラーコード:NN)」というエラーダイアログを表示します。NNの部分は実際のエラーコードになります。

| 項番 | エラーコード | 要因                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|----|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①  | 20     | シャットダウンテスト実行中、メール送信テスト実行中、またはWSスクリプトテスト実行中                                                                                                                                                                                                                                           |
| ②  | 21     | スケジュール停止など何らかの回復不能イベントが発生し、シャットダウン・シーケンスを実行中                                                                                                                                                                                                                                         |
| ③  | 22     | 内部シリアル通信異常発生中                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| ④  | 23     | 停電発生中                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| ⑤  | 25     | 重故障発生中                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| ⑥  | 26     | 過負荷発生中                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| ⑦  | 27     | シャットダウンテストで選択された装置のすべてが以下のいずれかに該当し、テストできる装置が存在しない <ul style="list-style-type: none"> <li>装置が接続されているコンセントが出力オフ状態</li> <li>装置が停止状態</li> <li>シャットダウンテストで選択した実行シーケンスが「停電」の場合に、停電発生時のシャットダウントリガとして指定されていないコンセントに装置が接続されている。(シャットダウントリガの設定方法は、「2.7.2 UPS制御に関する設定を行う」を参照してください。)</li> </ul> |

- (2) シャットダウンテスト実行中に(1)の②～⑥の状態が発生した場合は、シャットダウンテストは強制的に中止します。

- (3) シャットダウンテストでは、E-mail通知、SNMPトラップ通知、UPSの出力制御は行いません。

### 3. Telnet 端末用ツールの機能説明

#### 3.1 Telnet クライアントから UPS にアクセスする

- [1] **Windows** の場合、コマンドプロンプトを起動します。
- [2] コマンドプロンプトにおいて、Telnet コマンドで、**SANUPS SOFTWARE** サーバのIPアドレスと、**SANUPS SOFTWARE** サーバが提供する Telnet サーバのポート番号を指定し、**SANUPS SOFTWARE** サーバに接続します。

例) IP アドレスが 172.30.1.128、ポート番号が 10023 (デフォルト) の場合

**telnet 172.30.1.128 10023**

※ **Windows** 以外のOSを使用する場合、また、別の Telnet クライアント・ソフトウェアを使用する場合、OSおよび Telnet クライアント・ソフトウェアの仕様にしたが、**SANUPS SOFTWARE** サーバのIPアドレスと、Telnet サーバのポート番号を指定するようにしてください。

- [3] **SANUPS SOFTWARE** サーバに接続されると以下の画面が表示されますので、User name、Password の認証を行い、**SANUPS SOFTWARE** サーバへログインします。





[4] User name、Password の認証が完了すると、Main Menu が表示されます。

### 3.2 Telnet 端末用ツールの機能一覧

以下では、Web管理ツールの機能について説明をしています。

機能の概要については、以下の表を参照し機能説明先を確認してください。

| 項目名                                  | 項目の概要                                                                           |
|--------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 3.3 Main Menu                        | メインメニューの各項目について説明しています。                                                         |
| 3.4 UPSの動作設定 (Configuration) メニュー    | UPS の動作情報 (ネットワーク、アカウント変更、制御動作、SNMP、E-mail 設定、NTP 設定など) の設定方法を説明しています。          |
| 3.5 スケジュール動作設定 (Schedule) メニュー       | UPS のスケジュール設定方法について説明しています。                                                     |
| 3.6 UPS制御 (Control) メニュー             | リモートからの UPS オン／オフ制御について説明しています。                                                 |
| 3.7 UPS情報表示 (Display) メニュー           | UPS の状態・計測値情報、イベントログの表示について説明しています。                                             |
| 3.8 接続装置の設定 (Connection Device) メニュー | UPSに装置を登録する、登録内容を変更する、登録装置を削除する方法を説明しています。<br>また、ここでは、イベント・スクリプトの設定について説明しています。 |
| 3.9 イベント設定 (Event) メニュー              | E-mail の送信条件、イベントログの記録条件の設定方法を説明しています。                                          |
| 3.10 UPS系統出力設定 (Outlet) メニュー         | 出力系統のオン／オフ遅延時間の設定方法を説明しています。系統制御がある UPS 使用時に利用できる機能です。                          |
| 3.11 通信回線状態確認 (Ping) メニュー            | 指定した装置とのネットワーク通信状態を Ping を使い確認します。                                              |

### 3.3 Main Menu

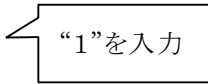
Telnet 端末を使い UPS に接続すると、以下の Main Menu が表示されます。

|                                                                                                                                                                                                      |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Main Menu<br>1. Configuration<br>2. Schedule<br>3. Control<br>4. Display<br>5. DateTime<br>6. Connection Device<br>7. Event<br>8. Outlet<br>9. Ping<br>10. Download/Upload<br>11. Exit<br>UPS Agent> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

以下は、Main Menu 項目の概略です。

| メニュー名               | 説 明                                                     |
|---------------------|---------------------------------------------------------|
| 1.Configuration     | UPS の動作設定を行います。<br>ネットワークの設定、停電時の動作設定などを行います。           |
| 2.Schedule          | スケジュール設定を行います。                                          |
| 3.Control           | UPS の制御を行います。                                           |
| 4.Display           | UPS の情報を表示します。<br>状態・計測値、イベントログ、LAN インタフェースカード情報を表示します。 |
| 5.DateTime          | UPS の時刻あわせを行います。(未対応)                                   |
| 6.Connection Device | 接続装置の登録／削除を行います。                                        |
| 7.Event             | イベント設定を行います。                                            |
| 8.Outlet            | 系統制御がある UPS 使用時の OUTPUT1, OUTPUT2 のオン／オフ時の遅延時間設定を行います。  |
| 9.Ping              | Ping コマンドを実行してネットワーク回線確認を行います。                          |
| 10.Download/Upload  | UPS 設定値の読み込み／落とし込みを行います。(未対応)                           |
| 11.Exit             | 本ツールを終了します。                                             |

## 3.4 UPSの動作設定(Configuration)メニュー

|                                                                                                                                                                                                              |                                                                                   |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| <b>Main Menu</b><br>1. Configuration<br>2. Schedule<br>3. Control<br>4. Display<br>5. DateTime<br>6. Connection Device<br>7. Event<br>8. Outlet<br>9. Ping<br>10. Download/Upload<br>11. Exit<br>UPS Agent>1 |  |
| <b>Configuration Menu</b><br>1. Network<br>2. Account<br>3. Control Configuration<br>4. Service<br>5. UPS Information<br>6. E-Mail<br>7. NTP<br>8. Exit<br>UPS Agent>                                        |                                                                                   |

| 1. Network                                                                                          | 2. Account                                                                                             |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. IP Address<br>2. Router Address<br>3. DNS Server Address<br>4. Exit<br>UPS Agent><br>(表示のみ、設定不可) | Input User Name.<br>UPS Agent><br>Input Password.<br>UPS Agent><br>Input Password Again.<br>UPS Agent> |

| 3. Control Configuration                                                                    |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. Shutdown Condition<br>2. UPS Control<br>3. Common<br>4. Battery<br>5. Exit<br>UPS Agent> |

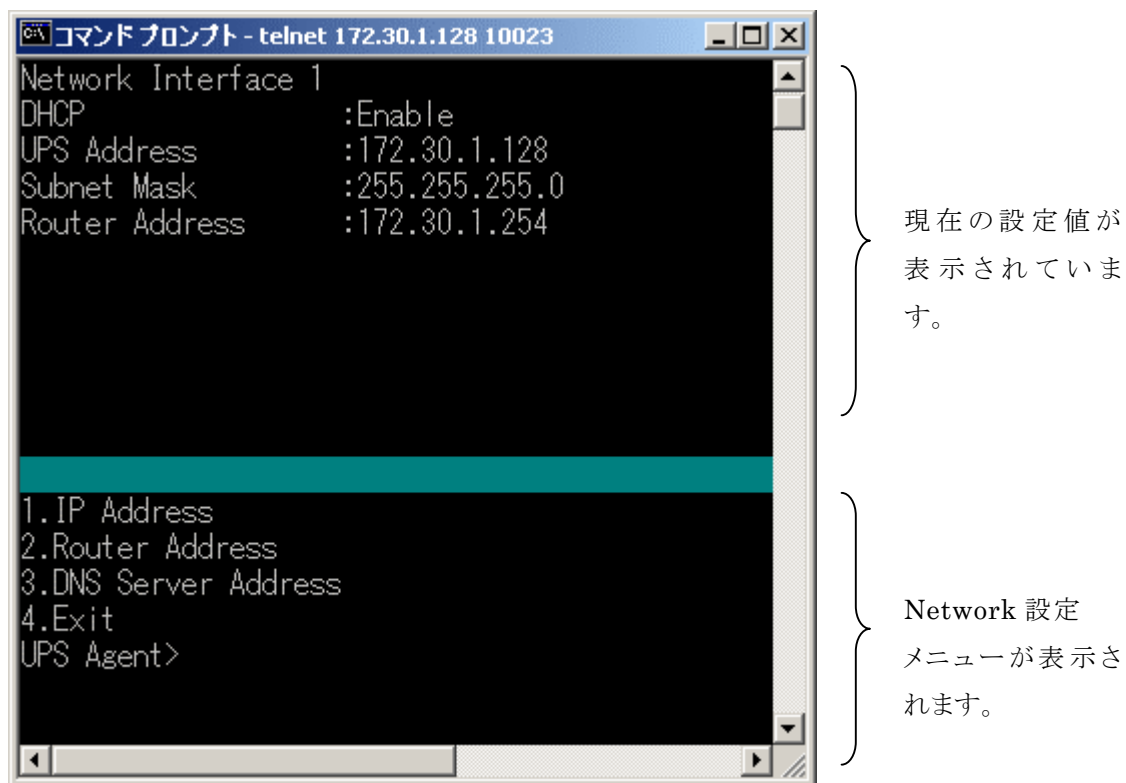
| 4. Service                                                                                                                                                           | 5. UPS Information                                 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| 1. Condition<br>2. Port<br>3. Access Limitation<br>4. Access Address<br>5. Community<br>6. Trap Address<br>7. Shutdown Mode<br>8. Trap Test<br>9. Exit<br>UPS Agent> | 1. Location<br>2. Comment<br>3. Exit<br>UPS Agent> |

| 6. E-Mail                                                                                                                                                                                                                                   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. UPS E-Mail Address<br>2. SMTP Address<br>3. SMTP Port<br>4. E-Mail Sending Delaying Time<br>5. Receiving Mail Confirmation<br>6. POP3 Address<br>7. POP3 Port<br>8. Account<br>9. E-Mail Confirmation Interval<br>10. Exit<br>UPS Agent> |

| 7. NTP |
|--------|
| (未対応)  |

### 3.4.1 ネットワーク設定(Network)メニュー

**Configuration Menu** から **Network** を選択すると、下記の画面が表示されます。

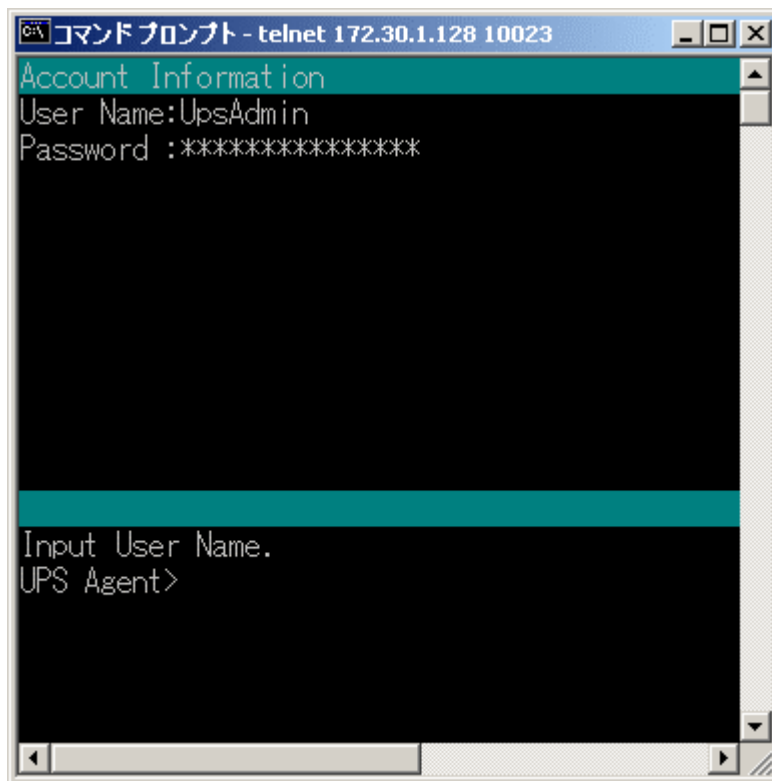


| メニュー名                | 説 明                         |
|----------------------|-----------------------------|
| 1.IP Address         | UPSのネットワークアドレスを設定します。(未対応)  |
| 2.Router Address     | ルータのアドレスを入力します。(未対応)        |
| 3.DNS Server Address | DNSサーバのアドレスを入力します。(未対応)     |
| 4.Exit               | “Configuration Menu” に戻ります。 |

※ここでは、メニューは表示されますが、各アドレスの設定はできません。

### 3.4.2 UPSアカウント設定(Account)メニュー

**Configuration Menu** から **Account** を選択すると、下記の画面が表示されます。



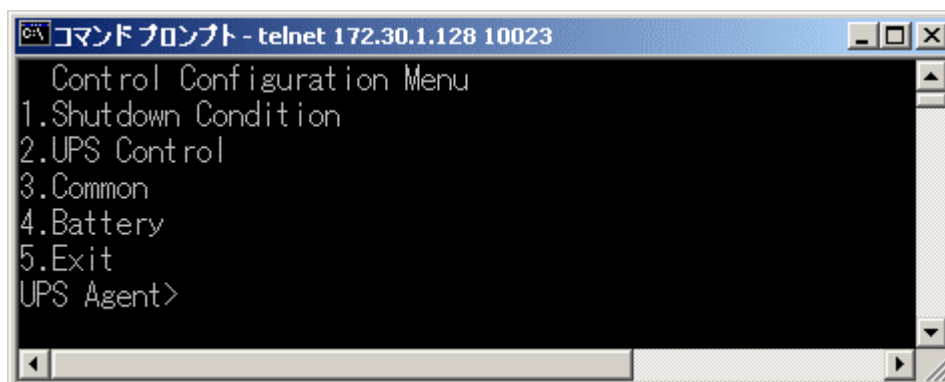
ここから、  
新しい「ユーザ名」  
新しい「パスワード」  
を入力します。  
パスワードは、確認のため再入力を求められます。

**(注意)**

パスワードは、大文字／小文字を区別します。  
パスワード変更をされた場合、変更したパスワードを忘れないように控えておいてください。

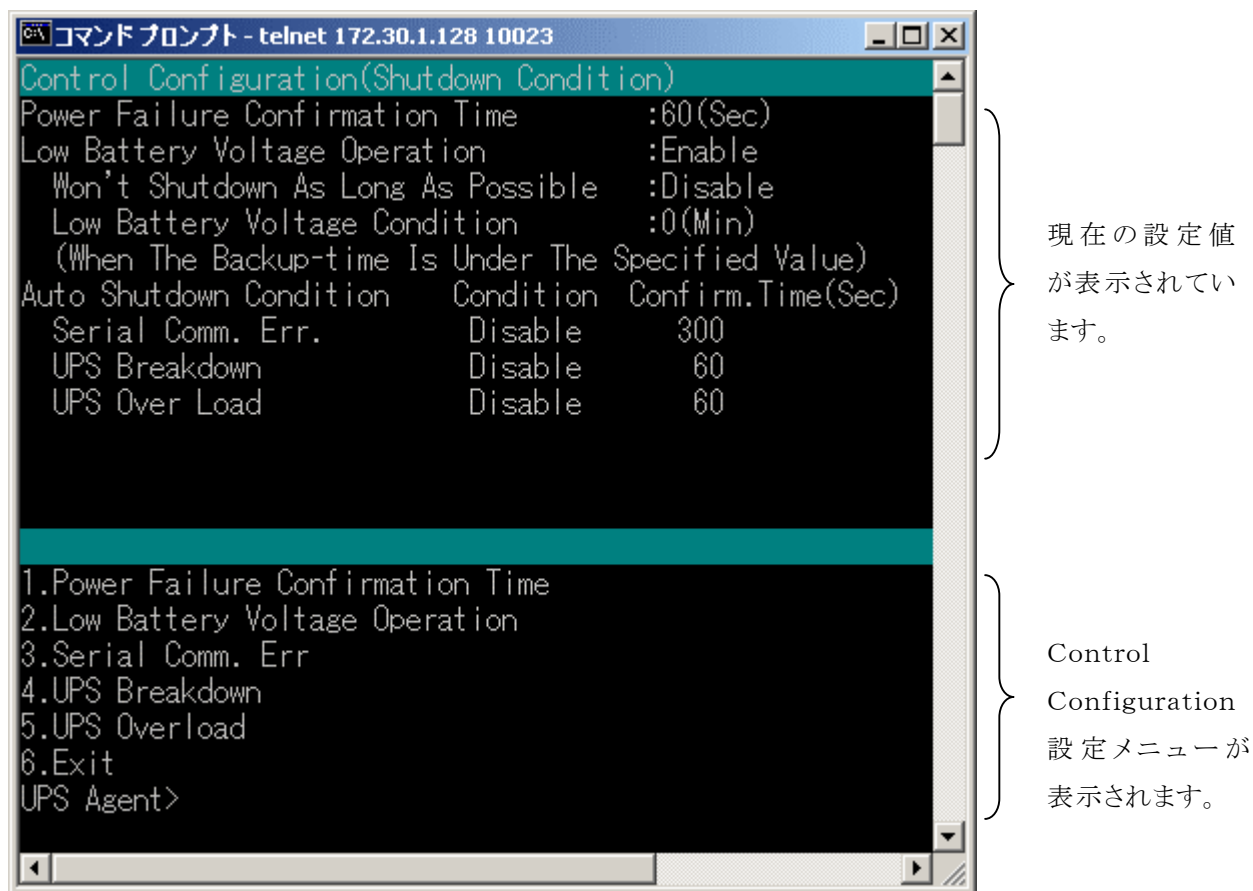
### 3.4.3 UPS制御設定(Control Configuration)メニュー

**Configuration Menu** から **Control Configuration** を選択すると、下記の画面が表示されます。



| メニュー名                | 説 明                                                                                                                     |
|----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1.Shutdown Condition | 以下のシャットダウントリガを設定します。<br>停電確認時間<br>バッテリ電圧低下時のシャットダウン条件<br>シリアル通信異常によるシャットダウン条件<br>重故障発生によるシャットダウン条件<br>過負荷発生によるシャットダウン条件 |
| 2.UPS Control        | 以下の UPS 制御情報を設定します。<br>停電時 UPS 停止条件<br>復電時 UPS 自動起動条件<br>バッテリ充電率                                                        |
| 3.Common             | 以下の共通情報を設定します。<br>遅延処理(ユーザログオフ待ち)の有無<br>停止遅延時間(遅延処理有効時の遅延繰り返し間隔)<br>シャットダウン遅延時間<br>UPS 自動停止時間                           |
| 4.Battery            | 以下のバッテリー関連情報を設定します。<br>バッテリ交換予告時期<br>自動バッテリーチェック(UPS 本体)<br>自動バッテリーチェック(UPS 管理ソフト)                                      |
| 5.Exit               | “Configuration Menu” に戻ります。                                                                                             |

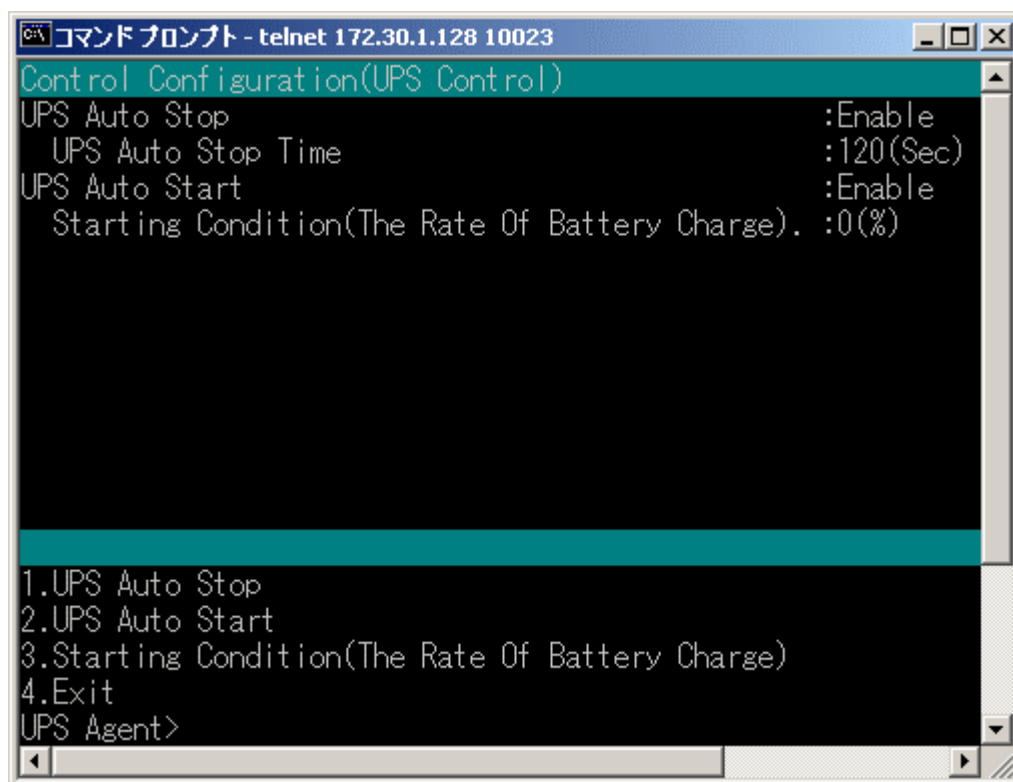
## (1) シャットダウントリガ (Shutdown Condition)



| メニュー名                             | 説 明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1.Power Failure Confirmation Time | 「停電確認時間」(秒)を設定します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 2.Low Battery Voltage Operation   | <p>バッテリー電圧低下の発生条件を設定します。</p> <p>バッテリー残保持時間によりバッテリー電圧低下発生:Enable<br/>           バッテリー電圧低下によりバッテリー電圧低下発生:Disable</p> <p>「Enable」選択時、「バッテリー電圧低下送信条件(バッテリー残保持時間)」(分)を設定します。</p> <p>「Disable」選択時、「バッテリー電圧低下送信条件(バッテリー残保持時間)」は 0(分)に設定されます。</p> <p>なお、UPS が「バッテリー電圧低下送信条件(バッテリー残保持時間)」に対応していない場合、“Non Support”と表示され、設定は行えません。</p> |

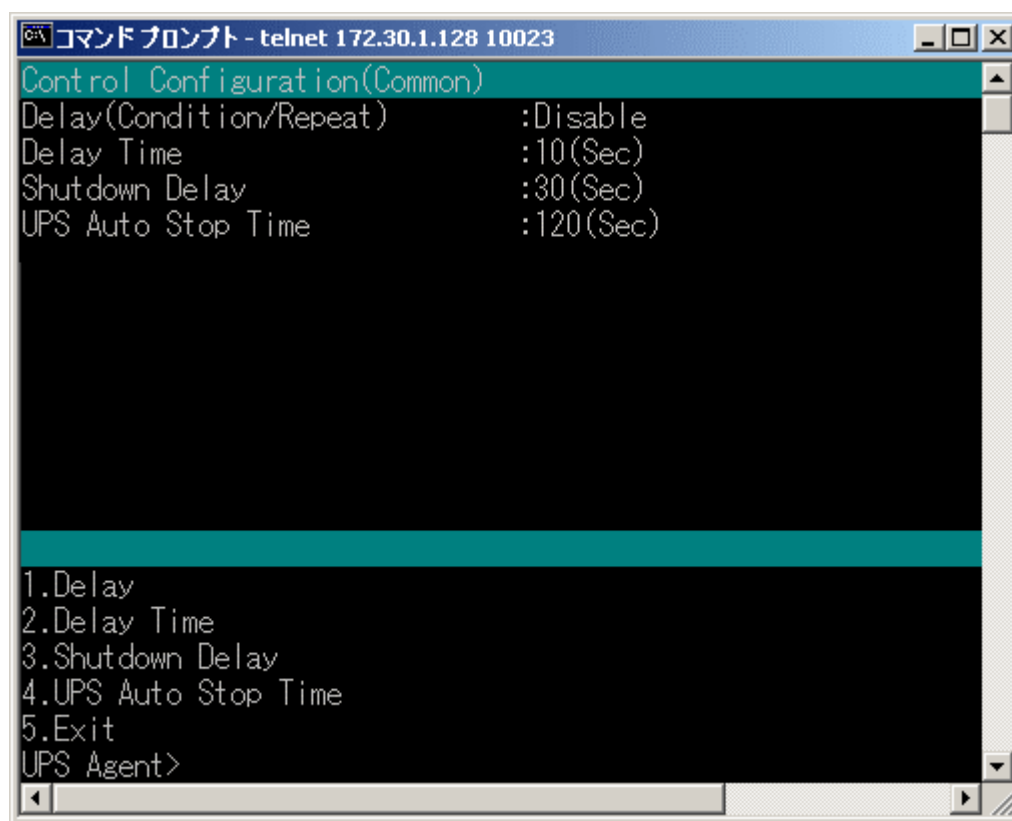
| メニュー名               | 説 明                                                                                                                                   |
|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3.Serial Comm. Err. | <p>「シリアル通信異常時のシャットダウン条件」を設定します。</p> <p>シャットダウンする:Enable<br/>シャットダウンしない:Disable<br/>を選択します。</p> <p>「シャットダウンする」選択時、「確認時間」(秒)を設定します。</p> |
| 4.UPS Breakdown     | <p>「重故障発生時のシャットダウン条件」を設定します。</p> <p>シャットダウンする:Enable<br/>シャットダウンしない:Disable<br/>を選択します。</p> <p>「シャットダウンする」選択時、「確認時間」(秒)を設定します。</p>    |
| 5.UPS Overload      | <p>「過負荷発生時のシャットダウン条件」を設定します。</p> <p>シャットダウンする:Enable<br/>シャットダウンしない:Disable<br/>を選択します。</p> <p>「シャットダウンする」選択時、「確認時間」(秒)を設定します。</p>    |
| 6.Exit              | “Control Configuration Menu” に戻ります。                                                                                                   |

## (2) UPS制御情報(UPS Control)



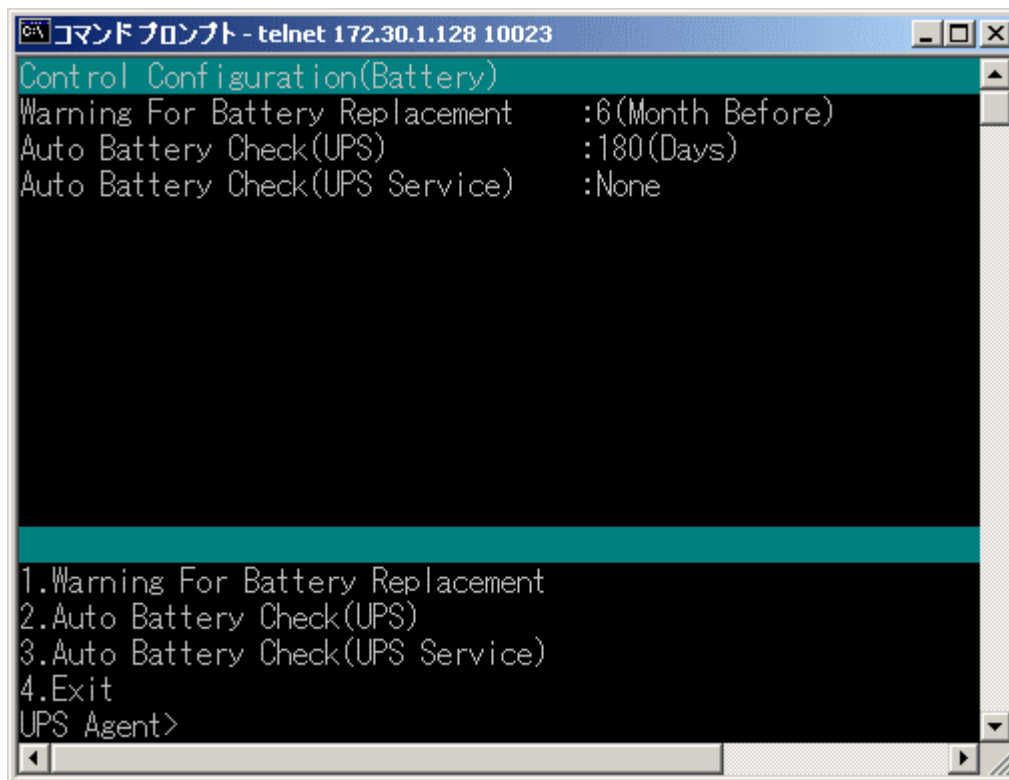
| メニュー名                                            | 説 明                                                                                                                                                            |
|--------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1.UPS Auto Stop                                  | <p>「停電時UPSを自動停止する」条件を設定します。</p> <p>有効:Enable<br/>無効:Disable</p> <p>を選択します。</p> <p>「有効」選択時、「UPS自動停止時間」(秒)を設定します。</p> <p>「無効」選択時、「UPS自動停止時間」(秒)は0(秒)に設定されます。</p> |
| 2.UPS Auto Start                                 | <p>「復電時UPSの起動条件」を設定します。</p> <p>起動する:Enable<br/>起動しない:Disable</p> <p>を選択します。</p>                                                                                |
| 3.Starting Condition(The Rate Of Battery Charge) | <p>「復電時自動起動条件(バッテリー充電率)」(%)を設定します。</p> <p>なお、UPS が「復電時自動起動条件(バッテリー充電率)」に対応していない場合、“Non Support”と表示され、設定は行えません。</p>                                             |
| 4.Exit                                           | “Control Configuration Menu” に戻ります。                                                                                                                            |

## (3) 共通情報(Common)



| メニュー名                | 説 明                                                            |
|----------------------|----------------------------------------------------------------|
| 1.Delay              | 遅延処理の有無の設定を行います。<br>遅延を行う:Enable<br>遅延を行わない:Disable<br>を選択します。 |
| Select Repeat.       | 「遅延を行う」選択時、遅延回数の設定に移ります。                                       |
| 1.Number Of Times    | 遅延回数を設定します。                                                    |
| 2.Infinity           | 無限に遅延を繰り返すように設定します。                                            |
| 2.Delay Time         | 「停止遅延時間」(秒)を設定します。<br>“3.Delay”にて、“Enable”の場合の遅延繰り返し間隔になります。   |
| 3.Shutdown Delay     | 「シャットダウン遅延時間」(秒)を設定します。                                        |
| 4.UPS Auto Stop Time | 「UPS自動停止時間」(秒)を設定します。                                          |
| 5.Exit               | “Control Configuration Menu”に戻ります。                             |

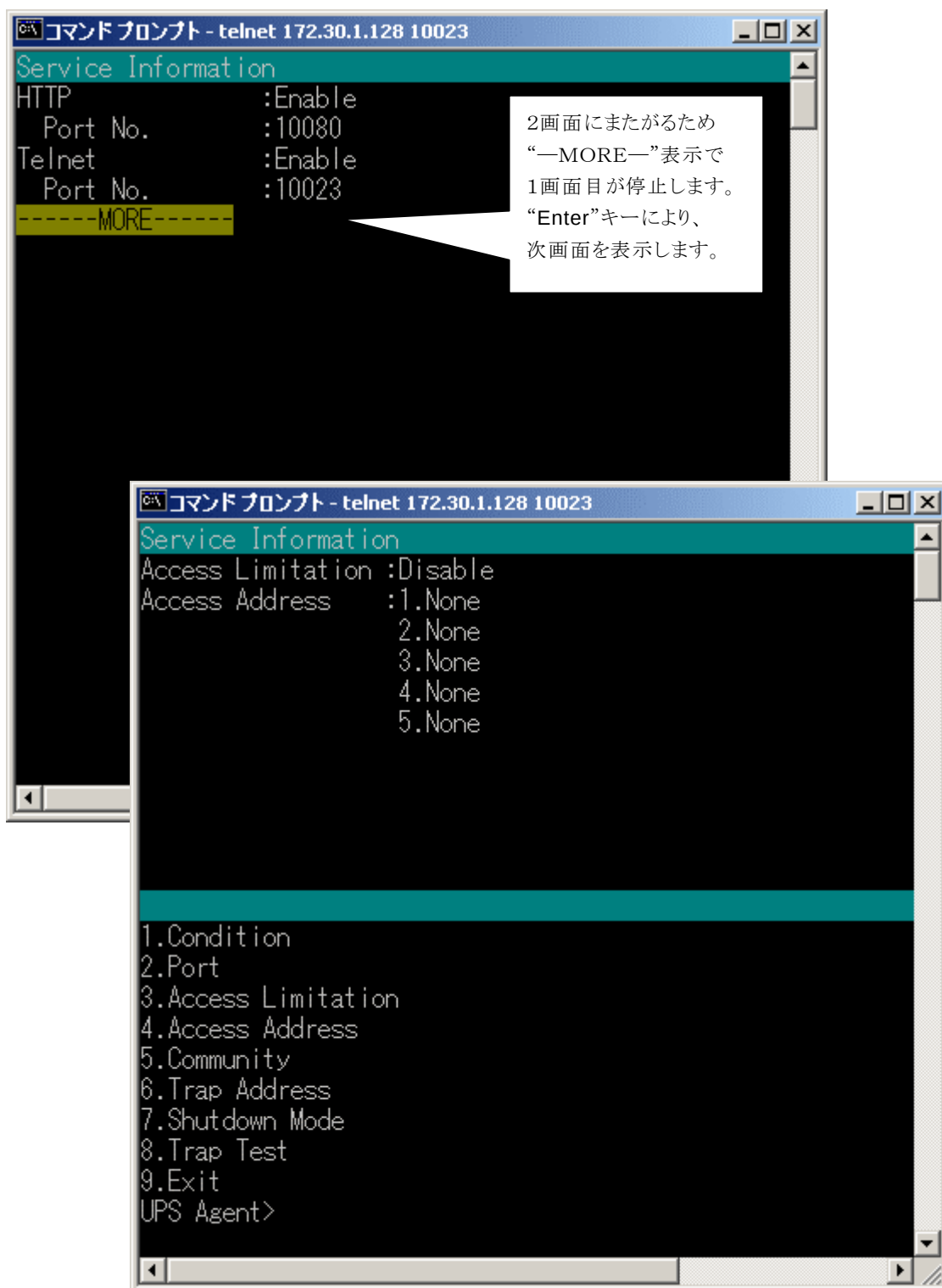
## (4) バッテリ(Battery)



| メニュー名                             | 説 明                                                                                               |
|-----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1.Warning For Battery Replacement | 「バッテリー交換予告時期」(ヶ月)を設定します。                                                                          |
| 2.Auto Battery Check(UPS)         | 「自動バッテリーチェック周期」(UPS)を設定します。<br><br>なお、UPS が「自動バッテリーチェック周期」に対応していない場合、“Non Support”と表示され、設定は行えません。 |
| 3.Auto Battery Check(UPS Service) | 「自動バッテリーチェック周期」(UPS 管理ソフト)を設定します。<br><br>なお、UPS がバッテリーチェックに対応していない場合、“Non Support”と表示され、設定は行えません。 |
| 4.Exit                            | “Control Configuration Menu” に戻ります。                                                               |

### 3.4.4 サービス設定 (Service) メニュー

**Configuration Menu** から **Service** を選択すると、下記の画面が表示されます。



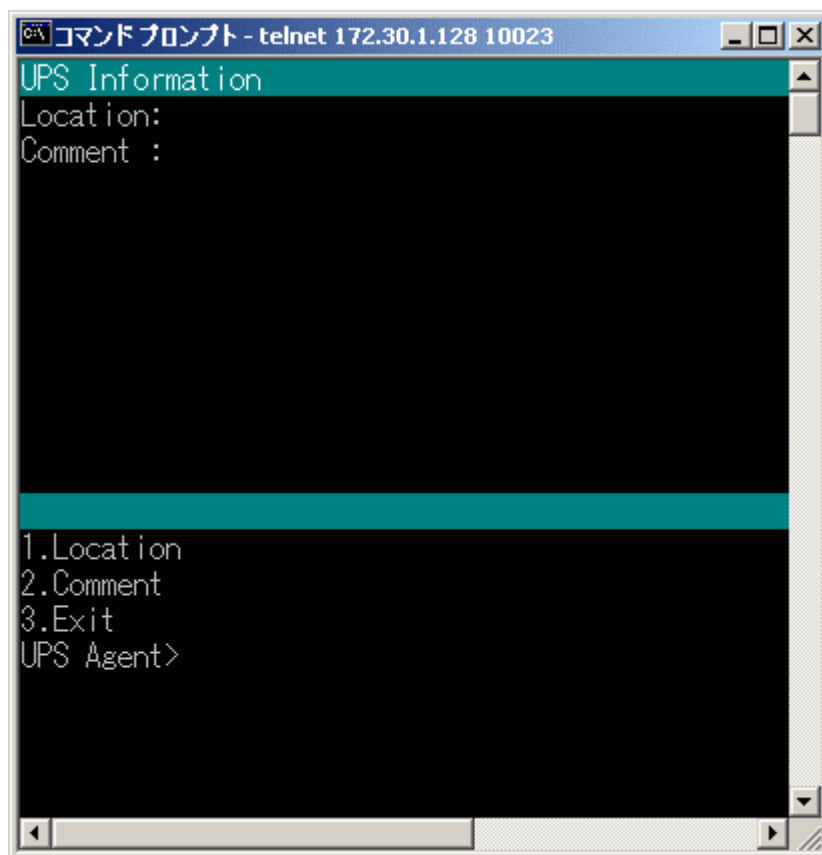
| メニュー名               | 説 明                                                                                                                                                                |
|---------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1.Condition         | HTTP、Telnet 動作の有効、無効の設定します。<br>有効:Enable<br>無効:Disable<br>を選択します。                                                                                                  |
| 2.Port              | HTTP、Telnet のポート番号を変更します。<br>(1～65535)                                                                                                                             |
| 3.Access Limitation | HTTP、Telnet のアクセス制限を設定します。<br>指定の端末からアクセスを許可する:Enable<br>全ての端末からアクセスを許可する:Disable<br>を選択します。<br>“Enable”を選択した場合、“4.Access Address”にてアクセスを許可するコンピュータのIPアドレスを設定できます。 |
| 4.Access Address    | HTTP、Telnet のアクセス許可するコンピュータのIPアドレスを設定 (追加／削除)します。                                                                                                                  |
| 1.Add               | アクセス許可するIPアドレスを追加します。(5件まで登録できます)                                                                                                                                  |
| 2.Delete            | 登録済みのIPアドレスを削除します。                                                                                                                                                 |
| 3.Exit              | アクセス許可するIPアドレスを設定するモードを終了します。                                                                                                                                      |
| 5.Community         | SNMPのコミュニティ名を設定します。(未対応)                                                                                                                                           |
| 6.Trap Address      | SNMPトラップ送信先のアドレスを設定 (追加／削除)します。(未対応)                                                                                                                               |
| 1.Add               | 送信先のIPアドレスを追加します。(5件まで登録できます)                                                                                                                                      |
| 2.Delete            | 登録済みのIPアドレスを削除します。                                                                                                                                                 |
| 3.Exit              | トラップ送信先のアドレスを設定するモードを終了します。                                                                                                                                        |
| 7.Shutdown Mode     | SNMPによるUPS停止を行う場合、コンピュータのシャットダウンを行う方法を設定します。(未対応)                                                                                                                  |
| 8.Trap Test         | SNMPトラップ送信テストを行います。(未対応)<br>トラップ送信先に設定されたアドレスに対して、「コールドスタート」(coldStart)のトラップを送信します。                                                                                |
| 9.Exit              | “Configuration Menu” に戻ります。                                                                                                                                        |

•Access Address の設定

| Access Address の登録手順                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | Access Address の削除手順                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>1. Condition<br/>2. Port<br/>3. Access Limitation<br/>4. Access Address<br/>5. Community<br/>6. Trap Address<br/>7. Shutdown Mode<br/>8. Trap Test<br/>9. Exit<br/>UPS Agent&gt;4</div> <div>Select No.<br/>1. Add<br/>2. Delete<br/>3. Exit<br/>UPS Agent&gt;1</div> <div>Input Access Address.<br/>UPS Agent&gt;172. 30. 3. 50<br/>OK</div> <div>“4”を入力します。</div> <div>“1”を入力します。</div> <div>アドレスを入力</div> | <div>1. Condition<br/>2. Port<br/>3. Access Limitation<br/>4. Access Address<br/>5. Community<br/>6. Trap Address<br/>7. Shutdown Mode<br/>8. Trap Test<br/>9. Exit<br/>UPS Agent&gt;4</div> <div>Select No.<br/>1. Add<br/>2. Delete<br/>3. Exit<br/>UPS Agent&gt;2</div> <div>Select No.<br/>UPS Agent&gt;1<br/>OK</div> <div>“4”を入力します。</div> <div>“2”を入力します。</div> <div>登録されているアドレスの項目No. を入力します。No. 1に登録されている172. 30. 3. 50を削除します</div> |

### 3.4.5 UPS情報設定(UPS Information)メニュー

**Configuration Menu** から **UPS Information** を選択すると、下記の画面が表示されます。



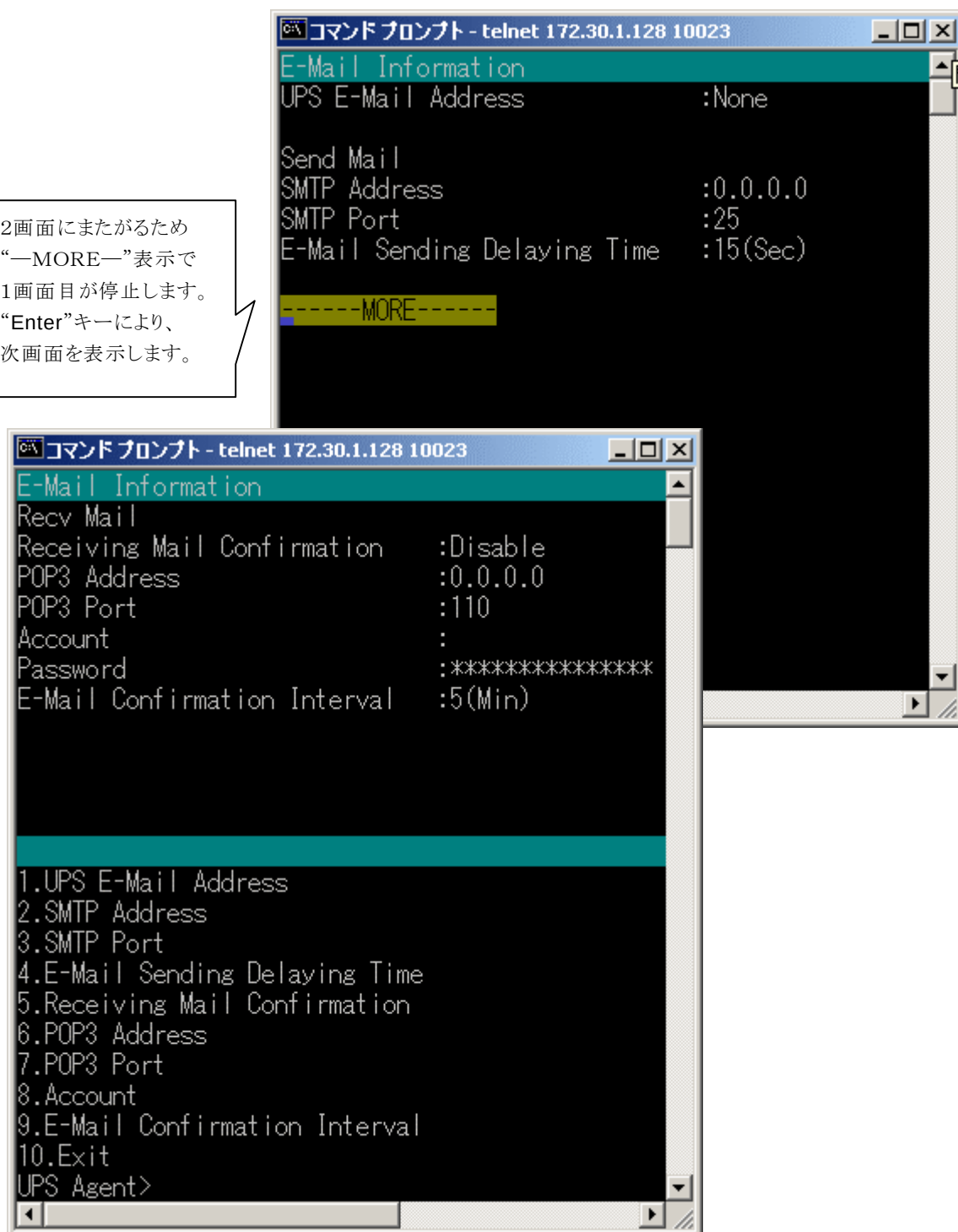
“1.Location” では、UPSの設置場所を入力します。(空白可)

“2.Comment”では、コメントを入力します。(空白可)

### 3.4.6 メール送信設定(E-Mail)メニュー

**Configuration Menu** から **E-Mail** を選択すると、下記の画面が表示されます。

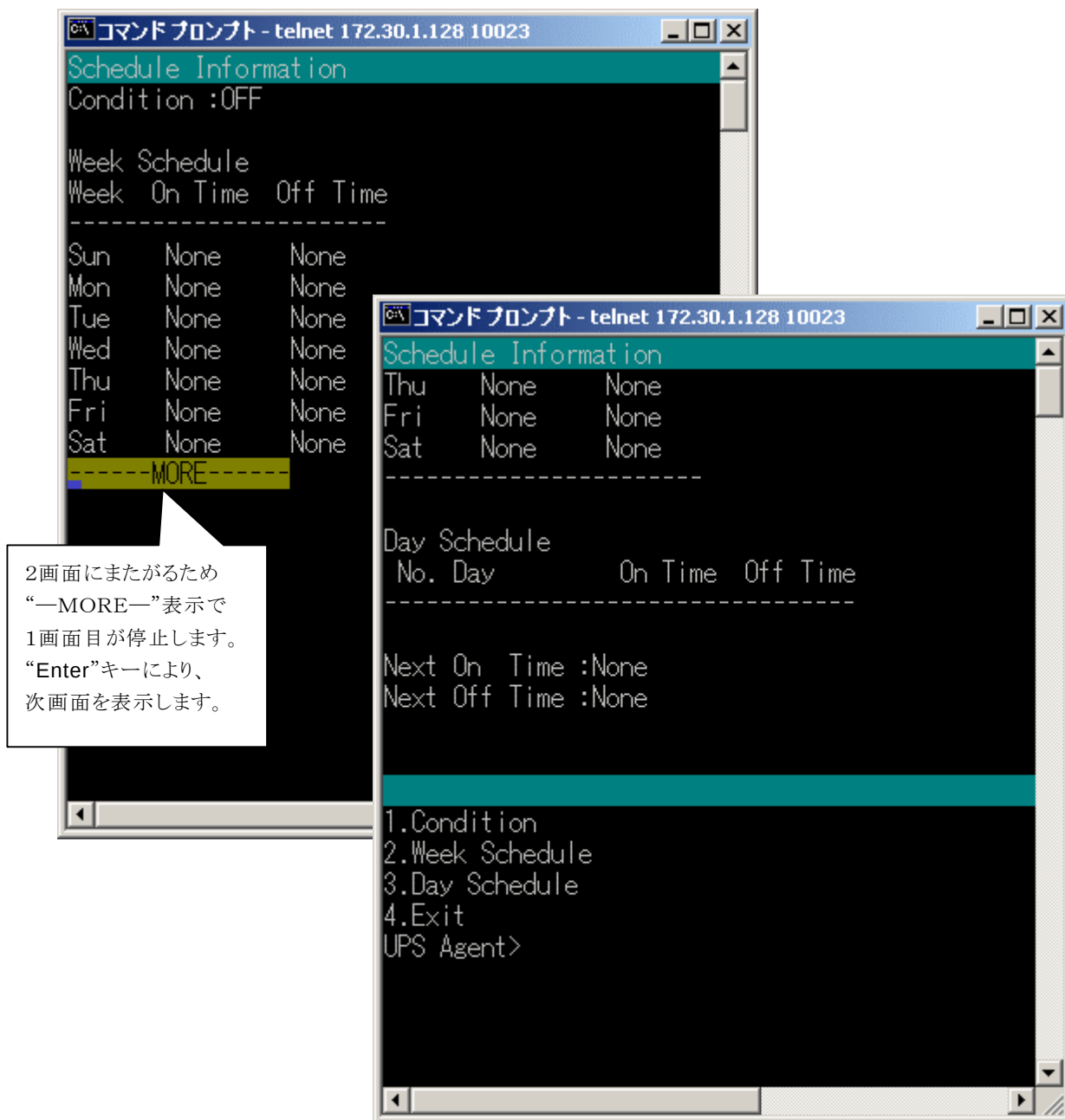
2画面にまたがるため  
“—MORE—”表示で  
1画面目が停止します。  
“Enter”キーにより、  
次画面を表示します。



| メニュー名                          | 説 明                                                                                   |
|--------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 1.UPS E-Mail Address           | UPSから E-mail を送信するときの送り元のアドレスを設定します。                                                  |
| 2.SMTP Address                 | SMTPサーバのIPアドレスを設定します。<br>(初期値は、0. 0. 0. 0です)                                          |
| 3.SMTP Port                    | SMTPサーバのポート番号を設定します。<br>(初期値は、25です)                                                   |
| 4.E-Mail Sending Delaying Time | メールを送信する際、遅延時間を設けてメールを送信する場合の遅延時間(初期値は、15秒です)                                         |
| 5.Receiving Mail Confirmation  | 情報要求メールの読み込み確認を行うか設定します。<br>この設定値を“無効”にすると、情報要求メールは受信せず、状態・計測値やイベントログ等のメール送信処理は行いません。 |
| 6.POP3 Address                 | 情報要求メールを受信するメールサーバ(POP3サーバ)のアドレスを設定します。                                               |
| 7.POP3 Port                    | メールサーバ(POP3サーバ)のポート番号を設定します。<br>(初期値は、110です。)                                         |
| 8.Account                      | POP3サーバの認証用アカウント情報を設定します。                                                             |
| 9.E-Mail Confirmation Interval | 設定した時間間隔でメールサーバ(POP3サーバ)に対し、情報要求メールの有無を確認します。                                         |
| 10.Exit                        | “Configuration Menu” に戻ります。                                                           |

### 3.5 スケジュール動作設定 (Schedule) メニュー

**Main Menu** から **Schedule** を選択すると、下記の画面が表示されます。



| メニュー名           | 説 明                  |
|-----------------|----------------------|
| 1.Condition     | スケジュール運転実行の有無を設定します。 |
| 2.Week Schedule | 週間スケジュールの設定を行います。    |
| 3.Day Schedule  | 指定日スケジュールの設定を行います。   |
| 4.Exit          | “Main Menu” に戻ります。   |

### 3.5.1 スケジュール運転を有効／無効に設定する

**Schedule** のメニューから **Condition** を選択すると、設定メニューが表示されます。

```
Select No.
1. ON
2. OFF
3. Exit
UPS Agent>
```

スケジュール有効にする場合は、ON  
スケジュール無効にする場合は、OFF  
を選択してください。

変更後、設定値表示は、以下のように表示されます。  
“Condition”の表示に設定値が反映されます。

```
Condition : ON

Week Schedule
Week  On Time  Off Time
-----
Sun   None     None
Mon   7:00      19:00
Tue   7:00      19:00
Wed   7:00      19:00
Thu   7:00      19:00
Fri   7:00      19:00
Sat   None     None
```

### 3.5.2 週間スケジュール運転を設定する

**Schedule** のメニューから **Week Schedule** を選択すると、設定メニューが表示されます。

以下では、月曜日に 7:00起動、19:00停止 のスケジュールを設定するまでを説明します。

```

1. Condition
2. Week Schedule
3. Day Schedule
4. Exit
UPS Agent>2
Select Week.
1. Sun
2. Mon
3. Tue
4. Wed
5. Thu
6. Fri
7. Sat
UPS Agent>2
Select Schedule Type.
1. OFF Time
2. ON Time
UPS Agent>1
Input Time. ([hh:mm], [0]:Delete)
UPS Agent>19:00
OK
Select Schedule Type.
1. OFF Time
2. ON Time
UPS Agent>2
Input Time. ([hh:mm], [0]:Delete)
UPS Agent>7:00
OK
  
```

Week Schedule を選択

Mon (月) を選択

OFF Time を選択

停止時間を入力

ON Time を選択

起動時間を入力

#### 設定後の設定値表示の内容(抜粋)

Condition : ON

#### Week Schedule

| Week | On Time | Off Time |
|------|---------|----------|
| Sun  | None    | None     |
| Mon  | 7:00    | 19:00    |
| Tue  | None    | None     |
| Wed  | None    | None     |
| Thu  | None    | None     |
| Fri  | None    | None     |
| Sat  | None    | None     |

(説明)

上記では、月曜日に 7:00-19:00 のスケジュールが設定されました。

網掛け部分は、キー入力箇所です。

### 3.5.3 指定日スケジュール運転を設定する

**Schedule** のメニューから **Day Schedule** を選択すると、設定メニューが表示されます。

以下では、3月6日に 8:00起動、18:00停止 のスケジュールを設定するまでを説明します。

```

1. Condition
2. Week Schedule
3. Day Schedule
4. Exit
UPS Agent>3
Select No.
1. Add
2. Delete
UPS Agent>1
Input Day. ([yy/mm/dd])
UPS Agent>04/3/6
Select On Schedule.
1. Set Time
2. Repression
3. None
UPS Agent>1
Input Time. ([hh:mm])
UPS Agent>8:00
Select Off Schedule.
1. Set Time
2. Repression
3. None
UPS Agent>1
Input Time. ([hh:mm])
UPS Agent>18:00
OK

```

指定日スケジュール (Day Schedule)を選択します。

スケジュールの追加 (Add)を選択します。

スケジュール実施日を入力します。

スケジュール起動時間設定 (Set Time) を選択します。

起動時間を入力します。

スケジュール停止時間設定 (Set Time) を選択します。

停止時間を入力します。

設定後の設定値表示の内容 (抜粋)

```

-----
Day Schedule
No. Day          On Time  Off Time
-----
1. 04/ 3/ 6      8:00    18:00

Next On Time : 04/ 3/ 6 8:00
Next Off Time : 04/ 3/ 6 18:00

```

(説明)  
上記では、指定日スケジュールの設定項目 No.1 に2004年3月6日 8:00－18:00 のスケジュールが設定されています。

“Next On Time”には、次回起動時間が表示されています。  
“Next Off Time”には、次回停止時間が表示されています。

網掛け部分は、キー入力箇所です。

#### (情報)

本機能を使用し設定可能なスケジュール件数は、50件までです。

ただし、実行済みスケジュールは含みません。

以下では、上記で設定したスケジュール(3月6日分)を削除するまでを説明します。

1. Condition  
2. Week Schedule  
3. Day Schedule  
4. Exit  
UPS Agent>3

指定日スケジュール (Day Schedule) を選択します。

Select No.  
1. Add  
2. Delete  
UPS Agent>2

スケジュール削除 (Delete) を選択します。

Select No.  
UPS Agent>1

削除するスケジュールの登録 No. を入力します。

Delete OK?  
1. Yes  
2. No  
UPS Agent>1  
OK

削除確認で Yes を選択します。

削除前の設定値表示の内容 (抜粋)

-----  
  
Day Schedule  
No. Day On Time Off Time  
-----  
1. 04/ 3/ 6 8:00 18:00  
  
Next On Time : 04/ 3/ 6 8:00  
Next Off Time : 04/ 3/ 6 18:00

↓

削除後の設定値表示の内容 (抜粋)

-----  
  
Day Schedule  
No. Day On Time Off Time  
-----  
  
Next On Time : None  
Next Off Time : None

網掛け部分は、キー入力箇所です。

以下では、設定されているスケジュールを抑制する方法を説明します。

指定日スケジュールによるスケジュール抑制機能は、既に設定されているスケジュールを(スケジュールの削除を行わずに)実行を抑制する機能です。

使用例は、週間スケジュールと指定日スケジュールの抑制機能を組み合わせることにより、平日の祝日に週間スケジュールを変更することなく、スケジュール実行の抑制を行えます。

以下では、月一金曜日まで7:00起動、21:00停止の週間スケジュールが設定されている環境で、2004年4月29日祝日にはスケジュール運転を行わないように抑制する設定を行う設定例です。

1. Condition  
2. Week Schedule  
3. Day Schedule  
4. Exit  
UPS Agent>3

指定日スケジュール (Day Schedule) を選択します。

Select No.  
1. Add  
2. Delete  
UPS Agent>1

スケジュールの追加 (Add) を選択します。

Input Day. ([yy/mm/dd])  
UPS Agent>04/4/29

2004/4/29 を入力します。

Select On Schedule.  
1. Set Time  
2. Repression  
3. None  
UPS Agent>2

起動スケジュールの抑制 (Repression) を選択します。

Select Off Schedule.  
1. Set Time  
2. Repression  
3. None  
UPS Agent>2  
OK

停止スケジュールの抑制 (Repression) を選択します。

スケジュール抑制設定後の設定値表示の内容 (抜粋)

Condition : ON

Week Schedule

| Week | On Time | Off Time |
|------|---------|----------|
| Sun  | None    | None     |
| Mon  | 7:00    | 21:00    |
| Tue  | 7:00    | 21:00    |
| Wed  | 7:00    | 21:00    |
| Thu  | 7:00    | 21:00    |
| Fri  | 7:00    | 21:00    |
| Sat  | None    | None     |

Day Schedule

| No. | Day      | On Time | Off Time |
|-----|----------|---------|----------|
| 1.  | 04/ 4/29 | XX:XX   | XX:XX    |

(説明)

上記では、週間スケジュールとして月一金曜日 7:00起動、21:00停止が設定されています。

指定日スケジュール (Day Schedule) には、2004年4月29日 起動 (ON)、および、停止 (OFF) に抑制設定 (XX:XX) がされています。

網掛け部分は、キー入力箇所です。

以下では、指定日スケジュールを無効にする方法を説明します。

```

1. Condition
2. Week Schedule
3. Day Schedule
4. Exit
UPS Agent>3

Select No.
1. Add
2. Delete
UPS Agent>1

Input Day. ([yy/mm/dd])
UPS Agent>04/3/13

Select On Schedule.
1. Set Time
2. Repression
3. None
UPS Agent>3

Select Off Schedule.
1. Set Time
2. Repression
3. None
UPS Agent>1

Input Time. ([hh:mm])
UPS Agent>18:00
OK

```

指定日スケジュール  
(Day Schedule)を選  
択します。

スケジュールの追  
加(Add)を選択し  
ます。

設定日(2004年  
3月13日)を入力  
します。

起動スケジュール  
無効(None)を選  
択します。

スケジュール停止時間  
設定(Set Time) を選  
択します。

停止時間を入力します。

**設定後の設定値表示の内容(抜粋)**

```

Condition : ON

Week Schedule
Week  On Time  Off Time
-----
Sun   None     None
Mon   7:00     21:00
Tue   7:00     21:00
Wed   7:00     21:00
Thu   7:00     21:00
Fri   7:00     21:00
Sat   None     None
-----

Day Schedule
No. Day           On Time  Off Time
-----
1. 04/ 3/12       7:00    --:--
2. 04/ 3/13       --:--   18:00

```

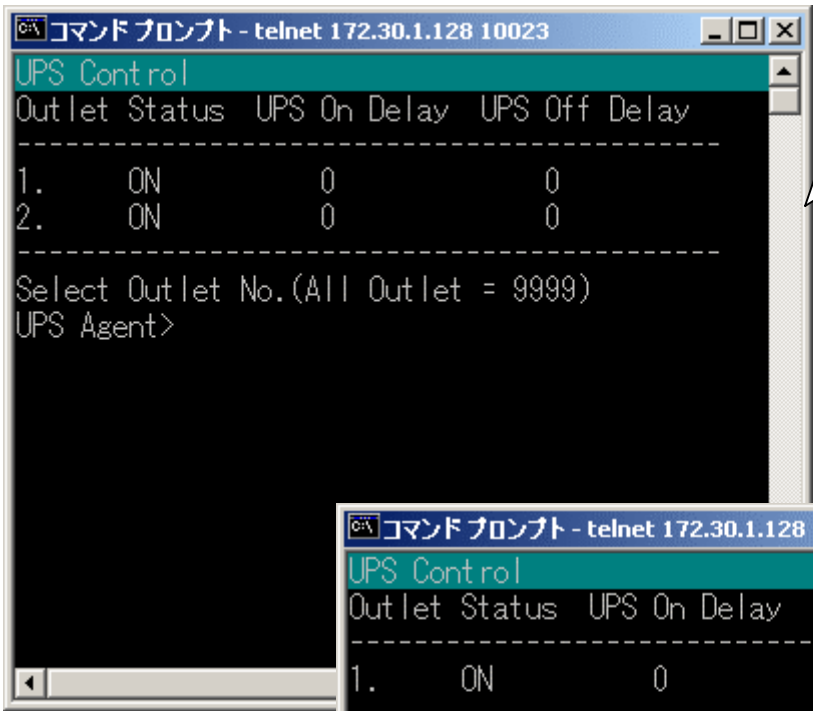
(説明)  
上記では、週間スケジュールとして  
月一金曜日 7:00起動、21:00停止  
が設定されています。

指定日スケジュール(Day Schedule)には、  
2004年3月12日 7:00起動、および、停  
止時間を無効に設定しています。  
また、2004年3月13日 起動時間を無  
効、18:00停止に設定しています。  
これにより、12日は、停止せずに運転し、  
13日の18:00に停止を行うスケジュール  
になります。

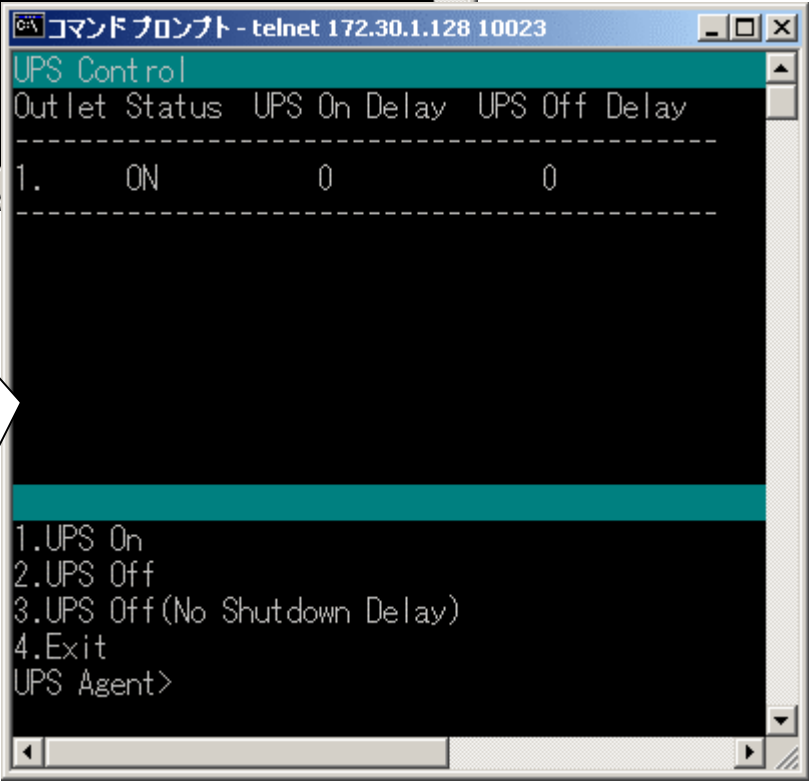
網掛け部分は、キー入力箇所です。

3.6 UPS制御(Control)メニュー

Main Menu から Control を選択すると、下記の画面が表示されます。



左図は、系統制御がある UPS 使用時の画面です。  
“OUTPUT1”、“OUTPUT2”の出力状態、および、出力 ON/OFF 時の遅延時間を確認できます。



右図は、系統制御がない UPS 使用時の画面です。(出力系統は、1つです。)  
系統制御がない UPS では、  
“UPS On Delay”、  
“UPS Off Delay”は、  
“0”のままです。

| メニュー名                        | 説 明                      |
|------------------------------|--------------------------|
| 1.UPS On                     | UPS の出力をオンします。           |
| 2.UPS Off                    | UPS の出力をオフします。           |
| 3.UPS Off(No Shutdown Delay) | 遅延処理を行わずに、UPS の出力をオフします。 |
| 4.Exit                       | “Main Menu” に戻ります。       |

### 3.6.1 UPS の出力を“オン”する

< 系統制御がある UPS の場合 >

メニューから制御を行うコンセント番号を選択します。

| Outlet                                | Status | UPS On Delay | UPS Off Delay |
|---------------------------------------|--------|--------------|---------------|
| 1.                                    | ON     | 0            | 0             |
| 2.                                    | ON     | 0            | 0             |
| -----                                 |        |              |               |
| Select Outlet No. (All Outlet = 9999) |        |              |               |
| UPS Agent>                            |        |              |               |

| 入力値  | 説 明                           |
|------|-------------------------------|
| 1    | “OUTPUT1” を制御選択します。           |
| 2    | “OUTPUT2” を制御選択します。           |
| 9999 | “OUTPUT1”、“OUTPUT2” を制御選択します。 |

以下では、UPS の出力をオンにする方法を説明します。

(以下の操作は、全てのUPS共通です)

|                                |                                      |
|--------------------------------|--------------------------------------|
| 1. UPS On                      |                                      |
| 2. UPS Off                     |                                      |
| 3. UPS Off (No Shutdown Delay) |                                      |
| 4. Exit                        |                                      |
| UPS Agent>1                    | 出力オン (UPS On) を選択します                 |
| UPS On OK ?                    |                                      |
| 1. Yes                         |                                      |
| 2. No                          |                                      |
| 3. Exit                        |                                      |
| UPS Agent>1                    | 制御確認にて“Yes”を選択<br>します。<br>制御が実行されます。 |
| OK                             |                                      |

網掛け部分は、キー入力箇所です。

### 3.6.2 UPS の出力を“オフ”する

< 系統制御がある UPS の場合 >

メニューから制御を行うコンセント番号を選択します。

| Outlet                                | Status | UPS On Delay | UPS Off Delay |
|---------------------------------------|--------|--------------|---------------|
| 1.                                    | ON     | 0            | 0             |
| 2.                                    | ON     | 0            | 0             |
| -----                                 |        |              |               |
| Select Outlet No. (All Outlet = 9999) |        |              |               |
| UPS Agent>                            |        |              |               |

| 入力値  | 説 明                           |
|------|-------------------------------|
| 1    | “OUTPUT1” を制御選択します。           |
| 2    | “OUTPUT2” を制御選択します。           |
| 9999 | “OUTPUT1”、“OUTPUT2” を制御選択します。 |

以下では、UPS の出力をオフにする方法を説明します。

(以下の操作は、全てのUPS共通です)

|                                |                                  |
|--------------------------------|----------------------------------|
| 1. UPS On                      |                                  |
| 2. UPS Off                     |                                  |
| 3. UPS Off (No Shutdown Delay) |                                  |
| 4. Exit                        |                                  |
| UPS Agent>2                    | 出力オン(UPS Off)を選択します              |
| UPS On OK ?                    |                                  |
| 1. Yes                         |                                  |
| 2. No                          |                                  |
| 3. Exit                        |                                  |
| UPS Agent>1                    | 制御確認にて“Yes”を選択します。<br>制御が実行されます。 |
| OK                             |                                  |

網掛け部分は、キー入力箇所です。

#### “2.UPS Off” について

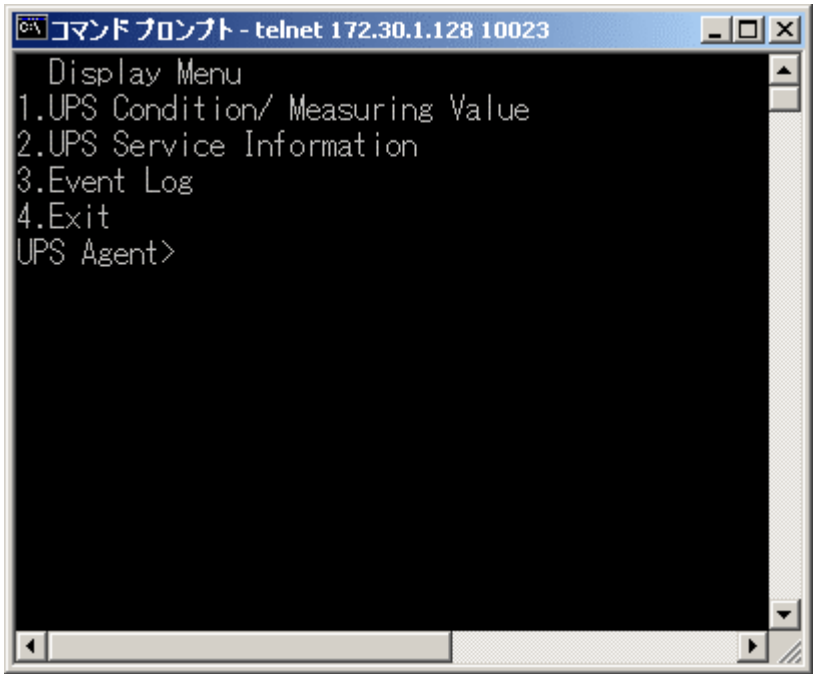
この制御は、シャットダウン処理を行う際、コンピュータのログオフを待ち、シャットダウンを行う制御です。ただし、UPS 管理ソフトを利用している場合のみ、ログオフを待ちます。  
(UPS 管理ソフト未使用時は、“3. UPS Off (No Shutdown Delay)”と同じ動作です。)

#### “3.UPS Off(No Shutdown Delay)” について

この制御は、シャットダウン処理を行う際、コンピュータのログオフを待たずにシャットダウンを行う制御です。(シャットダウン遅延時間のカウントが始まり、シャットダウン前処理を実行します。)

3.7 UPS情報表示(Display)メニュー

Main Menu から Display を選択すると、下記の画面が表示されます。



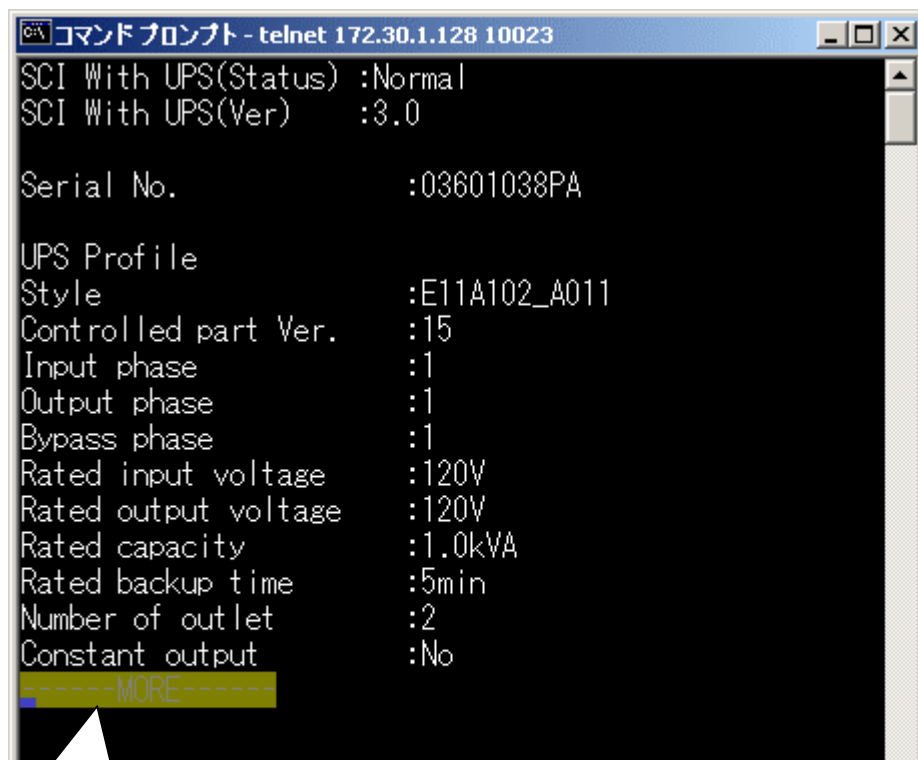
| メニュー名                            | 説 明                                              |
|----------------------------------|--------------------------------------------------|
| 1.UPS Condition/ Measuring Value | UPS の状態・計測値情報を表示します。                             |
| 2.UPS Service Information        | <b>SANUPS SOFTWARE</b> の情報 (プログラム・バージョン) を表示します。 |
| 3.Event Log                      | UPS のイベントログを表示します。                               |
| 4.Exit                           | “Main Menu” に戻ります。                               |

(情報)

UPS の一部機種には、計測値表示を行わない機種があります。

## 3.7.1 UPS の状態・計測値を確認する

**Display** メニューから **UPS Condition/ Measuring Value** を選択するとUPS の状態・計測値等が確認できます。

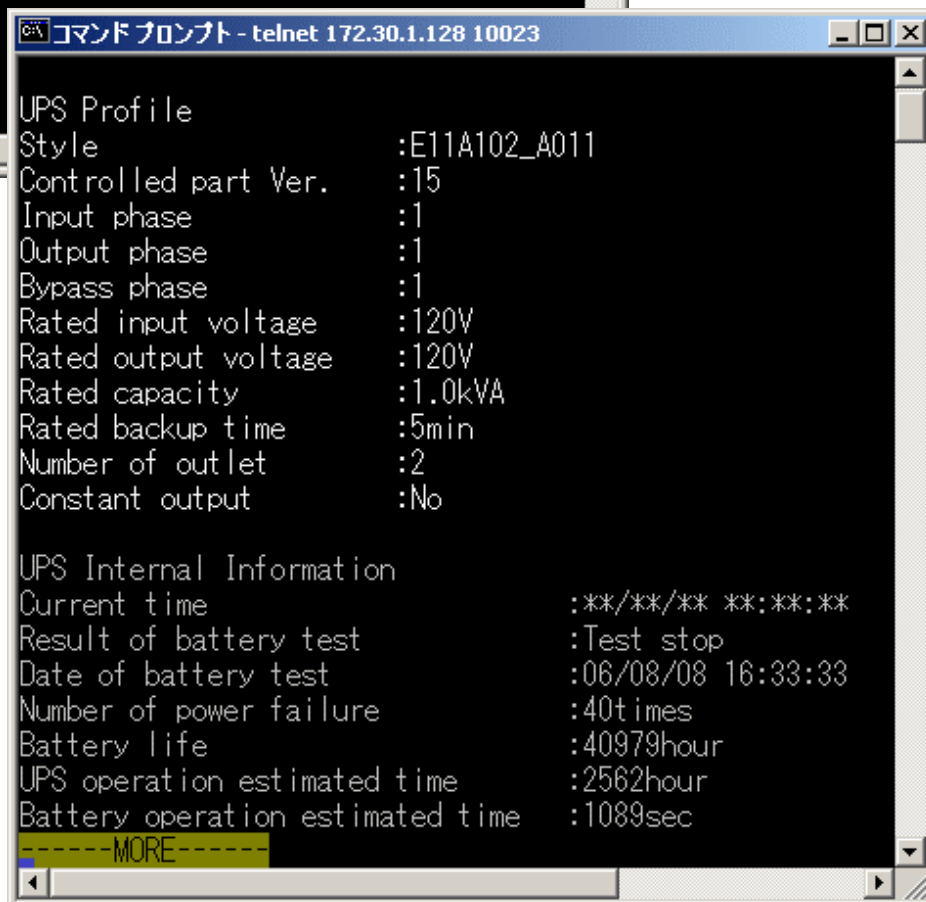


```
コマンドプロンプト - telnet 172.30.1.128 10023
SCI With UPS(Status) :Normal
SCI With UPS(Ver)    :3.0

Serial No.           :03601038PA

UPS Profile
Style                :E11A102_A011
Controlled part Ver. :15
Input phase          :1
Output phase         :1
Bypass phase         :1
Rated input voltage  :120V
Rated output voltage :120V
Rated capacity       :1.0kVA
Rated backup time    :5min
Number of outlet     :2
Constant output      :No
-----MORE-----
```

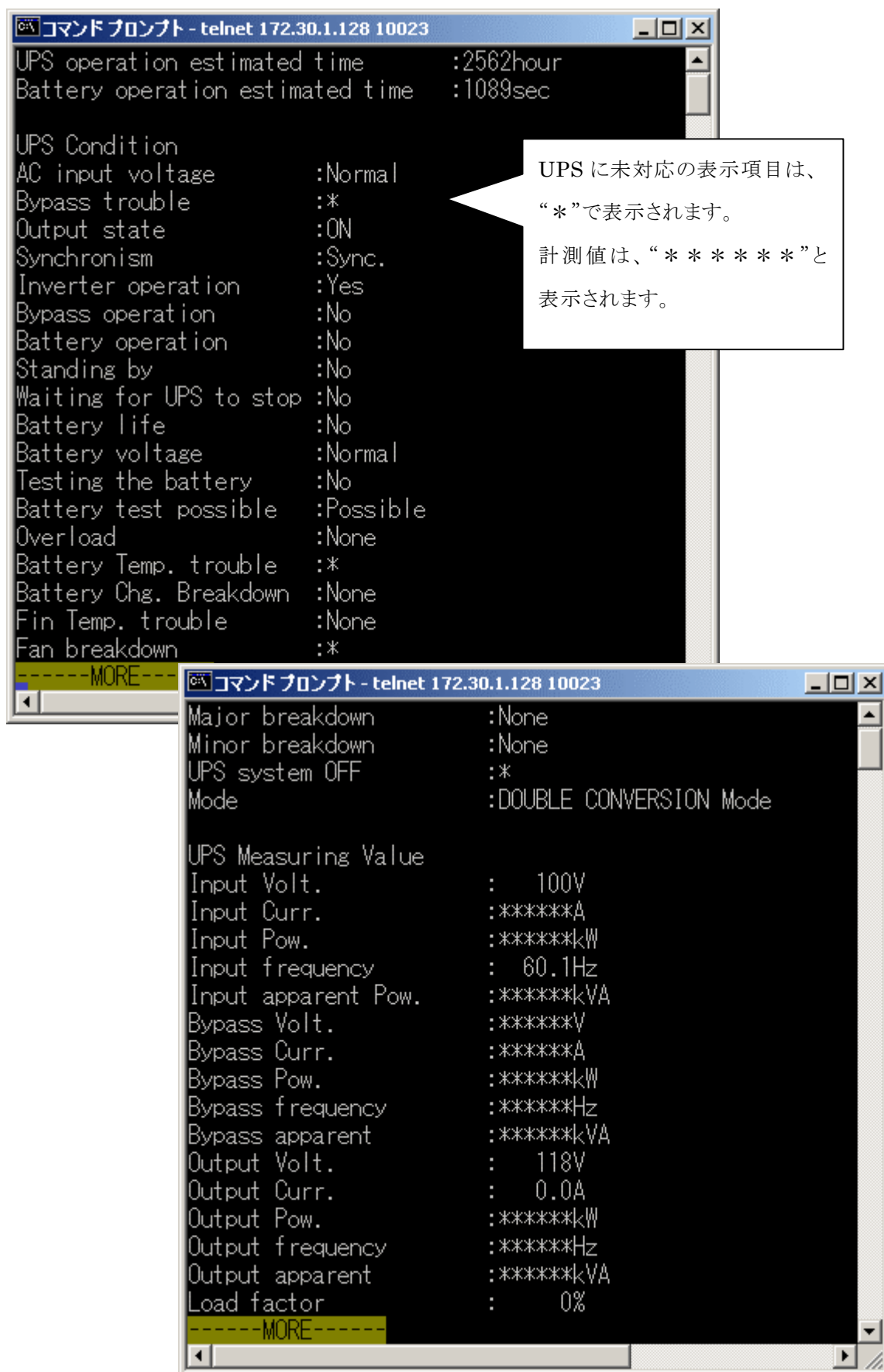
表示が複数頁にまたがるため－MORE－表示で停止します。



```
コマンドプロンプト - telnet 172.30.1.128 10023

UPS Profile
Style                :E11A102_A011
Controlled part Ver. :15
Input phase          :1
Output phase         :1
Bypass phase         :1
Rated input voltage  :120V
Rated output voltage :120V
Rated capacity       :1.0kVA
Rated backup time    :5min
Number of outlet     :2
Constant output      :No

UPS Internal Information
Current time         : **/**/ **:**: **
Result of battery test : Test stop
Date of battery test  : 06/08/08 16:33:33
Number of power failure : 40times
Battery life         : 40979hour
UPS operation estimated time : 2562hour
Battery operation estimated time : 1089sec
-----MORE-----
```



The screenshot shows a Windows command prompt window titled "コマンドプロンプト - telnet 172.30.1.128 10023". The window displays the following text:

```

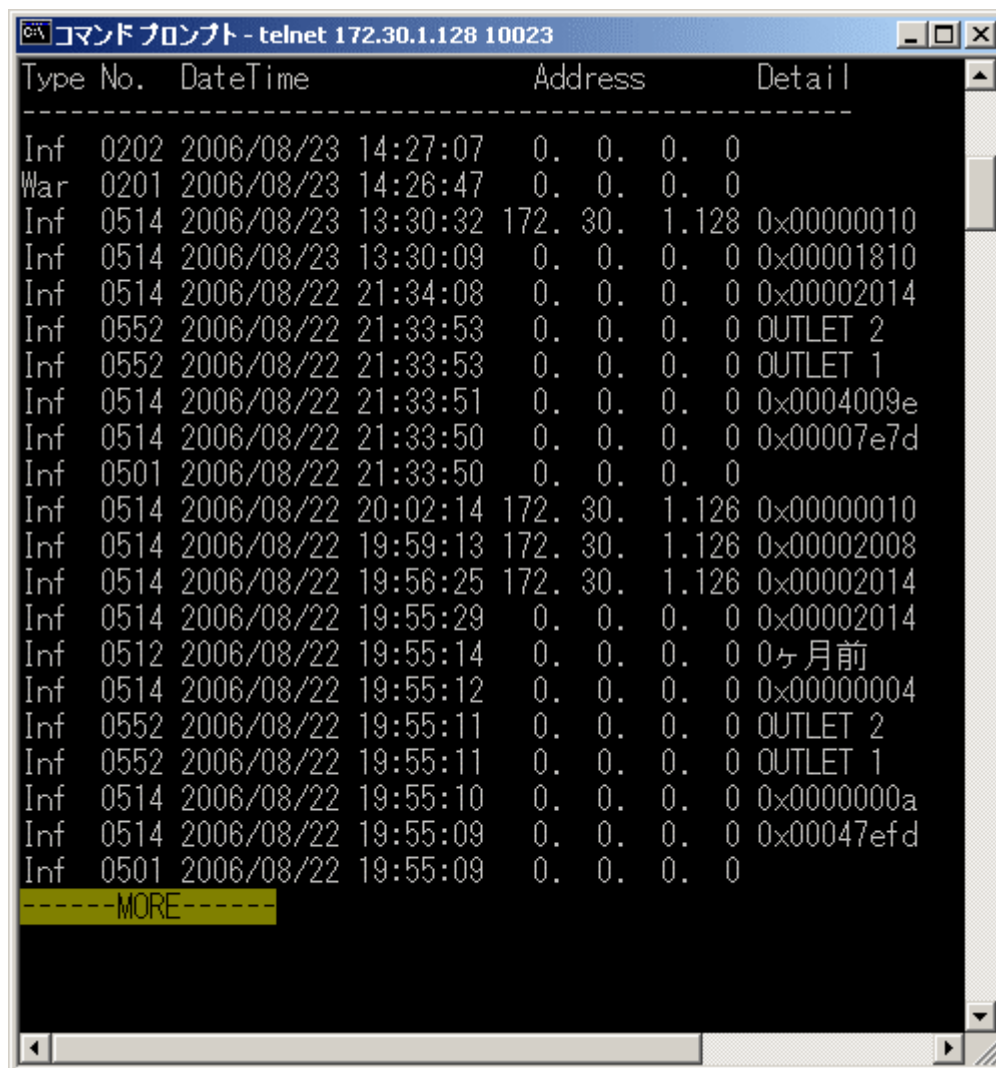
Bypass Volt.          :*****V
Bypass Curr.          :*****A
Bypass Pow.           :*****kW
Bypass frequency      :*****Hz
Bypass apparent       :*****kVA
Output Volt.          : 118V
Output Curr.          : 0.0A
Output Pow.           :*****kW
Output frequency      :*****Hz
Output apparent       :*****kVA
Load factor           : 0%
Battery Chg. Volt.    : 26V
Battery Chg. Curr.    :*****A
Battery Dis-Chg. Volt.: 26V
Battery Dis-Chg. Curr.:*****A
Ambient Temp.         : 25C
Battery Temp.         :*****C
Fin Temp.             :*****C
Battery Charge.       : 100%
Battery Backup Time.  : 1092min
OK
=== Hit Enter Key !! ===

```

| 項目名                      | 説 明                                            |
|--------------------------|------------------------------------------------|
| SCI With UPS(Status)     | UPS との通信状態を表示します。<br>通信正常:Normal<br>通信異常>Error |
| SCI With UPS(Ver)        | UPS との通信プロトコルバージョンを表示します。                      |
| Serial No.               | UPS シリアル番号を表示します。                              |
| UPS Profile              | UPS プロファイルを表示します。                              |
| UPS Internal Information | UPS 内部情報を表示します。                                |
| UPS Condition            | UPS 状態情報を表示します。                                |
| UPS Measuring Value      | UPS 計測情報を表示します。                                |

## 3.7.2 UPS のイベントログを確認する

**Display** メニューから **Event Log** を選択すると UPS のイベントログが確認できます。



| 表示項目     | 説 明                                                                     |
|----------|-------------------------------------------------------------------------|
| Type     | イベントログの種別<br>略称は、<br>Inf: Information、War: Warning、Err: Error<br>を表します。 |
| No.      | イベント番号                                                                  |
| DateTime | 発生日時                                                                    |
| Address  | 外部からのアクセスが合った場合、その装置の IP アドレス                                           |
| Detail   | 詳細情報                                                                    |

### 3.8 接続装置の設定 (Connection Device) メニュー

**Main Menu** から **Connection Device** を選択すると、下記の画面が表示されます。

**Connection Device**

```

1:172.30.1.128(PC-SV-RS)
Location      :
Comment      :
Outlet       :1

2:172.30.1.176(WS-LAN)
Kanji        :SHIFT JIS
Location      :
Comment      :
Outlet       :1
Wake On LAN:Disable

3:Router-001(OTHER)
Location      :
Comment      :
Outlet       :1

-----MORE-----
    
```

<表示装置種別について>

- PC-SV-SERIAL : UPS 管理ソフトサーバ PC (シリアル)
- WS-SV-SERIAL : UPS 管理ソフトサーバ WS (シリアル)
- PC-SV-CONTACT : UPS 管理ソフトサーバ PC (接点)
- WS-SV-CONTACT : UPS 管理ソフトサーバ WS (接点)
- PC-LAN-SG : UPS 管理ソフトクライアント PC
- WS-LAN-SG : UPS 管理ソフトクライアント WS
- WS-LAN : Telnet 接続 WS
- OTHER : その他の装置

表示が複数頁にまたがるため - MORE - 表示で停止します。  
“Enter”キーにより、次頁が表示されます。

デバイス No.を選択し、  
装置の追加／変更／  
削除を行います。

登録可能な装置数は、50台まで登録できます。

```

41:None
42:None
43:None
44:None
45:None
46:None
47:None
48:None
49:None
50:None

Select Connection Device No.
UPS Agent>
    
```

上図画面より、デバイス No.を入力すると以下の画面が表示されます。  
 (デバイスNo. 4 を選択しています。 デバイスNo. 4 は、装置未登録です。)



| メニュー名                | 説 明                                      |
|----------------------|------------------------------------------|
| 1.Add                | 装置未登録時に装置の登録を行います。                       |
| 2.Delete             | 登録されている装置の削除を行います。                       |
| 3.Event              | イベント発生時の WS スクリプトの設定を行います。               |
| 4.Device Information | 装置の情報(設置場所／コメント)の設定を行います。                |
| 5.Outlet             | 系統制御がある UPS 利用時、接続する UPS のコンセント番号を設定します。 |
| 6.Wake On LAN        | WakeOnLAN 機能の利用設定を行います。                  |
| 7.Exit               | デバイスNo. 設定画面に戻ります。                       |

### 3.8.1 装置を登録する

装置未登録のデバイスNo. を選択します。

表示メニューから追加 (Add) を選択します。以下は、「Telnet 接続 WS」を登録する例です。

(情報)

**SANUPS SOFTWARE** の Telnet 端末用ツールでは WS (Telnet 接続) 装置 のみ登録可能です。

**SANUPS SOFTWARE** クライアントの登録は、GUI ツール、または CUI ツールから行ってください。詳しくは「ユーザガイド」をご覧ください。

```

1. Add
2. Delete
3. Event
4. Device Information
5. Outlet
6. Wake On LAN
7. Exit
UPS Agent>1
        
```

追加 (Add) を選択します。

```

Select Type.
1. PC (CONTACT)
2. WS (SERIAL)
3. WS (LAN)
4. Exit
UPS Agent>3
        
```

WS に Telnet 接続するので、“3. WS (LAN)” を選択します。

```

Input Network Name Or IP Address
UPS Agent>172.30.1.183
        
```

WS の IP アドレスを入力します。

```

Select Kanji Code.
1. SHIFT JIS
2. JIS
3. EUC
4. UNICODE(※)
UPS Agent>3
OK
        
```

WS の漢字コードを選択します。この設定後、UPS に装置が登録されます。

装置登録後の設定画面

網掛け部分は、キー入力箇所です。

(※) UNICODE は現バージョンでは未対応のため選択しないでください。

#### 登録装置の設定値

| 項目名         | 初期値(設定値)                       |
|-------------|--------------------------------|
| Location    | 空白                             |
| Comment     | 空白                             |
| Outlet      | 1                              |
| Wake On Lan | Disable (“WS(LAN)”を選択した場合のみ表示) |

装置登録後、上記項目が初期値として設定されます。

変更必要な場合は、メニュー(“4.Device Information”、“5.Outlet”、“6.Wake On LAN”)から設定値を変更してください。

### 3.8.2 登録装置を削除する

登録されているデバイスNo. を選択します。

表示メニューから追加 (Delete) を選択します。

以下は、デバイス No.4 に登録されている装置を削除する例です。

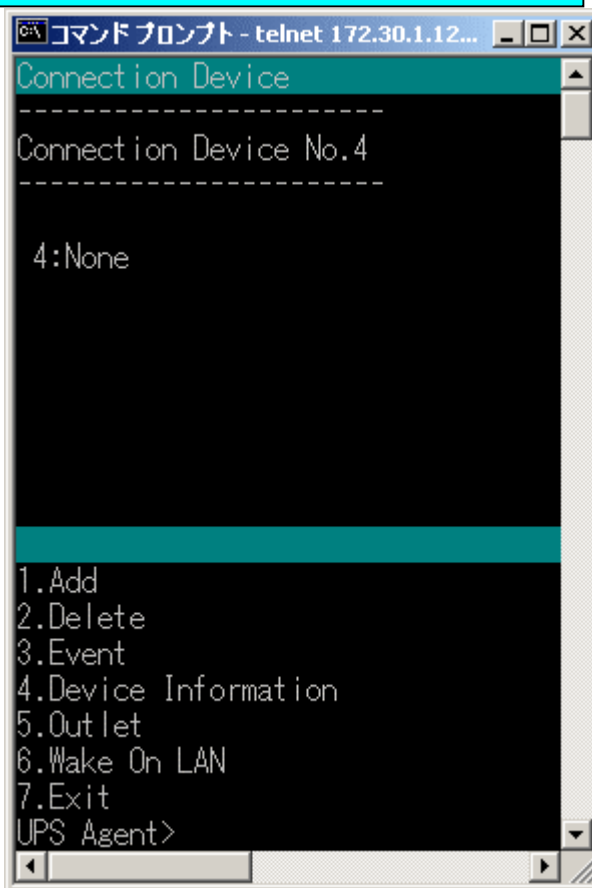
```
1. Add
2. Delete
3. Event
4. Device Information
5. Outlet
6. Wake On LAN
7. Exit
UPS Agent>2

Delete Device
1. Yes
2. No
3. Exit
UPS Agent>1
OK
```

削除 (Delete) を選択します。

装置の削除確認で  
“Yes”を選択します。  
装置が削除されます。

装置削除後の設定画面



網掛け部分は、キー入力箇所です。

### 3.8.3 イベント発生時の動作設定(Event)を行う

登録した WS に対して、イベント発生時のスクリプトを設定します。  
 停電発生時のシャットダウン動作などは、この機能で設定を行います。

WS へログインするための手順を記述する“Login Script”の編集  
 イベント発生時に実行する処理を記述する“Event Script”の編集  
 を行います。

以下では、スクリプトの記述例などを紹介します。

#### •Login Script (ログイン・スクリプト)

イベント・スクリプト実行時の WS ログイン処理を入力します。

ログイン・スクリプトのデフォルト設定値

| 行 | ログイン・スクリプト       |   | 説 明                           |
|---|------------------|---|-------------------------------|
| 1 | retry=1          | ← | スクリプト実行失敗時のリトライ回数を指定します。      |
| 2 | interval=30      | ← | リトライ開始までの間隔秒を指定します。           |
| 3 | timeout=30       | ← | “wait=”記述箇所指定文字データ受信を待つ最大時間秒  |
| 4 | wait=ogin:       | ← | login入力プロンプトを待ちます。            |
| 5 | send=<USER NAME> | ← | ログイン名を送信します。                  |
| 6 | wait=assword:    | ← | Password入力プロンプトを待ちます。         |
| 7 | send=<PASSWORD>  | ← | パスワードを送信します。                  |
| 8 | wait=#           | ← | WSからのログイン完了を待ちます。(プロンプト表示を待つ) |

1～3行目では、ログイン・スクリプトの動作設定をしています。

4～5行目では、ログイン名を入力します。

6～7行目では、パスワードを入力します。

8行目では、ログインの完了を待ちます。(ログインができれば、#プロンプトが表示されるため)

以下の「使用コマンド一覧」にあるコマンドを使い、Login Script を記述します。

## ログイン・スクリプト 使用コマンド一覧

| コマンド名           | 説明                                                                                                                            | 記述例                                                                        |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| <b>send</b>     | WS側に送信する文字列を設定します。                                                                                                            | 例) <code>send=shutdown</code>                                              |
| <b>wait</b>     | UPS側で受信する文字列(プロンプト等)を設定します。                                                                                                   | 例) <code>wait=login</code>                                                 |
| <b>sleep</b>    | 何の処理も行わずに待機する時間を設定します。<br>単位は秒(s)                                                                                             | 例) <code>sleep=90</code>                                                   |
| <b>timeout</b>  | 何らかの処理を実行後、その処理の終了を待つ時間を設定します。<br>単位は、秒(s)<br>デフォルト値は、30 秒です。                                                                 | 例) <code>timeout=60</code>                                                 |
| <b>retry</b>    | スクリプト失敗時のリトライ回数を設定します。<br>単位は、回(有効範囲 0～10 回)<br>デフォルト値は、1回です。                                                                 | 例) <code>retry=2</code>                                                    |
| <b>interval</b> | スクリプト失敗時のリトライ間隔を設定します。<br>単位は、秒(有効範囲 1～60 秒)<br>デフォルト値は、30 秒です。                                                               | 例) <code>interval=10</code>                                                |
| <b>port</b>     | WS側のTelnetポート番号を指定します。<br>有効範囲 0～65,535<br>省略時は、ポート 23 を使用します。                                                                | 例) <code>port=10023</code>                                                 |
| <b>cr_only</b>  | 改行コードを<CR>に設定します。<br>設定値は、yes または no。<br>yes に設定すると、それ以降の送信データの改行コードが<CR>となります。<br>省略時は、no として動作します。<br>(改行コードは<CR><LF>になります) | 例) <code>cr_only=yes</code><br><code>cr_only=no</code>                     |
| <b>binsend</b>  | WS側に送信する8ビットコードを設定します。<br>有効範囲<br>16進表示 : x00～xff<br>8進表示 : 000～377                                                           | 例) 16 進表示<br><code>binsend=x07</code><br>8 進表示<br><code>binsend=004</code> |

※ 「=」前後のスペースの有無は、処理に影響ありません。

半角 510 文字(全角 255 文字)以内で設定してください。

## •Event Script (イベント・スクリプト)

イベント毎に WS で行うスクリプト処理を入力します。

ここで言う「スクリプト」は、UNIXなどでのシェル・スクリプトとは異なります。  
 ここでは、コンピュータにコマンドを送信するなどの一連の動作を記述したものを「スクリプト」と称しています。

例) `send=shutdown -h now` ← シャットダウンコマンドを送信します  
`sleep=60` ← 60秒間待機します。  
 (ここでは、ログアウト待ちをしています)

### 使用コマンド

| コマンド名                 | 説明                                                                                                                            | 記述例                                                                        |
|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| <code>send</code>     | WS 側に送信する文字列を設定します。                                                                                                           | 例) <code>send=shutdown</code>                                              |
| <code>wait</code>     | UPS側で受信する文字列(プロンプト)を設定します。                                                                                                    | 例) <code>wait=login</code>                                                 |
| <code>sleep</code>    | 何の処理も行わずに待機する時間を設定します。<br>単位は秒(s)                                                                                             | 例) <code>sleep=90</code>                                                   |
| <code>timeout</code>  | 何らかの処理を実行後、その処理の終了を待つ時間を設定します。<br>単位は、秒(s)<br>デフォルト値は、30 秒です。                                                                 | 例) <code>timeout=60</code>                                                 |
| <code>retry</code>    | スクリプト失敗時のリトライ回数を設定します。<br>単位は、回(有効範囲0~10回)<br>デフォルト値は、1回です。                                                                   | 例) <code>retry=2</code>                                                    |
| <code>interval</code> | スクリプト失敗時のリトライ間隔を設定します。<br>単位は、秒(有効範囲 1~60 秒)<br>デフォルト値は、30 秒です。                                                               | 例) <code>interval=10</code>                                                |
| <code>cr_only</code>  | 改行コードを<CR>に設定します。<br>設定値は、yes または no。<br>yes に設定すると、それ以降の送信データの改行コードが<CR>となります。<br>省略時は、no として動作します。<br>(改行コードは<CR><LF>になります) | 例) <code>cr_only=yes</code><br><code>cr_only=no</code>                     |
| <code>binsend</code>  | WS側に送信する8ビットコードを設定します。<br>有効範囲<br>16進表示: <code>x00~xff</code><br>8進表示 : <code>000~377</code>                                  | 例) 16 進表示<br><code>binsend=x07</code><br>8 進表示<br><code>binsend=004</code> |
| <code>delay</code>    | スクリプトの実行を指定時間遅らせます。<br>イベント・スクリプト中に“delay”記述がある場合は、<br>指定時間経過後にログイン・スクリプトを実行し、イベント・スクリプトを実行します。                               | 例) <code>delay=60</code>                                                   |

※ 「=」前後のスペースの有無は、処理に影響ありません。

半角598文字(全角299文字)以内で設定してください。

## スクリプト中に使用できるマクロ文字列

送信文字列にはマクロが使用できます。以下の一覧表に示すマクロ文字列が指定されている場合は、対応した文字列に置き換わります。

| マクロ文字列          | 意味                         |
|-----------------|----------------------------|
| %STOP_TIME_M%   | 回復不能までの残り時間(分の位)           |
| %STOP_TIME_S%   | 回復不能までの残り時間(秒の位)           |
| %SD_DELAY_TIME% | UPS に設定されているシャットダウン遅延時間(秒) |
| %BAT_CHG_MON%   | バッテリー交換までの残り月数             |

### ログイン・スクリプトの記述

ご使用の環境によっては、直接スーパーユーザー(root)権限でログインができない場合があります。そのような場合は、“su”コマンドを使い、root ユーザに代わりコマンド実行を行ってください。

以下は、“su”コマンドを使用する場合のログイン・スクリプト記述例です。

一般ユーザ(ユーザ名:guest、パスワード:guest)、root(パスワード:root)でログインする例です。

| 行  | ログイン・スクリプト    | 説 明                         |
|----|---------------|-----------------------------|
| 1  | retry=1       | ログイン・スクリプトの動作設定をしています。      |
| 2  | interval=30   |                             |
| 3  | timeout=30    |                             |
| 4  | wait=ogin:    | 一般ユーザ:guest でログインします。       |
| 5  | send=guest    | ここでは、ログイン名:guest を入力します。    |
| 6  | wait=assword: | 一般ユーザ:guest のパスワードを入力します。   |
| 7  | send=guest    | パスワード:guest を入力します。         |
| 8  | wait=\$       | ログイン後の\$プロンプト表示を待ちます。       |
| 9  | send=su       | “su”コマンドを送信し、実行します。         |
| 10 | wait=assword: | root のパスワードを入力します。          |
| 11 | send=root     | パスワード:root を入力します。          |
| 12 | wait=#        | root でのログイン後の#プロンプト表示を待ちます。 |

以下では、Login Script を修正する方法について説明します。

登録されているデバイスNo. を選択します。

5行目の記述を

```
send=<USER NAME>
```

↓

```
send=root
```

に変更しています。

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <pre> 1. Add 2. Delete 3. Event 4. Device Information 5. Outlet 6. Wake On LAN 7. Exit UPS Agent&gt;3      ← [1]:Event を選びます。  Select Script. 1.Login Script 2.Event Script 3.Exit UPS Agent&gt;1      ← [2]:“Login Script” を選択します。  Select Script Line Number. UPS Agent&gt;5      ← [3]:変更行 No.を設定します。  Operation          &lt;a-key:Add d-key:Delete e-key:Exit&gt; UPS Agent&gt;d        ← [4]:変更行を一旦削除します。 OK delete script 5line.  Select Script Line Number. UPS Agent&gt;4        ← [5]:追加行 No.を設定します。  Operation          &lt;a-key:Add d-key:Delete e-key:Exit&gt; UPS Agent&gt;a        ← [6]:行の追加を設定します。  Input script. UPS Agent&gt;send=root  ← [7]:追加処理を記述します。  Select Script Line Number. UPS Agent&gt;          ← [8]:Enter キーを押します。  Operation          &lt;a-key:Add d-key:Delete e-key:Exit&gt; UPS Agent&gt;e        ← [9]:編集終了を設定します。  Save Event Script. 1. Yes 2. No UPS Agent&gt;1        ← [10]:編集内容を保存します。 OK </pre> | <div data-bbox="1053 533 1460 616">初期設定値</div> <div data-bbox="1053 616 1460 952"> Login Script<br/> 1 : retry=1<br/> 2 : interval=30<br/> 3 : timeout=30<br/> 4 : wait=ogin:<br/> 5 : send=&lt;USER NAME&gt;<br/> 6 : wait=assword:<br/> 7 : send=&lt;PASSWORD&gt;<br/> 8 : wait=# </div> <div data-bbox="1053 952 1460 1108">[4]実行後の設定内容<br/>“send=&lt;USER NAME&gt;”行の削除</div> <div data-bbox="1053 1108 1460 1422"> Login Script<br/> 1 : retry=1<br/> 2 : interval=30<br/> 3 : timeout=30<br/> 4 : wait=ogin:<br/> 5 : wait=assword:<br/> 6 : send=&lt;PASSWORD&gt;<br/> 7 : wait=# </div> <div data-bbox="1053 1422 1460 1579">[7]実行後の設定内容<br/>“send= root”行の追加</div> <div data-bbox="1053 1579 1460 1921"> Login Script<br/> 1 : retry=1<br/> 2 : interval=30<br/> 3 : timeout=30<br/> 4 : wait=ogin:<br/> 5 : send=root<br/> 6 : wait=assword:<br/> 7 : send=&lt;PASSWORD&gt;<br/> 8 : wait=# </div> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

以下では、Event Script を修正する方法について説明します。  
「シャットダウン実行」 イベント(イベント No.:511)のスクリプトを修正しています。  
登録されているデバイスNo. を選択します。

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>1. Add<br/>2. Delete<br/>3. Event<br/>    : (省略)<br/>7. Exit<br/>UPS Agent&gt;3      ← [1]: Event を選びます。</p> <p>Select Script.<br/>1. Login Script<br/>2. Event Script<br/>3. Exit<br/>UPS Agent&gt;2      ← [2]: “Event Script” を選択します。</p> <p>Input event No.<br/>UPS Agent&gt;511    ← [3]: イベント No.を入力します。</p> <p>1. Condition<br/>2. Edit Script<br/>3. Test<br/>4. Exit<br/>UPS Agent&gt;2      ← [4]: “Edit Script” を選択します。</p> <p>Select Script Line Number.<br/>UPS Agent&gt;1      ← [5]: 変更行番号を入力します。</p> <p>Operation          &lt;a-key:Add d-key:Delete e-key:Exit&gt;<br/>UPS Agent&gt;d        ← [6]: 変更行を一旦削除します。</p> <p>Select Script Line Number.<br/>UPS Agent&gt;1      ← [7]: 変更行番号を入力します。</p> <p>Operation          &lt;a-key:Add d-key:Delete e-key:Exit&gt;<br/>UPS Agent&gt;a        ← [8]: 行の追加を設定します。</p> <p>Input script.<br/>UPS Agent&gt;send=shutdown -i0 -g- -y ← [9]: 追加処理記述</p> <p>Select Script Line Number.<br/>UPS Agent&gt;1      ← [10]: 変更行番号を入力します。</p> <p>Operation          &lt;a-key:Add d-key:Delete e-key:Exit&gt;<br/>UPS Agent&gt;d        ← [11]: 変更行を削除します。</p> <p>Select Script Line Number.<br/>UPS Agent&gt;        ← [12]: Enter キーを押します。</p> <p>Operation          &lt;a-key:Add d-key:Delete e-key:Exit&gt;<br/>UPS Agent&gt;e        ← [13]: 編集終了を設定します。</p> <p>Save Event Script.<br/>1. Yes<br/>2. No<br/>UPS Agent&gt;1      ← [14]: 編集内容を保存します。</p> | <p>初期設定値</p> <p>-----<br/>Event No. 0511<br/>-----</p> <p>Condition                    : ON</p> <p>Event Script<br/>  1 : send=shutdown -h now<br/>  2 : wait=&lt;SHUTDOWN MESSAGE&gt;<br/>  3 : sleep=60</p> <p>[6]実行後の設定内容<br/>1行目の削除</p> <p>-----<br/>Event No. 0511<br/>-----</p> <p>Event Script<br/>  1 : wait=&lt;SHUTDOWN MESSAGE&gt;<br/>  2 : sleep=60</p> <p>[9]実行後の設定内容<br/>追加処理を記述</p> <p>-----<br/>Event No. 0511<br/>-----</p> <p>Event Script<br/>  1 : wait=&lt;SHUTDOWN MESSAGE&gt;<br/>  2 : send=shutdown -i0 -g0 -y<br/>  3 : sleep=60</p> <p>[11]実行後の設定内容<br/>1行目の削除</p> <p>-----<br/>Event No. 0511<br/>-----</p> <p>Event Script<br/>  1 : send=shutdown -i0 -g0 -y<br/>  2 : sleep=60</p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### ・スクリプト実行の有効／無効設定

イベントによっては、スクリプトの実行条件の初期値が「無効」のものがあります。

設定値の表示中の“Condition”で現在の実行条件が表示されます。

```
-----
Event No.0511
-----
```

```
Condition      :ON
```

ON は「有効」、OFF は「無効」です。

「無効」のままでは、スクリプトを設定しても動作しません。

上記の設定方法説明[4]設定時に表示されるメニューから“1.Condition”を選び、設定を変更します。

また、設定してあるスクリプトを一時的に実行しないようにする場合は、実行条件を「無効」に変更してください。

### ・スクリプト実行のテスト機能

```
1. Add
2. Delete
3. Event
   : (省略)
7. Exit
UPS Agent>3      ← [1]:Event を選びます。

Select Script.
1. Login Script
2. Event Script
3. Exit
UPS Agent>2      ← [2]:“Event Script” を選択しま
す。

Input event No.
UPS Agent>511    ← [3]:イベント No.を入力します。

1. Condition
2. Edit Script
3. Test
4. Exit
UPS Agent>3      ← [4]:“Test”を選択します。

Test OK ?
1. Yes
2. No
3. Exit
UPS Agent>1      ← [5]:テストを実行します。
OK
```

メニューからイベント No.を選択し、そのイベントに設定されているスクリプトを実行します。

実行結果は、イベントログに記録されます。

### 3.8.4 接続装置の設定値を変更する

装置を登録した際の設定値(初期値)を変更する方法を説明します。

装置が“WS(LAN):Telnet 接続 WS”の場合は、以下のメニューから設定値を変更できます。

| メニュー名称               | 説明                                                                                                      |
|----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4.Device Information | 装置の設置場所、コメントを設定できます。                                                                                    |
| 5.Outlet             | <p>系統制御がある UPS 使用時、この装置が使用している UPS コンセントを設定できます。</p> <p>1:OUTPUT1<br/>2:OUTPUT2<br/>0:OUTPUT0(常時出力)</p> |
| 6.Wake On LAN        | Wake On LAN の使用有無を設定できます。                                                                               |

#### Wake On LAN の設定

|                                                                                                   |                                                             |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| Select Wake On LAN Condition<br>1.Disable<br>2.Enable<br>3.Exit<br>UPS Agent>2                    | Wake On LAN の有効／無効を設定します。<br>“Disable”:無効、<br>“Enable”:有効   |
| Select Mac Address Acquisition Condition.<br>1. Automatic<br>2. Fixation<br>3. Exit<br>UPS Agent> | MAC アドレスの取得方法を設定します。<br>“Automatic”:自動取得<br>“Fixation”:手動設定 |
| Input MAC Address. ([XX XX XX XX XX XX])<br>UPS Agent>                                            | 手動設定時、MAC アドレスを入力します。                                       |

MAC アドレスの取得方法を“Automatic”とした場合、設定後に表示された“Mac Address”に正しいアドレスが表示されているか確認してください。“00-00-00-00-00-00”の表示の場合は、MAC アドレスの取得が正常に行われていません。手動設定を行ってください。

装置が“WS(SERIAL):シリアルログイン WS”または、“PC(CONTACT):接点接続 PC”の場合は、以下のメニューを使用して設定値を変更できます。

| メニュー名称               | 説明                                                                                                      |
|----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4.Device Information | 装置の設置場所、コメントを設定できます。                                                                                    |
| 5.Outlet             | <p>系統制御がある UPS 使用時、この装置が使用している UPS コンセントを設定できます。</p> <p>1:OUTPUT1<br/>2:OUTPUT2<br/>0:OUTPUT0(常時出力)</p> |
| 6.Wake On LAN        | 使用しません。                                                                                                 |

### 3.9 イベント設定(Event)メニュー

この機能では、イベントログの記録条件、E-mail 送信条件を設定します。

イベント・スクリプトの設定は、Main メニュー“Connection Device”中の“Event”から設定を行います。

イベントログの記録条件設定では、

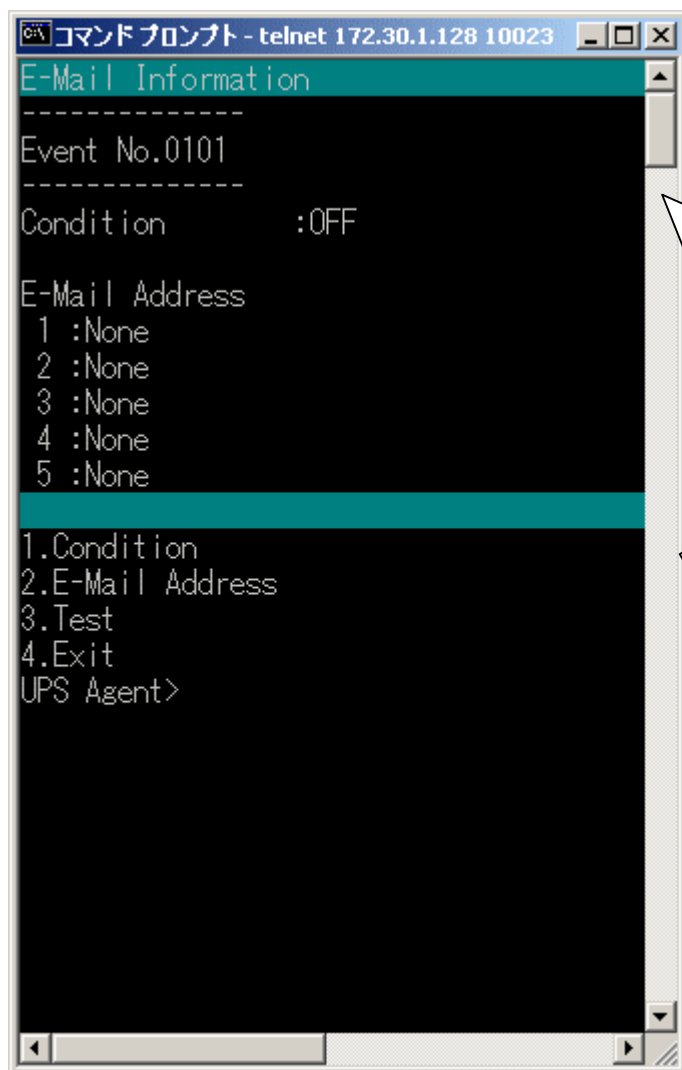
- Default : 初期設定値に戻す。
- All : 全てのイベントに対して記録を行う。

の2通りの設定を行います。

個々のイベントに対して記録条件を設定する場合は、Web ブラウザから管理ツールを使い設定をしてください。

E-mail 送信条件を設定する場合は、送信を行うイベントのイベント番号を設定します。

以下の画面が表示されます。



左図では、現在の設定値を表示しています。(Event No. 0101 は、停電発生イベントです。)

- “Condition”は、メール送信条件の有効(ON)／無効(OFF)を表示します。
- “E-Mail Address”では、メールアドレスを表示します。

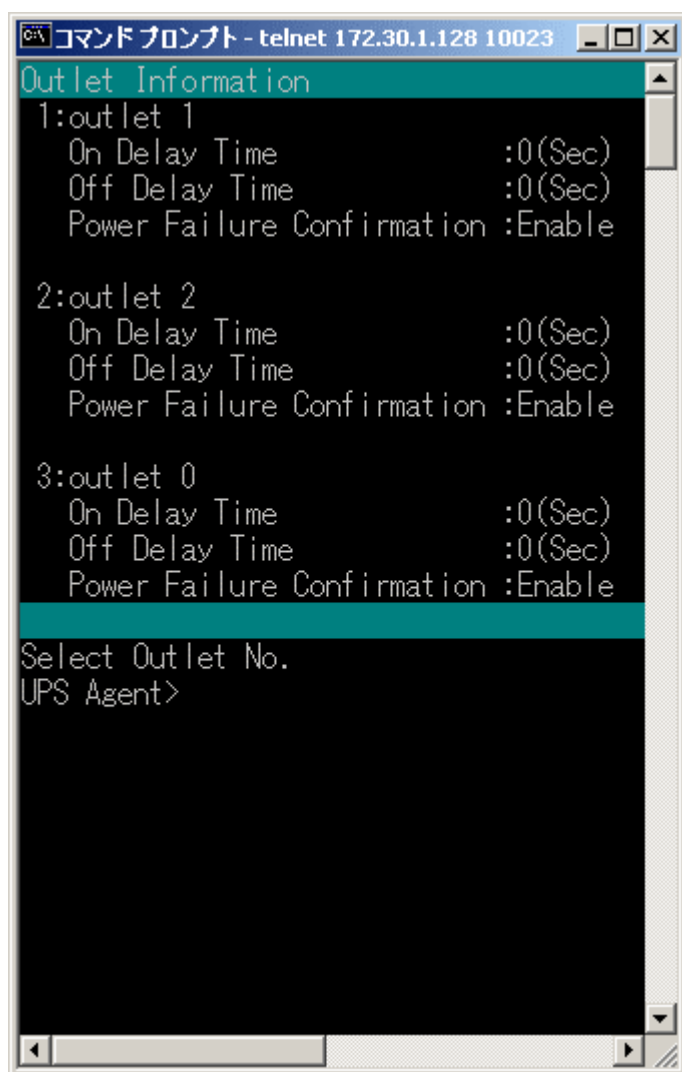
- “1. Condition”は、メール送信の有無を設定します。
- “2. E-Mail Address”は、全イベント共通のメール送信先アドレスを設定します。
- “3. Test”は、上記で設定したアドレスにメール送信テストを行います。

### 3.10 UPS 系統出力設定(Outlet)メニュー

系統制御がある UPS 使用時に、“OUTPUT1”、“OUTPUT2”、“OUTPUT0”の各系統出力の動作設定を行います。系統制御がない UPS 使用時は、本機能を使用しません。

- ・“OUTPUT1”、“OUTPUT2”に対しては、UPS の出力をオン／オフする際の遅延時間の設定
- ・“OUTPUT1”、“OUTPUT2”、“OUTPUT0”の全ての出力に対して、「停電によりシャットダウンを行うコンセント」の設定を行うことができます。

Outlet メニューを選択すると、以下の画面が表示されます。



```
コマンドプロンプト - telnet 172.30.1.128 10023
Outlet Information
1:outlet 1
  On Delay Time           :0(Sec)
  Off Delay Time          :0(Sec)
  Power Failure Confirmation :Enable

2:outlet 2
  On Delay Time           :0(Sec)
  Off Delay Time          :0(Sec)
  Power Failure Confirmation :Enable

3:outlet 0
  On Delay Time           :0(Sec)
  Off Delay Time          :0(Sec)
  Power Failure Confirmation :Enable

Select Outlet No.
UPS Agent>
```

“OUTPUT1”、“OUTPUT2”、“OUTPUT0”の現在の設定値が表示されます。

“On Delay Time”は、UPS 起動後、この設定値を待ち、出力をオンします。

“Off Delay Time”は、「UPS 自動停止時間」経過後、この設定値を待ち、出力をオフします。

“Power Failure Confirmation”は、「停電によりシャットダウンを行うコンセント」の設定です。

ここでは、現状値を表示します。

設定を行う Outlet を選択し、設定を行います。

(注意)

“Outlet0”に対しては、“Power Failure Confirmation”の設定のみ行えます。

“On Delay Time”、“Off Delay Time”は、設定できません。

### 3.11 通信回線状態確認(Ping)メニュー

UPSから特定の装置に対して、IPアドレスを指定して**ping**を行うことにより、UPSとその装置間の通信回線の状態を確認することができます。

相手装置のIPアドレスを入力することで、通信の確認が行えます。



左図は、“172.30.1.10”との通信確認ができた場合、「OK」を表示します。



左図は、“172.30.1.11”との通信確認ができない場合、「NG」を表示します。

(重要)

入力値にホスト名はサポートしていませんので、ホスト名が入力された場合、結果はNGとなります。

## 付録 A Web ブラウザ使用時にお読みください

Web ブラウザを使い Web 管理ツールを使用する場合、Web ブラウザでは **Java** アプレットが動作可能である必要があります。

もし、利用される Web ブラウザにおいて、**Java** アプレット動作が行えない場合は、JRE (**Java Runtime Environment**)などをダウンロードし、セットアップしていただくことで、利用できるようになります。

参考: JRE ダウンロードサイト (Windows 用)

<http://java.com/>